

頂操作マニュアル

(株)エージェンシーソフト

目 次

1 頂の基本操作.....	5
1-1 頂を起動する	5
1-2 基本操作の説明	7
1-2-1 設計書画面	7
1-2-1-1 メニューバーの説明.....	8
1-2-1-2 ツールバーの説明	10
1-2-2 単価検索画面.....	12
1-2-2-1 メニューバーの説明.....	14
1-2-2-2 ツールバーの説明	15
1-2-2-3 表示バーの説明	16
1-3 頂を終了（保存）する.....	18
2 設計書の作成.....	21
2-1 新規設計書の作成.....	21
2-2 表紙の入力.....	22
2-3 直接工事費の入力.....	23
2-3-1 階層の作成	24
2-3-2 内訳の作成	27
2-3-3 標準代価の利用	29
2-3-4 施工単価、基礎単価、施工パッケージ画面	37
2-3-5 施工パッケージ単価の貼り付け	39
2-3-6 ツリーから単価が見つからない時（「検索」の使い方）	44
2-3-7 標準代価の修正	48
2-3-8 新規代価（単価）の作成	52
2-3-9 計算式を使用した割増と割引き【例】	56
2-3-10 前年度歩掛・今年度単価で積算する（年度の変わり目）	57
2-3-11 機械損料を前年度損料で積算する（年度の変わり目）	58
2-4 共通仮設費積上額の入力.....	59
3 諸経費の計算.....	63
3-1 土木工事	63
3-2 水道工事	68
3-3 設備工事	72
3-4 民間工事	73
4 印刷設定.....	74
5 作業別索引	76

5-1	直接工事費関係	76
5-1-1	ダブルクリックで下位表を開く	76
5-1-2	階層と内訳を切り替える	77
5-1-3	階層のレベルを変更する	78
5-1-4	代価数量の桁数を小数点以下3桁にする	79
5-1-5	代価表の諸雑費(丸め)を削除する	80
5-1-6	夜間工事にする	82
5-1-7	ユーザ単価に登録	86
5-1-8	ユーザ単価の利用	87
5-2	諸経費関係	88
5-2-1	処分費を率計算に反映する	88
5-2-2	支給品額・桁等購入費等を設定する	94
5-2-3	管材費(水道工事の場合)を率計算に反映させる	94
5-2-4	現場管理費の冬期補正を計算する	96
5-2-5	工種区分を調べる	97
5-3	工事価格関係	98
5-3-1	工事価格を任意の額に変更する	98
5-3-2	最低制限価格を計算する	100
5-3-3	工事価格から諸経費を逆算する	102
5-3-4	極・最低制限価格の分布計算	104
5-3-5	合算経費の算出	107
5-4	その他	110
5-4-1	単価更新機能	110
5-4-2	設計変更や実行予算に使う	114
6	よくある質問	119
6-1	PDF,EXCEL 変換サービス	119
6-1-1	役所から入手した入札用の PDF や EXCEL の金抜き設計書を「頂」に取り込みたい	119
6-1-2	役所で入手した設計書の CSV をインポート後、単価の入力方法がわからない	123
6-2	諸経費関係	126
6-2-1	諸経費画面で共通仮設費積上額の入力ができない	126
6-2-2	直接工事費の一部(大型遊具の購入費など)を経費計算の対象額から除外したい	127
6-2-3	諸経費を1本でまとめて計算したい	129
6-2-4	諸経費の工種区分がわからない	129

6-2-5	工事価格の消費税率を8%で計算したい	130
6-2-6	諸経費画面の直工（準備費）に含まれる処分費と一般管理費等の下の処分費の違いは？	131
6-3	その他	132
6-3-1	積算する地区名がわからない	132
6-3-2	去年作成した設計書を今年の単価に変更したい	132
6-3-3	単価検索画面から設計書に転送したら単価が変わってしまった	132
6-3-4	施工パッケージで標準単価の材料の種別を変更したい	132
6-3-5	設計変更や実行予算を出したい	132
6-3-6	夜間工事にしたい	132
6-3-7	単価検索から単価を転送しようとする「単価年度が間違っています」とメッセージが出る	133
6-3-8	直接工事費画面で代価表をダブルクリックしても下位表が開かない	134
6-3-9	「既存設計書を開く」をクリックしても、作成した設計書が表示されない	135
6-3-10	データの保存先を変更したい	136
6-3-11	印刷時に会社名を印字したい	137
6-3-12	パソコンを買い替えたので「頂」を新しいパソコンに移したい	139

1 頂の基本操作

1-1 頂を起動する

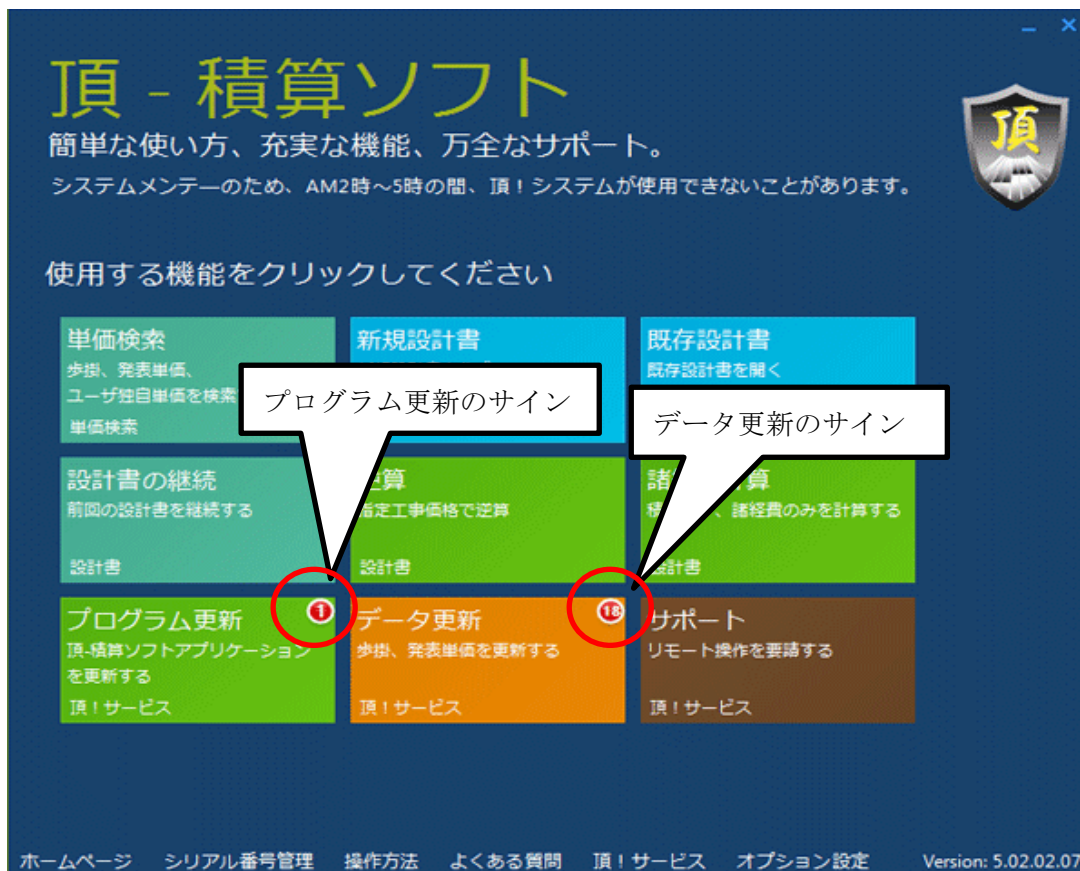
デスクトップにある頂のアイコンをクリックすると、下のようなスタートメニュー画面が表示されます。この画面から作業内容を選択して該当するボタンをクリックすると、それぞれ次の画面に進むことができます。



頂のバージョンが表示されています

逆算：直接工事を積み上げる前に、工事価格から直接工事費や共通仮設費などの間接費を逆算させるときに使います。この場合も処分費や管材費（水道工事の場合）及び交通整理員などの共通仮設費の積上額を入力し、工事場所の補正など間接費の各種補正を設定する必要があります。

諸経費計算：直接工事費がわかっている場合に、直接工事費を入力し間接費を自動計算させて工事価格を求める場合に使います。この場合も逆算と同様に共通仮設費の積上げや各種補正の設定が必要です。



★重要★プログラム更新：ソフトのプログラムに更新がある場合はプログラム更新ボタンの右上に赤丸で更新をお知らせします。サインが出ている場合はクリックして必ず更新をお願いします。インターネットに接続していないと更新はできません。

★重要★データ更新：県発表の資材単価などのデータに更新がある場合はデータ更新の右上に赤丸で更新をお知らせします。サインが出ている場合はクリックして必ず更新をお願いします。インターネットに接続していないと更新はできません。

サポート：リモート操作を要請するときに使います。インターネットに接続していないとリモート操作はできません。

1-2 基本操作の説明

1-2-1 設計書画面

設計書・直接工事費画面

vitie4 - 無題
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 設定(O) ヘルプ(H)

名称 規格 単位 数量 単価 金額

vitie4 - TEST工事

タイトルバー (工事名を表示)

メニューバー

ツールバー

ボタン部

左端ボタン部の主な機能

共通仮設費積上額: 交通整理員などの共通仮設費の積上げはここから行います。

諸経費: 諸経費画面を開きます

代価一覧: 作成中の設計書の代価を一覧で見ることができます。

単価一覧: 代価一覧と同様に使われている単価の一覧を表示します。

下位表を開く: 内訳や代価の下位表 (明細表) を開きます。

単価検索: 単価検索画面を開きます。

ユーザ単価: 特殊な単価や代価を保存しておくことができます。

再計算: 数量や単価を変更したとき、合計金額などを再計算します。

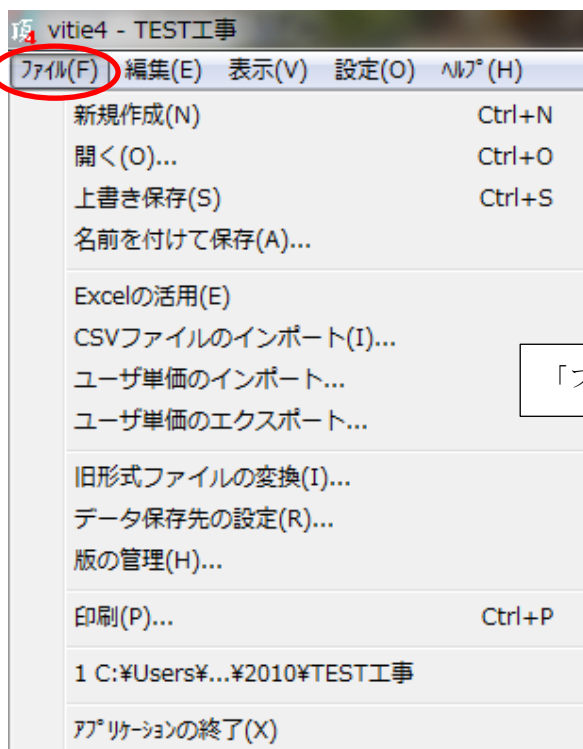
印刷: 印刷設定画面を開きます

行の挿入: 着目行の上に新たな行を挿入します

切り取り・コピー・貼り付け: 切り取りは複数行同時にできますが、コピー・貼り付けは1行ずつしかできません。

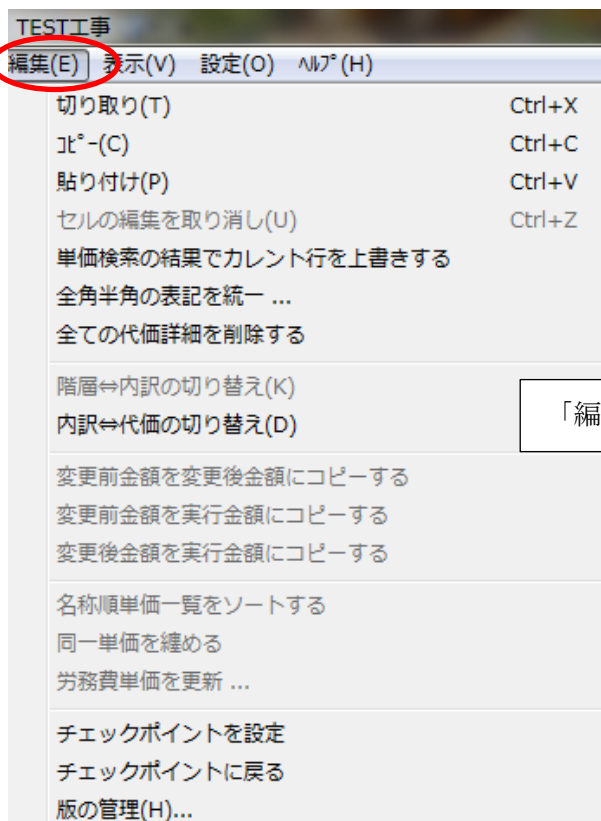
1-2-1-1 メニューバーの説明

「ファイル」「編集」「表示」「設定」「ヘルプ」と5つのメニューがあります。



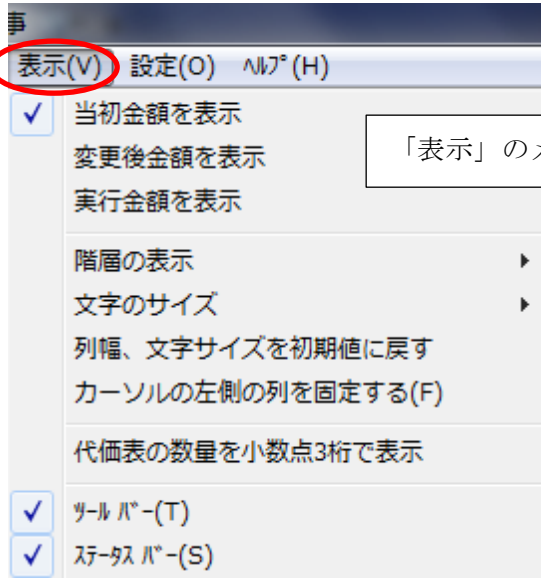
このメニューから保存や CSV ファイルの取り込みができます。

「ファイル」のメニュー



階層と内訳の切り替えや、内訳と代価の切り替えなどができます。

「編集」のメニュー



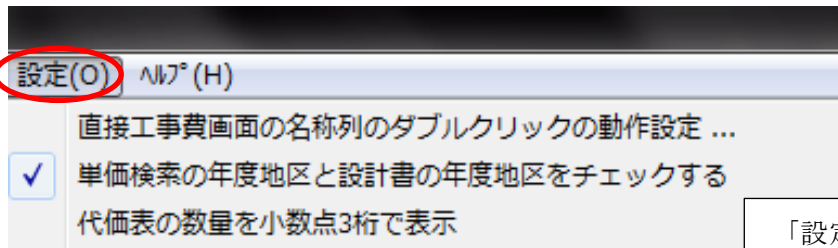
表示に関わるメニューです

「表示」のメニュー

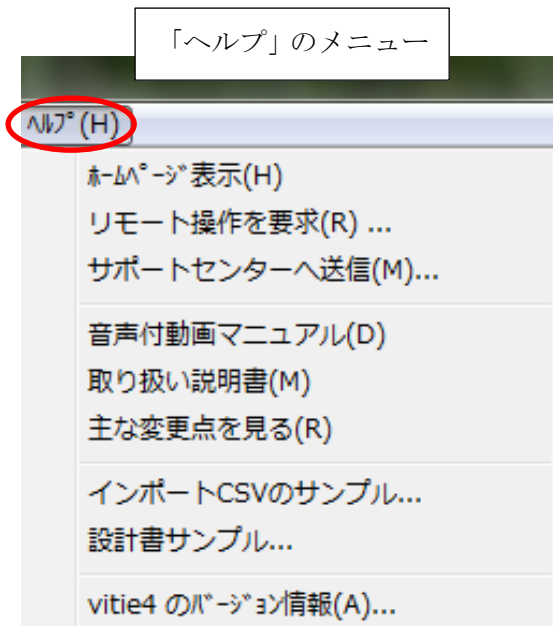
階層を任意の階層で折りたたんで表示することができます。

文字のサイズを変更することができます。

代価表の数量は初期設定では2桁表示ですが、3桁表示の発注者もあります。その場合はここで切り替えることができます。(単価検索画面も3桁表示にしてください)



「設定」のメニュー



頂のホームページを開きます。

お客様のパソコンとサポートセンターを繋いで、お客様の画面を見ながらご説明することができます。

ファイルをサポートセンターへ送ります。
文書によるマニュアルを開きます。

階層方式と内訳方式の設計書のサンプルを見ることができます。

1-2-1-2 ツールバーの説明



次にツールバーの主な機能をご説明します。



上行コピー：すぐ上の行をコピーします。内訳や代価の場合は下位表（明細）も含めてコピーします。



行順の変更&階層の移動：設計書内の行順を変更することができます。例えば 4 行目に追加した項目を 2 行目に移動する場合は、移動したい 4 行目をクリックして着目行にしてから上向矢印を 2 度クリックすると 2 段階上がって 2 行目になります。

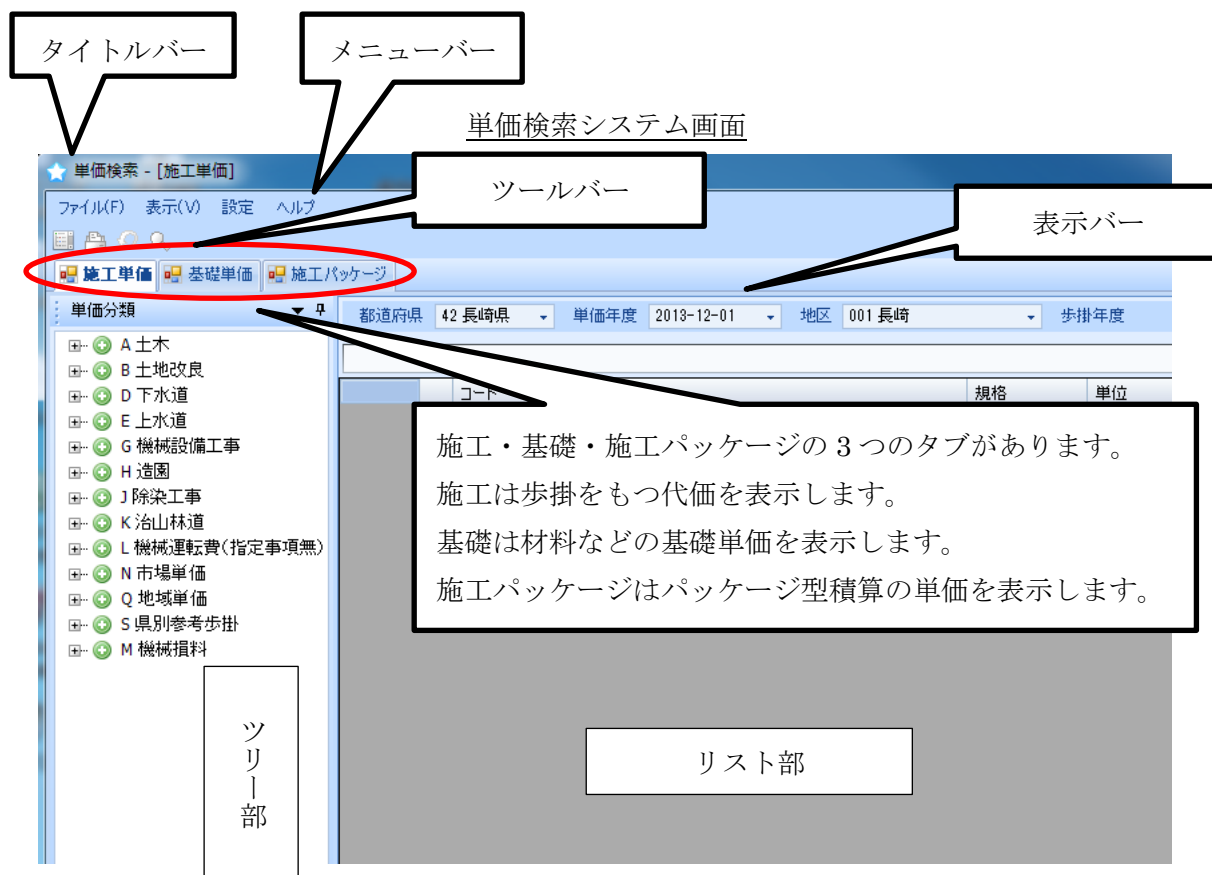
左右の矢印は階層の移動に使います。例えば 3 階層目の下に新たに階層を作ると、1 階層下がって 4 階層として作成されます。これを上と同じ 3 階層にしたい時などに、4 階層目をクリックして着目行にしてから左向き矢印を 1 度クリックすると 1 段階左に移動して

3階層になります。階層の移動はどの時点でも可能です。また、移動する階層の下位にある階層も同時に移動します。



計算機：画面上に計算機が表示され、机上に電卓がなくてもパソコン上で計算することができます。

1-2-2 単価検索画面

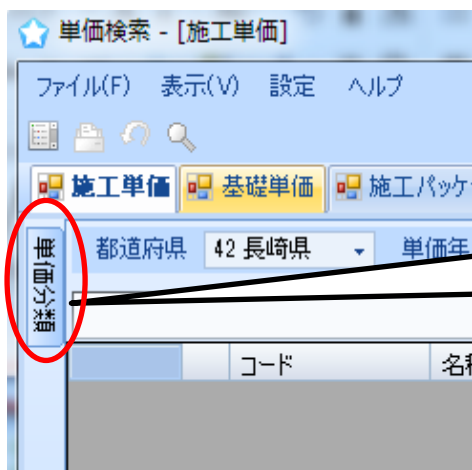


- (1) タイトルバーには「単価検索-[施工単価]」と表示されます。
- (2) メニューバーには作業を補助するメニューが用意されています。
- (3) ツールバーには4つの作業メニューが用意されています。
- (4) 表示バーには「都道府県名」「単価年度」「地区」「歩掛年度」「豪雪補正」「被災地補正」が表示されます。
- (5) ツリー部には「施工」「基礎」「施工パッケージ」の3つのタブがあります。
- (6) 「施工」は代価（標準歩掛）を「基礎」は材料や労務単価などの下位表を持たない基礎単価をそれぞれ表示します。「施工パッケージ」は施工パッケージの単価を表示します。
- (7) リスト部はツリー部で選択した代価や単価を表示します。


【クリップ機能】 ツリーの表示を固定（表示）、非表示にすることができます。




クリックでピンを挿したり、倒したりできます。
ピンを倒すとツリーが非表示になります。

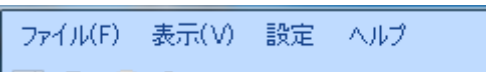


単価分類をクリックするとツリーが表示されます。
ピンが倒れているのでピンをクリックしてピンを挿して固定します。

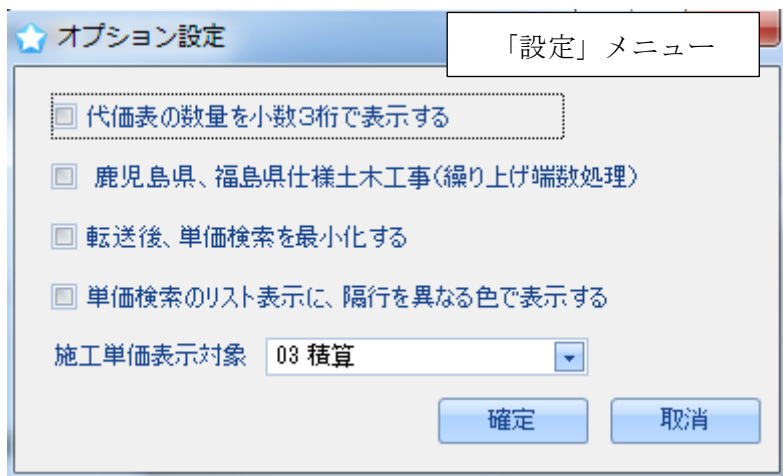
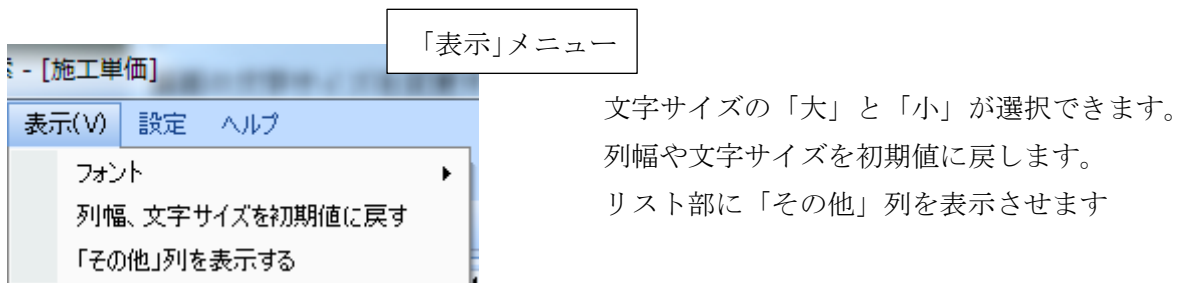
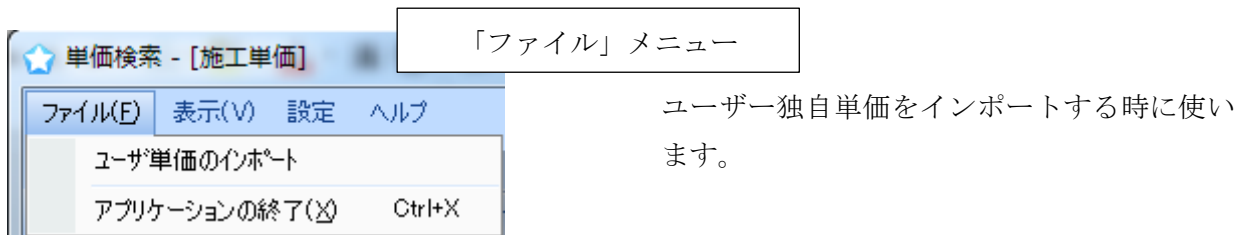
 ピンを挿している状態 →ツリーが固定される

 ピンを倒した状態 →ツリーが非表示

1-2-2-1 メニューバーの説明



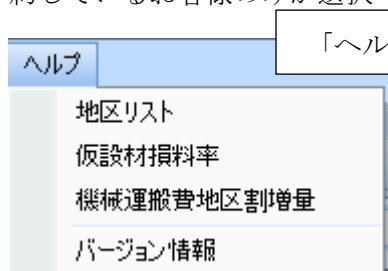
メニューバーには「ファイル」「表示」「設定」「ヘルプ」の4つのメニューがあります。



設定メニューを開くとオプション設定が選択できます。

- ・ 代価の数量を3桁表示にします。(初期設定は2桁表示です)
- ・ 鹿児島県、福島県のユーザー用の設定です。
- ・ 単価検索から単価を転送後に、単価検索を最小化する設定です。2画面で使用する場合等、単価検索を最小化にしたい場合はチェックを外して下さい。
- ・ リスト部に表示された行が見やすいように行に色がつきます。

・施工単価表示対象を「土木」「積算」「管工事」「公園工事」が選択できます。（積算を契約しているお客様のみが選択可能です。）



「ヘルプ」メニュー

地区リストを開きます。工事場所の地区番号がわからない時に地区リストで確認できます。

1-2-2-2 ツールバーの説明

ツールバーの主な内容をご説明します。



全てのツリーを閉じる：作業しているうちにツリー部分が長く展開して、目的のコードや工種が見つげにくくなる場合があります。このアイコンをクリックするとすべてのツリーが閉じて最初の状態に戻ります。



印刷

代価表を印刷するときに使います。



ジャンプ元に戻る：土木工事と土地改良工事などで同じ明細表の代価表がある場合、頂では土木工事のツリー内に代価表を作成し、土地改良工事のツリーでは代価表を作成していません。土地改良工事のツリーでそのような工種を選択した場合、土木工事の当該工種の代価表を表示するジャンプ機能があります。

例えば 土地改良工事で

B-4-3 既成コンクリート杭カットオフ工→★A-3-14-1

などの表現があるとき、ダブルクリックすると A-3-14-1 にジャンプして土木工事 A にあるその代価表を表示します。そのときツリー部も A-13-4 付近を表示します。当該代価表を張り付けた後、【ジャンプ元に戻る】をクリックすると、ツリー部の表示が元の B-4-3 に戻ります。



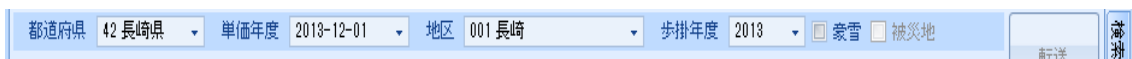
検索

ツリー部から目的の代価や単価が見つからない時に、工種名などから検索する時に使います。アイコンをクリックすると単価検索システム画面の右に検索用画面が表示されます。

補足説明

- (1) 検索用画面を表示させるにはアイコンをクリックする他に、表示バーの右端の「検索」タブをクリックしても表示されます。
- (2) 検索用画面にもクリップ機能がありますのでピンで検索用画面を固定表示しておくことができます。

1-2-2-3 表示バーの説明



都道府県ボックス：ご契約の都道府県が表示されています。

単価年度ボックス：労務費や資材などの基礎単価の年度を表示しています。頂のスタートメニューの「データ更新」から更新をすると単価年度ボックスに更新された月が追加されます。

地区ボックス：生コンや砕石など都道府県で地区ごとに公表している単価があります。お使いの県で区分している地区に分類してありますので、当該工事の地区に合わせて選択してください。市町村名と地区との関係が不明の時は、メニューバーの「ヘルプ」から「地区リスト」を選択して、下部の県名リストから県名をクリックし、表示されるエクセルシートの一覧表から確認してください。

歩掛年度ボックス：歩掛年度を表示しています。

豪雪補正ボックス：機械損料の豪雪補正を設定します。全県が豪雪補正地区に指定されている場合は初期設定でチェックが入っていますが、県内で豪雪地区に該当しない地区がある場合はチェックが入っていません。その場合は積算を開始する前にチェックを入れる必要があります。

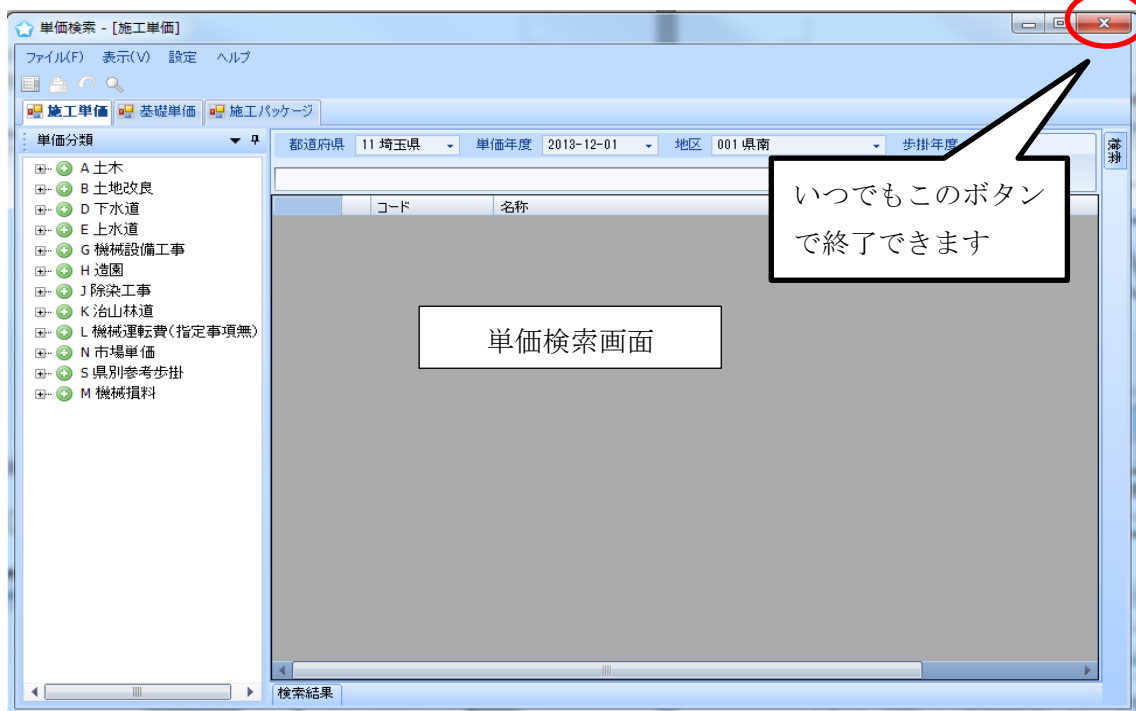
被災地補正ボックス：国土交通省の被災地補正が必要な場合はチェックを入れて下さい。

補足説明

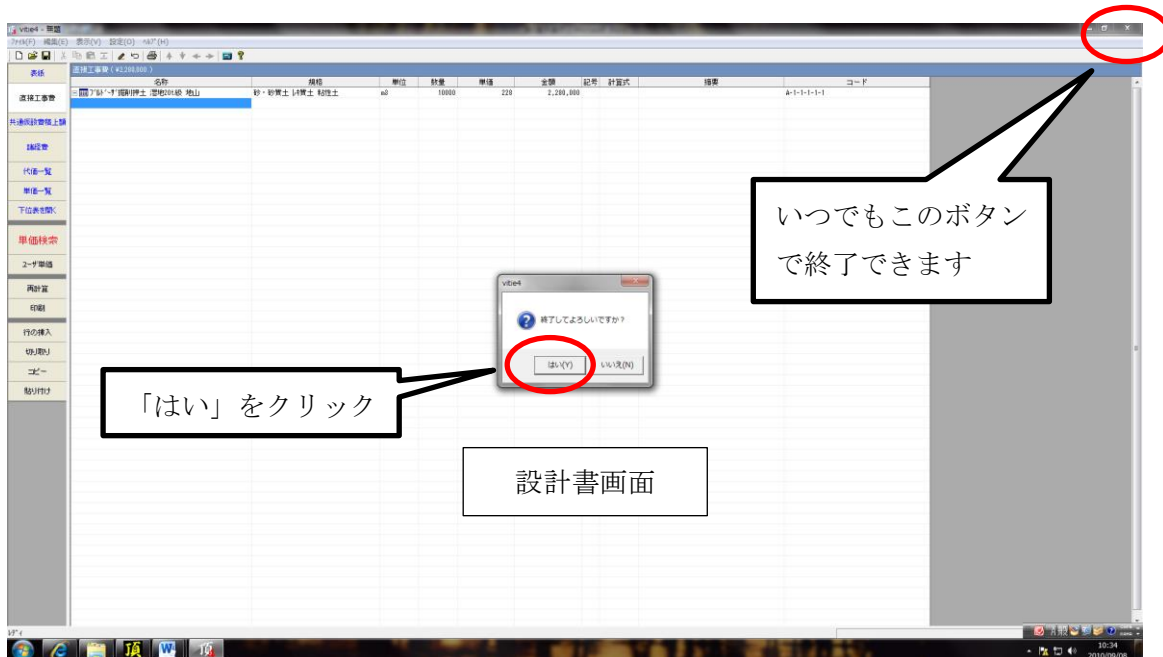
- (1) 歩掛は毎年変更されますが、いつの時点で新しい歩掛を採用するかは発注官庁によってまちまちです。新年度になって労務費や資材単価は新年度単価を採用しても、歩掛と機械損料はしばらく昨年度分を使用しているのが現状です。
- (2) 頂では機械損料は単価年度ではなく歩掛年度に連動しています。新年度になっても歩掛と機械損料は旧年度という場合は、歩掛年度を前年度、単価年度は新年度4月に設定すれば対応できます。

1-3 頁を終了（保存）する

単価検索画面・設計書画面のどの画面でも画面右上の ボタンで終了します。

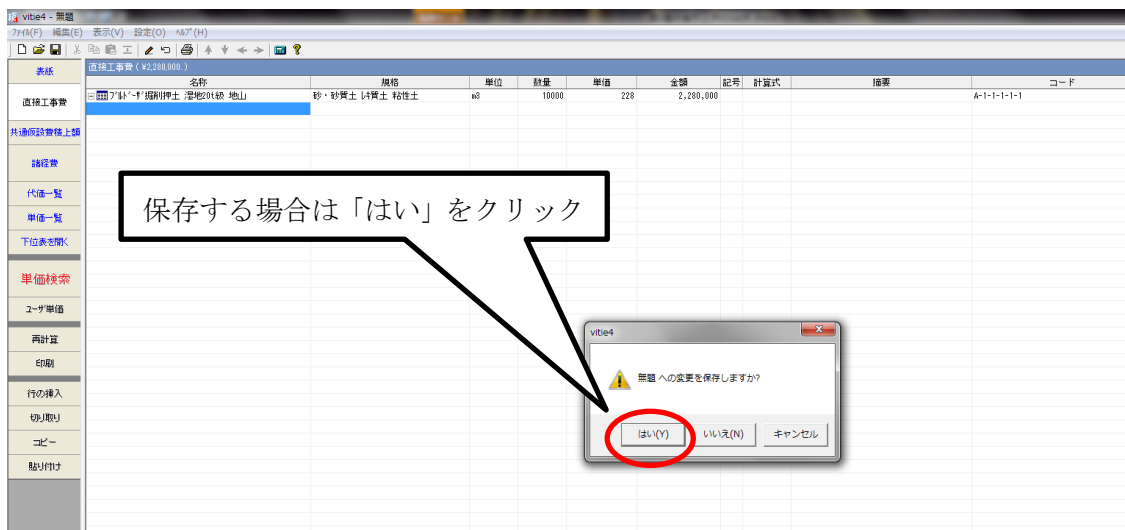


設計書画面では をクリックすると確認メッセージが出るので、 はい で終了します。

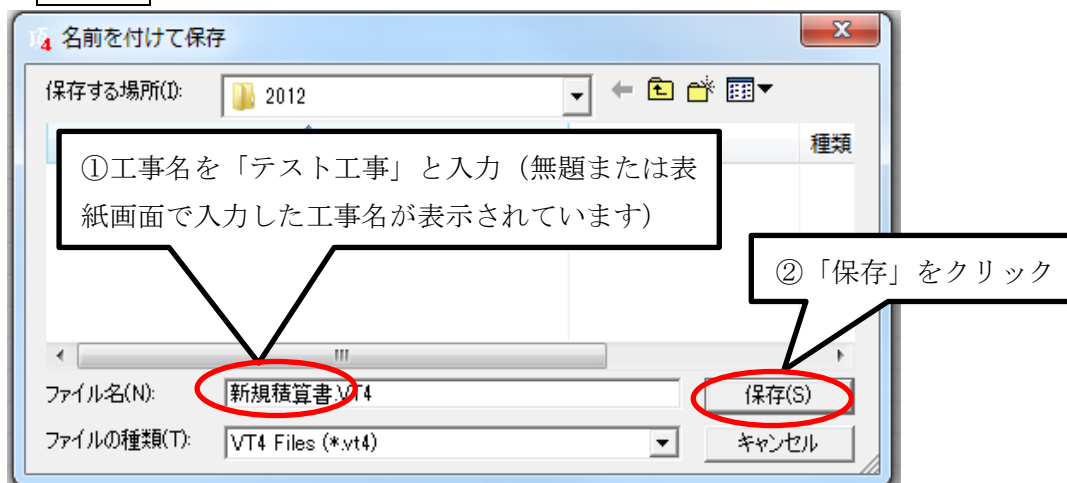


メニューバー「ファイル」メニューの中の「名前を付けて保存」で終了することもできます。

新規設計書を作成したときはさらに保存メッセージが出ます。



「はい」をクリックすると下記の保存メッセージが出ます。



表紙画面で入力した工事名が表示されている場合は、よければそのまま保存をクリックします。「無題」や「新規積算書」などの場合は付けたい工事名を入力します。

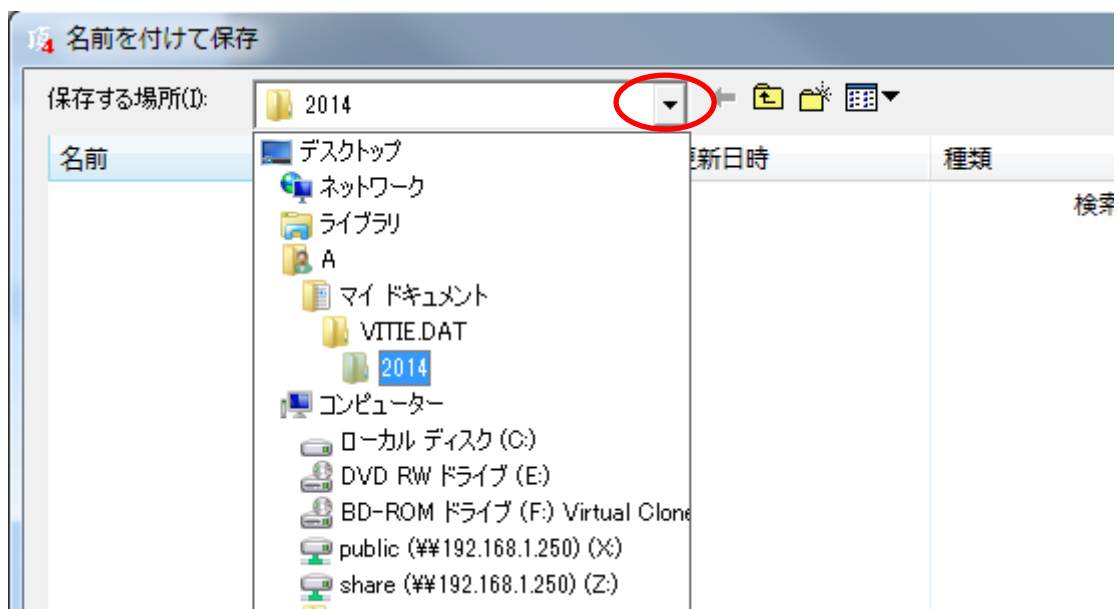
これで保存ができました。ただし、「前回からの継続」や「既存設計書」から起動した場合はすでに工事名が付いているのでこのメッセージは出ません。

補足説明

- (1) 頂は入力するごとにデータが書き換えられていきます。したがってエクセルなどのように入力後の保存の段階で保存を中止して元に戻ることはできません。そのため、以前積算したことがあり、すでに工事名が付いている場合は「名前を付けて保存」メッセージは出ません。
- (2) 「保存する場所」は初期設定では「マイドキュメント」→「VITIE.DAT」→「2014」となっています。「2014」は2014年に積算した場合で、年が変わると新しい年号のフ

フォルダが自動的に生成されます。

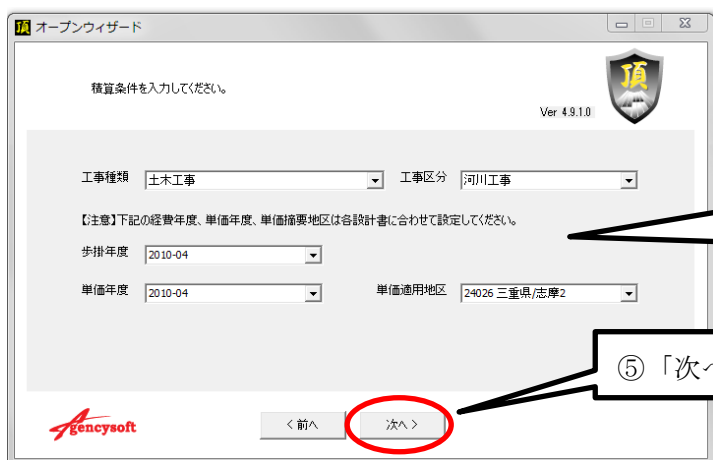
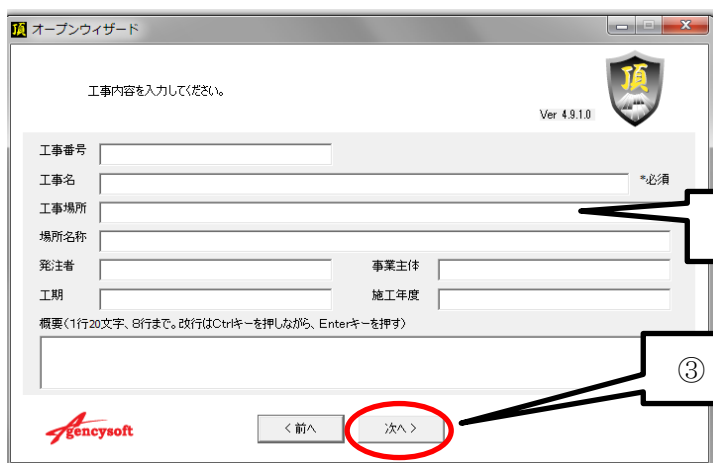
- (3) リムーバルディスクなど別の場所に保存する場合は、ファイルメニューの「名前を付けて保存」メッセージで保存する場所を「2014」の右にある▼をクリックして希望の場所を指定してください。



2 設計書の作成

2-1 新規設計書の作成

スタートメニュー画面を開いて



⇒表紙画面が表示されます。

2-2 表紙の入力

- (1) タイトルバーの工事名は名前を付けて保存するまで「無題」と表示されます。
- (2) 工事名や概要など必要事項を任意に入力します。会社情報は一度入力すると記憶され、変更がない限り入力する必要はありません。
- (3) この内容は積算中いつでも変更することができます。

表紙画面

項目	内容
表紙タイトル	工事設計書
積算条件	このセクションのデータは表紙に印字されません。
単価年度	2010_04
単価適用地区	三重県/志摩2
諸積(歩掛)年度	2010_04
工事種類	土木工事
工事区分	河川工事
工事内容	
工事番号	
工事名	
工事場所	
場所名称	
工期	
発注者	
事業主体	
施工年度	
概要-1	
概要-2	
概要-3	
概要-4	
概要-5	
概要-6	
概要-7	
概要-8	
見積情報	このセクションのデータは表紙に印字されません。
見積番号	
見積宛先	
見積作成日	
請負額	
請負額増減額	
決済条件	
有効期限	
会社情報	
会社名	
代表者	
郵便番号	
住所1	
住所2	
電話	
FAX	
EMAIL	

- (4) 入力完了したらボタン部の「直接工事費」をクリック。
⇒直接工事画面が開きます。

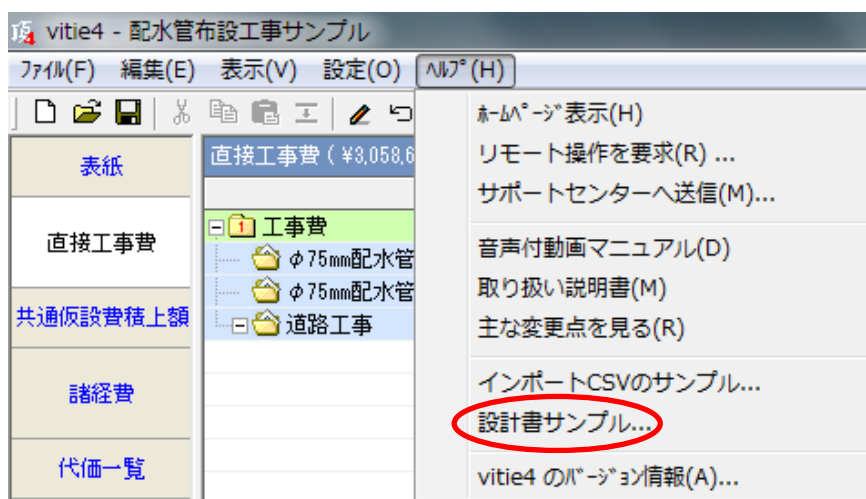
2-3 直接工事費の入力

直接工事の入力はまず大項目（大工種）が内訳書か、階層なのかを判断します。

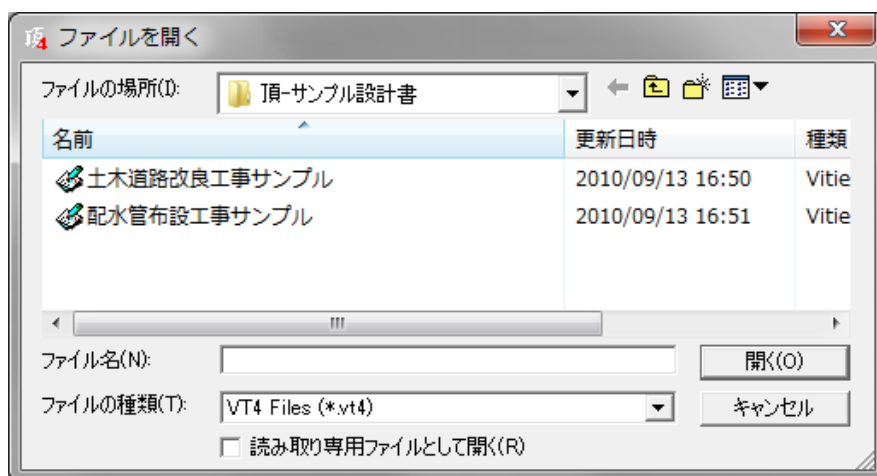
内訳書の明細は第〇号内訳書として別紙に作成されます。通常の単位は「一式」となり金額欄にその明細内訳の合計金額を持ちます。工種名の先頭位置も同じで字下げは行いません。

階層の明細は同一画面の次の行に字下げして表示され、1階層→2階層→3階層と順次字下げされて表示されます。階層の下行にその階層の明細内訳となる代価などが並び、階層行は自分の持つ内訳明細（下位表）の集計行になります。

内訳書方式は水道工事に、階層方式は土木工事によく使われています。設計書画面の「ヘルプ」メニュー→「設計書サンプル・・・」を選択すると、



土木道路改良工事（階層方式）と配水管布設工事（内訳方式）のサンプルを見ることができます。



2-3-1 階層の作成

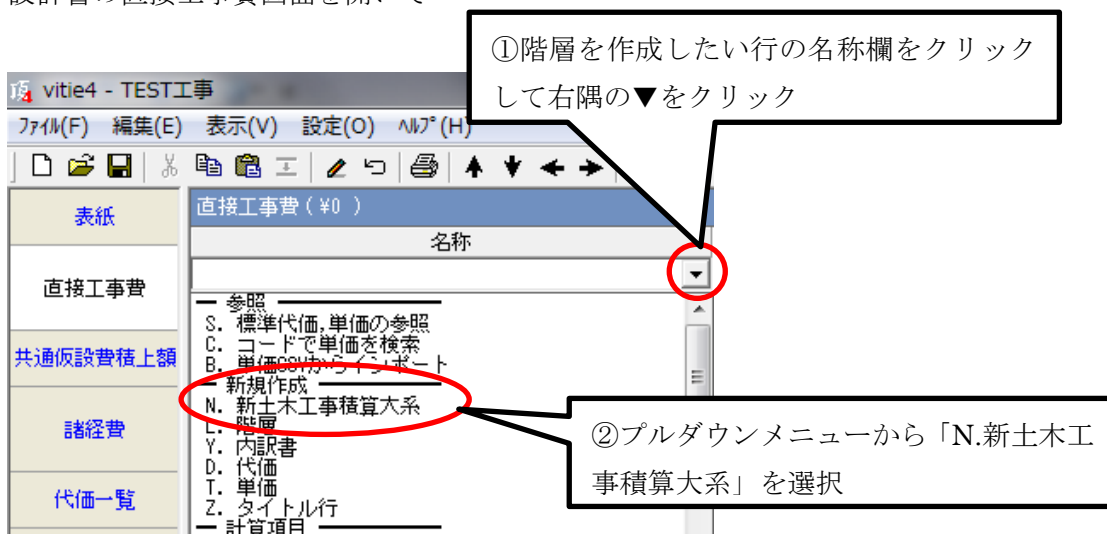
階層を作成するには「新土木工事積算大系」を利用する方法と任意に作成する方法があります。

★新土木工事積算大系を利用する場合

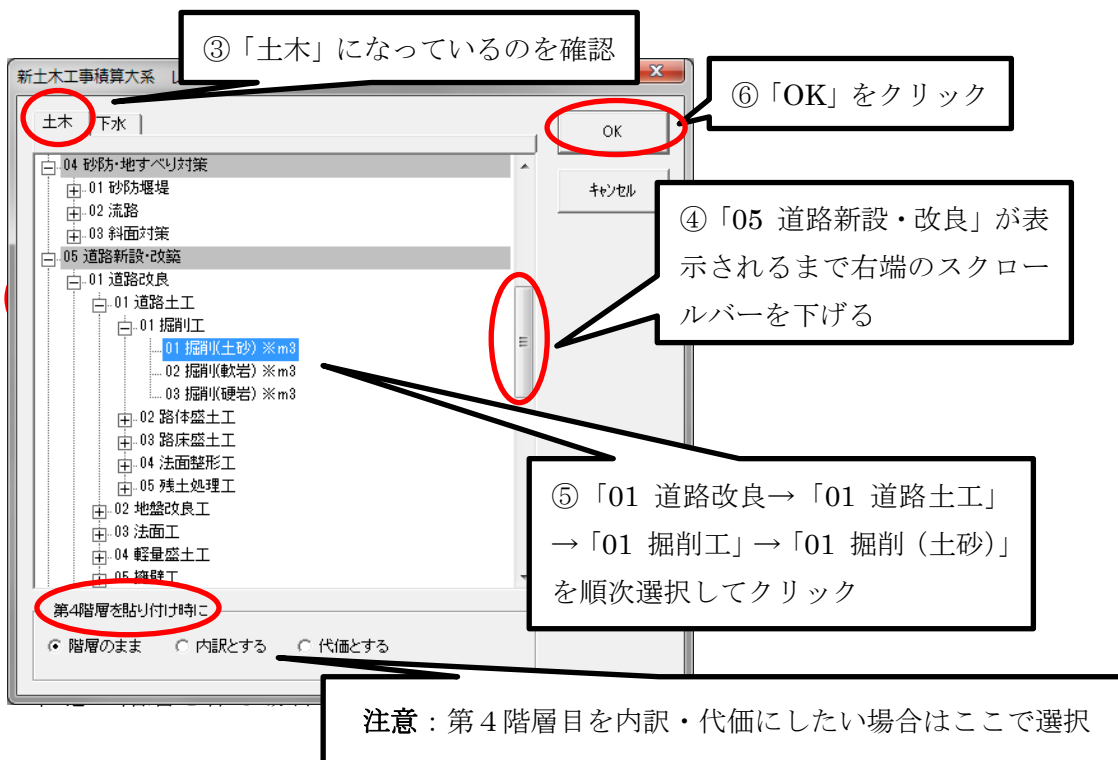
次のような階層を作ってみます。

1 階層・道路改良→2 階層・道路土工→3 階層・掘削工→4 階層・掘削（土砂）

設計書の直接工事費画面を開いて



新土木工事積算大系のウィンドウが表示されます。



第4階層の掘削（土砂）までの階層が出来上がります。

名称	規格	単位	数量	単価	金額
道路改良		式	1		
道路土工		式	1		
掘削工		式	1		
掘削(土砂)		m3	1		
バックホウ掘削積込 山積0.8m3 [平0.8] ...		m3		167	

第4階層「掘削（土砂）」の次の行からその明細を入力していきます。
ここではバックホウ掘削を計上してみました。

★任意に階層を作る場合

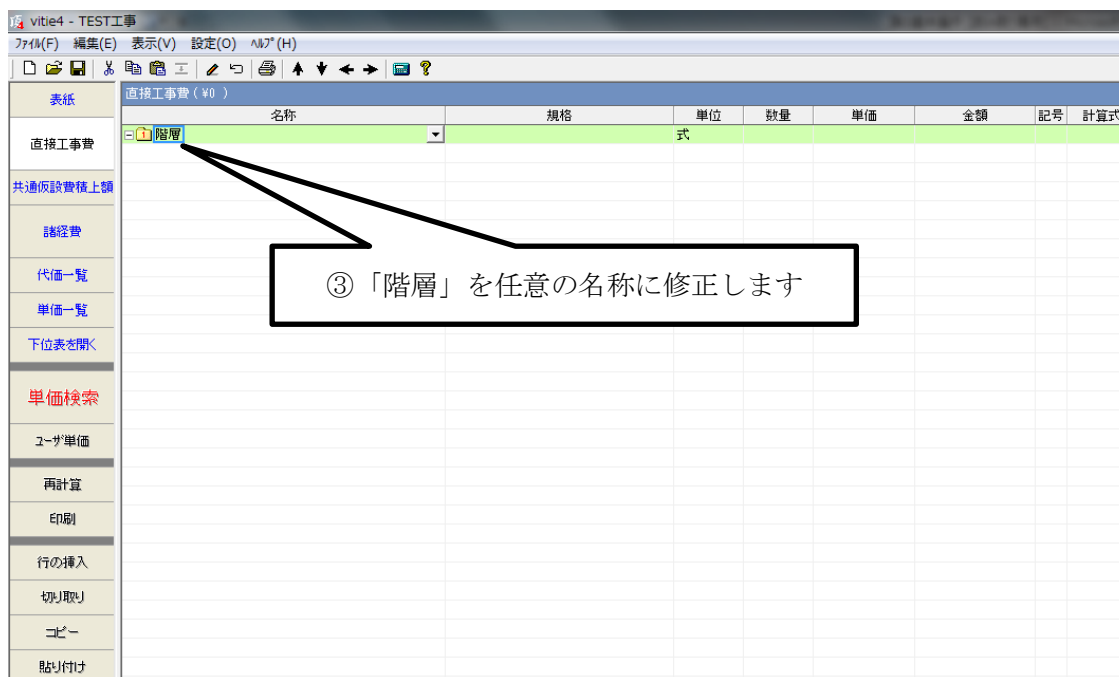
新土木工事積算大系にない名称の階層や、自分で独自に階層を作成したい場合には次の方法で行います。

設計書の直接工事費画面を開いて

①階層を作成したい行の名称欄をクリックして右隅の▼をクリック

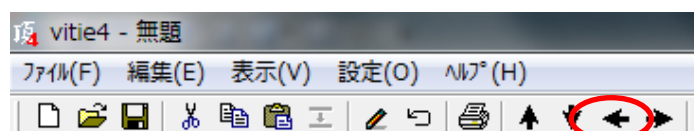
②プルダウンメニューから「L.階層」を選択

設計書画面に「階層」が作成されました



補足説明

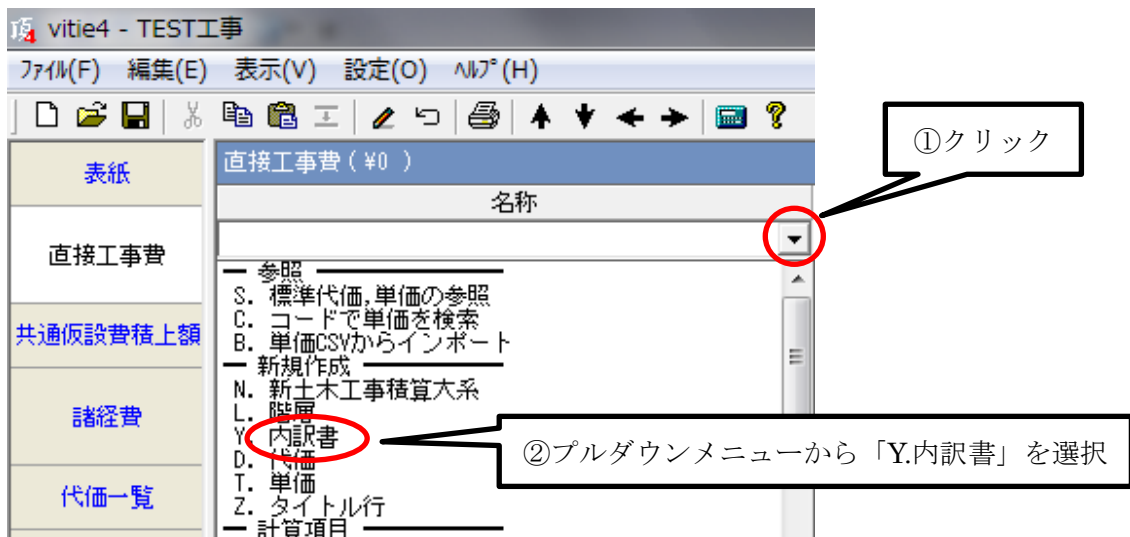
- (1) 階層表示の場合は階層ごとに字下げされ、先頭のアイコンにはフォルダの中に階層数を示す数字が赤字で入ります。
- (2) 新土木工事積算大系を利用する場合、「掘削（土砂）」は4階層目になりますが、ウィンドウ下部にある「第4階層を貼り付け時に」で「階層」・「内訳」・「代価」の選択肢のうち、例えば「代価」を選択すると階層ではなく代価として貼り付けることができます。
- (3) 任意で階層を作成すると必ず直近階層の下位になります。例えば第4階層の下に作成すると第5階層になります。これを第4階層にするなど階層の順位を変えるにはツールバーの矢印ツールを利用します。変更したい行をクリックして着目行にしてから左向き矢印を1回クリックすると1階層上がります。



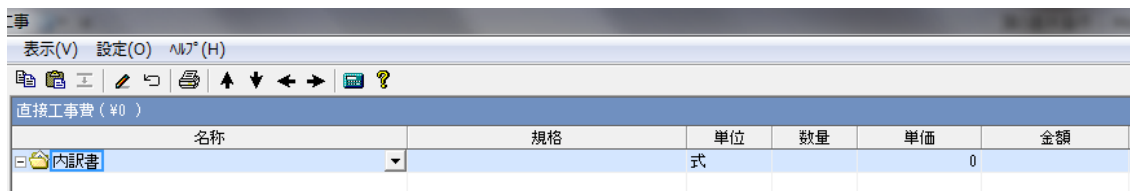
2-3-2 内訳の作成

1 行目に「土工事」という内訳書を作ってみます。

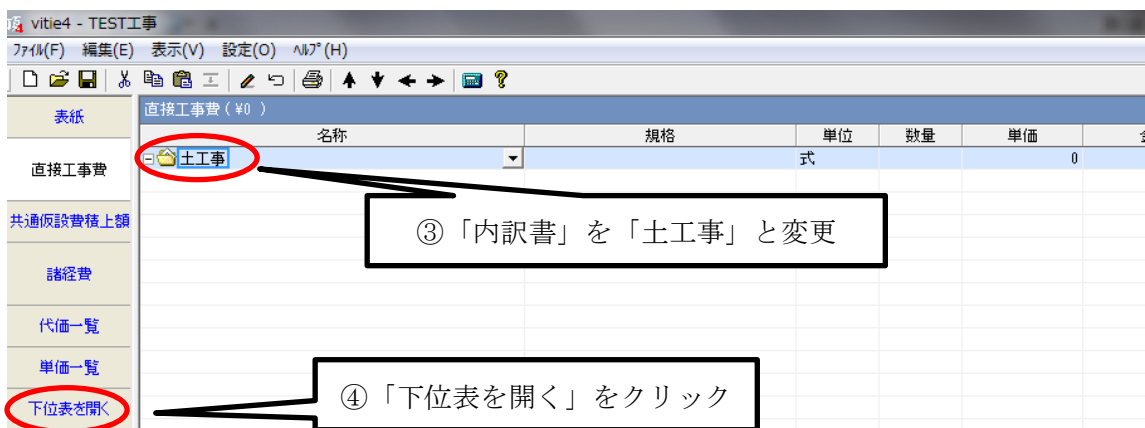
設計書の直接工事費画面を開いて



設計書の当該行に「内訳書」が表示されました。

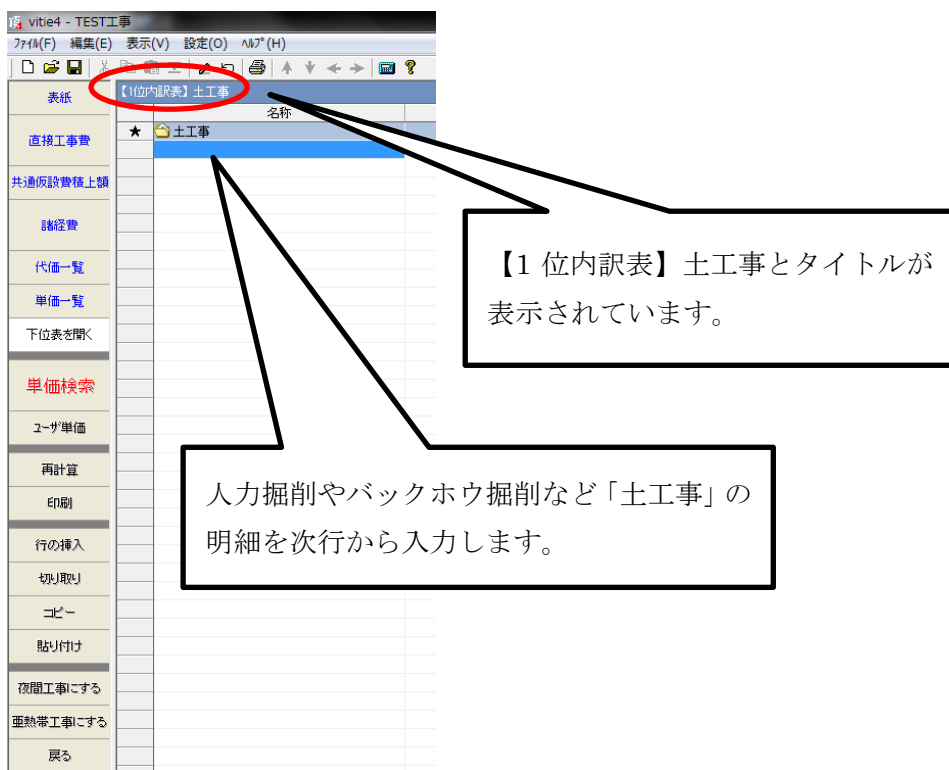


次に名称を変更します。(貼り付けた直後なら編集モードになっているのでそのまま名称変更が可能です)



次に下位表を開いて明細を作成していきます。

土工事の「1 位内訳表」が開きます（下位表に降りました）。



サブタイトルバーに【1 位内訳表】土工事 と表示され、土工事の 1 位内訳表であることを示しています。

1 行目には表題を示す★印がつき内訳名の「土工事」となっています。次行からその明細を作っていきます。

補足説明

- (1) 内訳の明細（下位表）は必ず下位表に作成します。
- (2) 内訳のアイコンには階層のような数字はありません。
- (3) 内訳の中には内訳・代価・単価を作ることができますが、階層を作ることはできません。

2-3-3 標準代価の利用

頂では積算基準書などで公表されている歩掛が用意されています。積上げようとする金抜き設計書を見ながら階層や内訳を作成した後に、標準代価を組み合わせることで設計書を完成させていきます。

第4階層の後に以下のような代価を入力してみます

- (1) バックホウ掘削積込 山積 0.8m³ 地山 砂質土
- (2) ダンプトラック運搬 土砂 DID 区間無 距離 15 km タイヤ損耗費 (良好)

設計書直接工事費画面から

The screenshot shows a software window titled 'vite4 - TEST工事'. The main area displays a table for '直接工事費 (¥0)' with columns for '名称', '規格', '単位', '数量', '単価', and '金額'. The table contains four rows of work items: '道路改良', '道路土工', '掘削工', and '掘削(土砂)'. On the left sidebar, the '単価検索' button is circled in red. A callout box points to this button with the text: '① ボタン部の「単価検索」をクリック (目立つように赤字になっています)'. Other sidebar buttons include '表紙', '直接工事費', '共通仮設費積上額', '諸経費', '代価一覧', '単価一覧', '下位表を開く', 'ユーザ単価', '再計算', '印刷', '行の挿入', '切り取り', 'コピー', and '貼り付け'.

名称	規格	単位	数量	単価	金額
1) 道路改良		式	1		
2) 道路土工		式	1		
3) 掘削工		式	1		
4) 掘削(土砂)		m ³	1		

⇒単価検索画面が開きます。

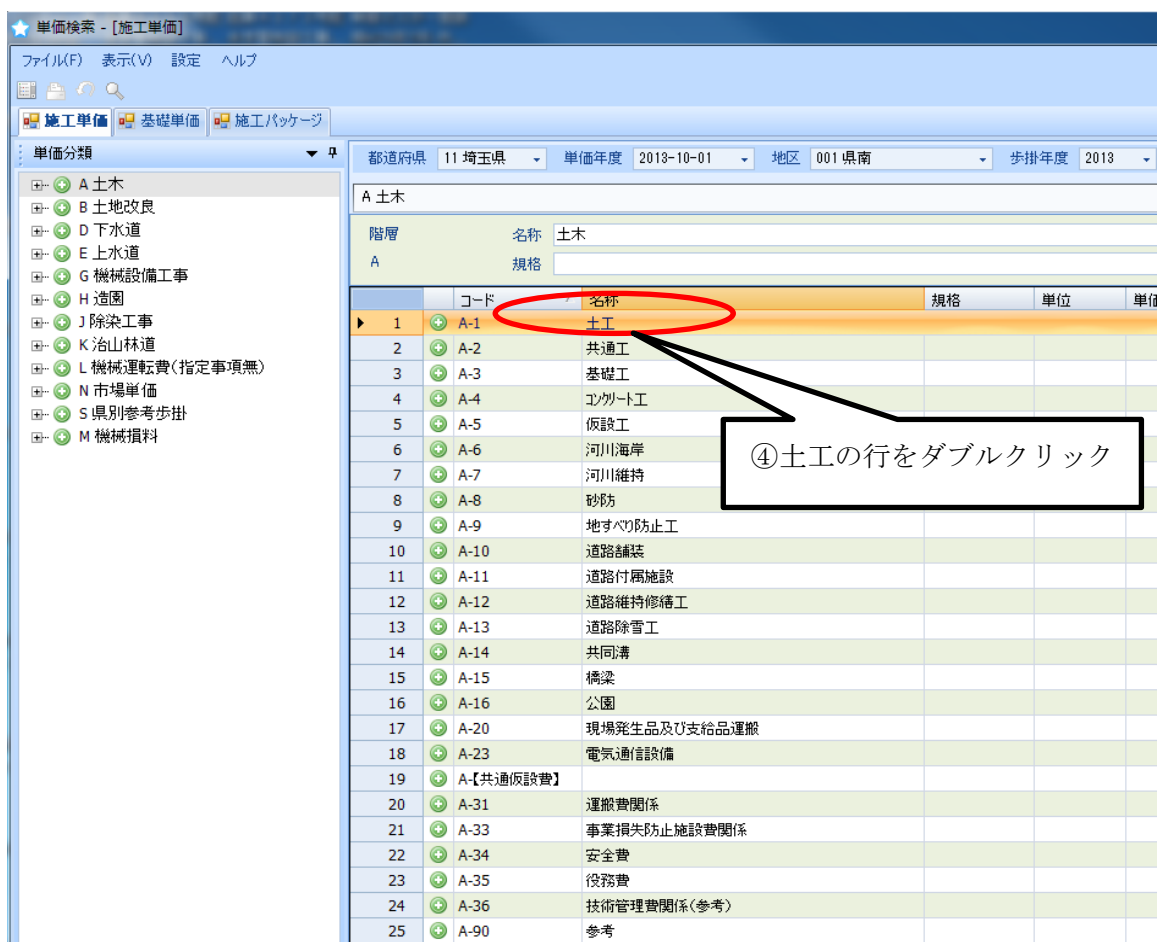
The screenshot shows the '単価検索 - [施工単価]' window. At the top, there are menu options: 'ファイル(F)', '表示(V)', '設定', and 'ヘルプ'. Below the menu is a toolbar with icons for '施工単価', '基礎単価', and '施工パッケージ'. The '表示バー' (display bar) is circled in red and contains the following settings: '単価分類', '都道府県 11 埼玉県', '単価年度 2013-12-01', '地区 001 県南', '歩掛年度 2013', and checkboxes for '霰雪' and '被災地'.

②表示バーの設定をします。

表示バー

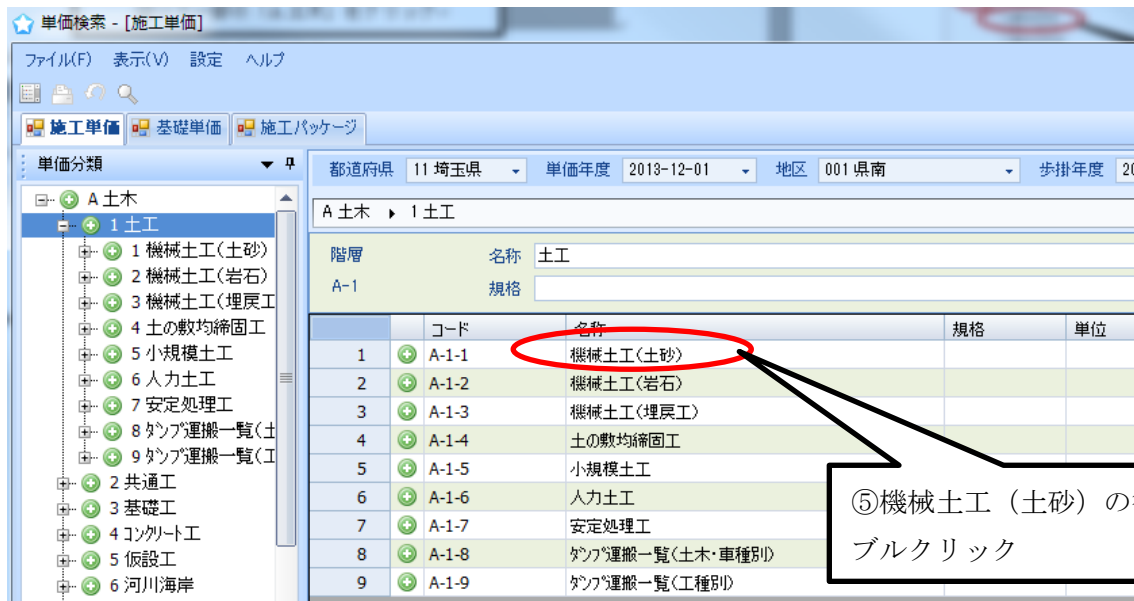


⇒右のリスト部に A 土木のツリーの内容が表示されます。

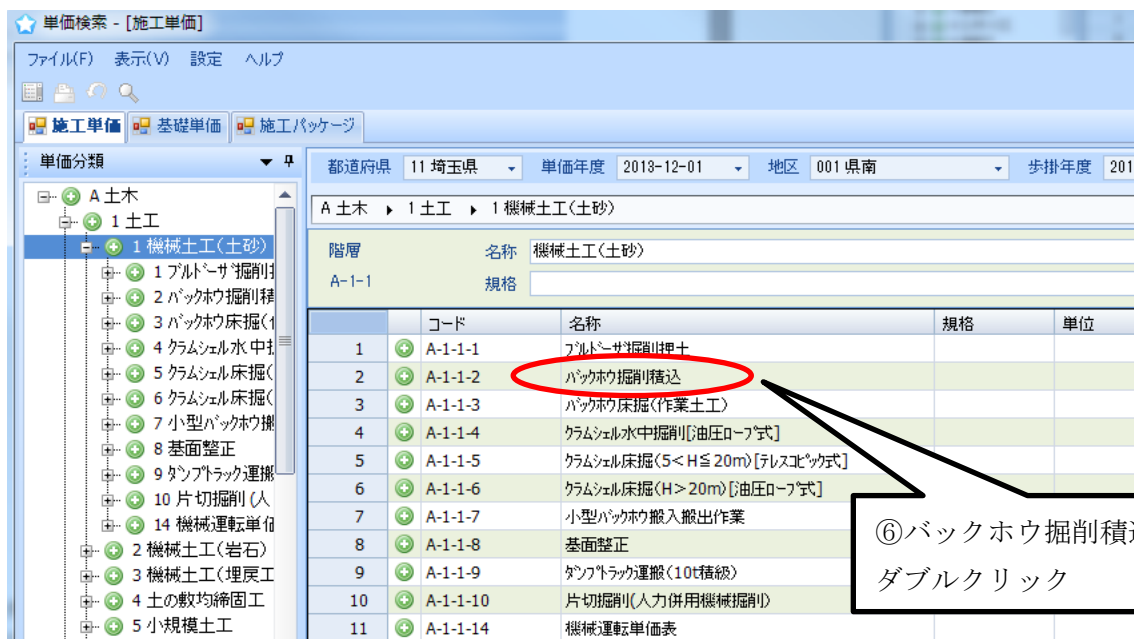


④リスト部の土工の行をダブルクリックします。

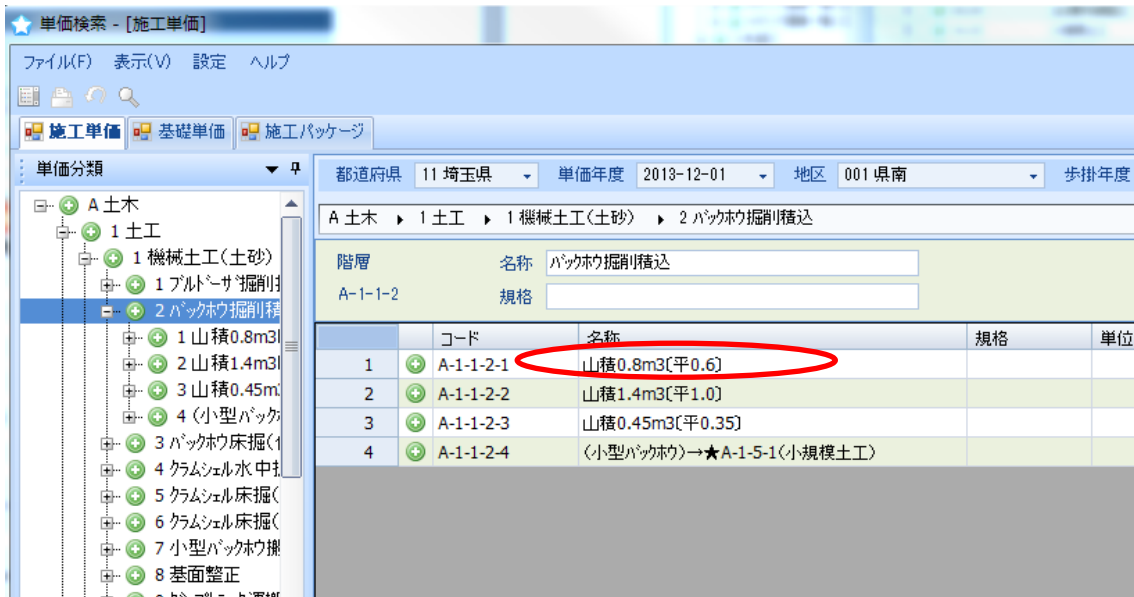
⇒土工のツリーの内容がリスト部に展開されます。



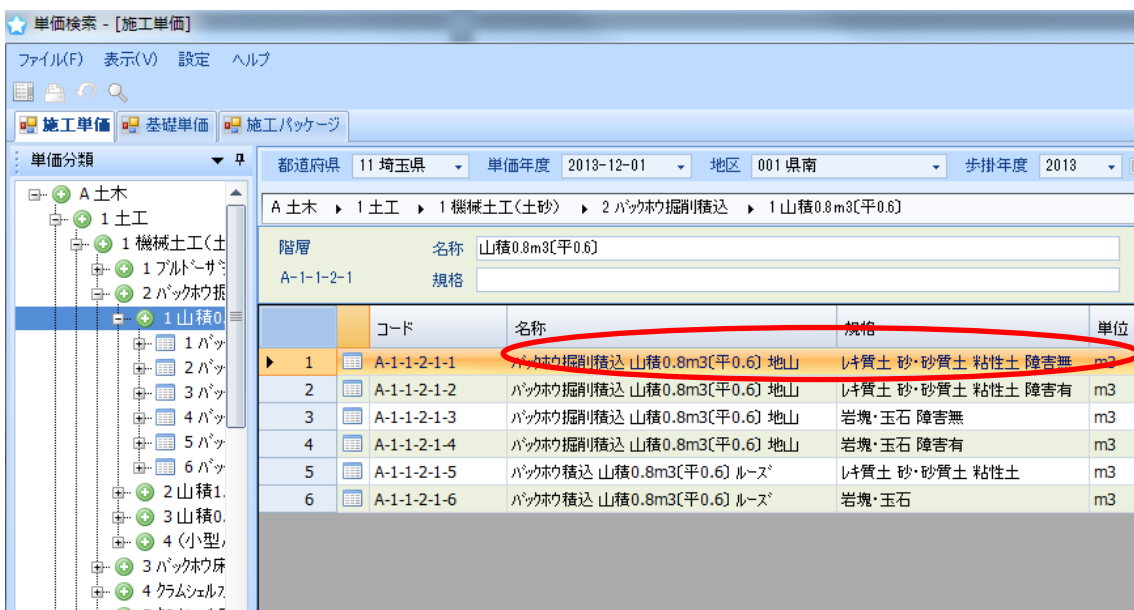
⑤同様に「機械土工(土砂)」をダブルクリック。
⇒機械土工(土砂)のツリーが展開します。



⑥同様に「バックホウ掘削積込」をダブルクリック。
⇒バックホウ掘削積込のツリーが展開します。

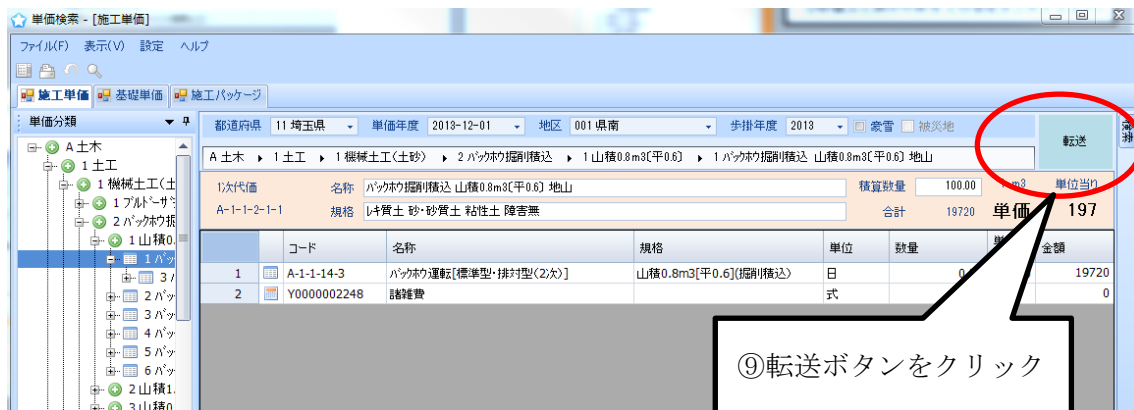


⑦「山積 0.8m3[平0.6]」の行をダブルクリック。



⑧リスト部に表示された代価の中から、規格欄に「砂質土」とある1行目をダブルクリック。

*名称欄や規格欄の幅は変更することができます。幅が狭いと規格が最後まで表示されない場合がありますのでご注意ください。



⇒リスト部に『バックホウ掘削積込 山積 0.8m³ 地山 砂質土』の明細が表示されます。
表示された明細を金抜き設計書の内容と確認します。
⑨間違いなければ右上の「転送」をクリックします。

設計書画面に戻って、選択した代価が貼りつきます



⑩数量欄に数量を入力して **ENTER** ボタンで確定してください。

続けてダンプトラック運搬を入力します。

名称	規格	単位	数量	単価	金額
① 道路改良		式	1		171,000
② 道路土工		式	1		171,000
③ 掘削工		式	1		171,000
④ 掘削(土砂)		m3	1		171,000
バックホウ掘削積込 地山 山積0.8m3 [平...	1t質土 砂・砂質土 粘性土 障害なし	m3	1000	171	171,000

①単価検索をクリック

単価検索が開きます。

単価検索 - [施工単価]

都道府県 11 埼玉県 単価年度 2013-12-01 地区 001 県南 歩掛年度 2013

A 土木 > 1 土工 > 1 機械土工(土砂) > 2 バックホウ掘削積込 > 1 山積0.8m3(平0.6) > 1 バックホウ掘削積込 山積0.8m3(平0.6) 地山

1次代価 名称 バックホウ掘削積込 山積0.8m3(平0.6) 地山
A-1-1-2-1-1 規格 1t質土 砂・砂質土 粘性土 障害無

コード	名称	規格	単位	数量	単価
1	A-1-1-14-3	バックホウ運搬[標準型・排封型(2次)]	山積0.8m3(平0.6)掘削積込	日	0.33 59760
2	Y0000002248	諸雑費		式	1

階層バー

先ほど選択した「バックホウ掘削積込」が表示されている状態です。

左のツリー部の色がついている部分と「階層バー」は同じ箇所を示しています。

単価検索 - [施工単価]

都道府県 11 埼玉県 単価年度 2013-12-01 地区 001 県南 歩掛年度 2013

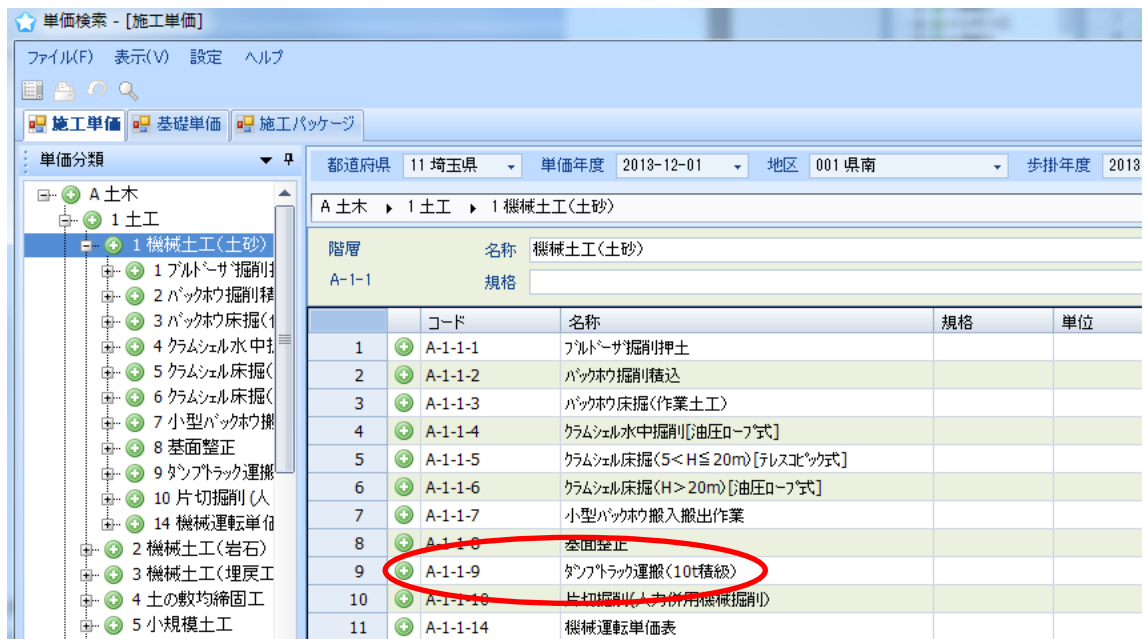
A 土木 > 1 土工 > 1 機械土工(土砂) > 2 バックホウ掘削積込 > 1 山積0.8m3(平0.6) > 1 バックホウ掘削積込 山積0.8m3(平0.6) 地山

1次代価 名称 バックホウ掘削積込 山積0.8m3(平0.6) 地山
A-1-1-2-1-1 規格 1t質土 砂・砂質土 粘性土 障害無

コード	名称	単	数量	単価
1	A-1-1-14-3	バックホウ運搬		
2	Y0000002248	諸雑費		

②クリックすると「機械土工(土砂)」のツリー展開画面にもどります。

② 「ダンプトラック運搬」を選択するために「機械土工（土砂）」のツリー展開画面まで戻ります。階層バーの「機械土工（土砂）」をクリックします。



③ 9行目の「ダンプトラック運搬 (10 t 積級)」をダブルクリックします。

④ 2行目の「土砂」をダブルクリックします。

⑤ 1行目の「バックホウ積込 山積 0.8m³」をダブルクリックします。

⑥ 1行目の「タイヤ損耗費 良好」をダブルクリックします。

⑦ 13行目の「運搬距離 15.5 km以下」をダブルクリックし、表示された明細を確認し「転送」ボタンで設計書に転送をします。



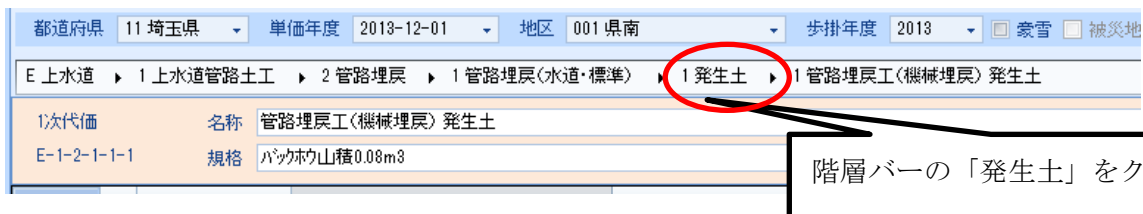
⑧ 「ダンプトラック運搬」が設計書に貼りつきました。

数量を 1000 と入力し、**ENTER** ボタンで確定してください。

数量を 1000 と入力

補足説明

- (1) 貼り付けた代価は第4階層掘削（土砂）より字下げされ第4階層の明細になっているので、第4階層の金額欄に2行分の合計金額が計上されています。字下げされていないと明細にはならず同格となってしまうので階層欄に金額は計上されません。階層の集計金額が合わない場合は字下げの有無を必ず確認してください。
- (2) スタートメニューの単価検索から設計書に単価を貼り付けることはできません。必ず設計書のボタン部にある単価検索から貼り付けを行ってください。
- (3) リスト部は階層バーの工種名をクリックすることでいつでもクリックした工種の階層表示に戻ることができます。

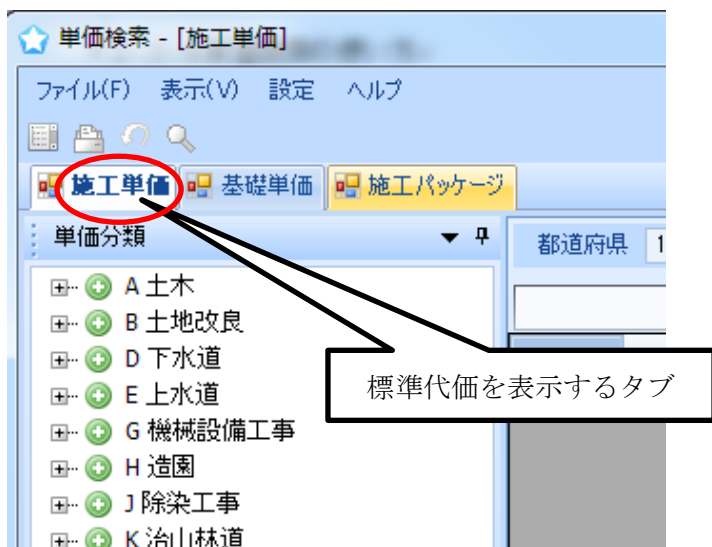


例えば、発生土をクリックすると、リスト部の階層表示が一つ前に戻り、バックホウの規格を選びなおすことができます。

2-3-4 施工単価、基礎単価、施工パッケージ画面

単価検索は「標準単価を表示する画面」と「基礎単価を表示する画面」及び「施工パッケージ単価を表示する画面」の3つに分かれています。

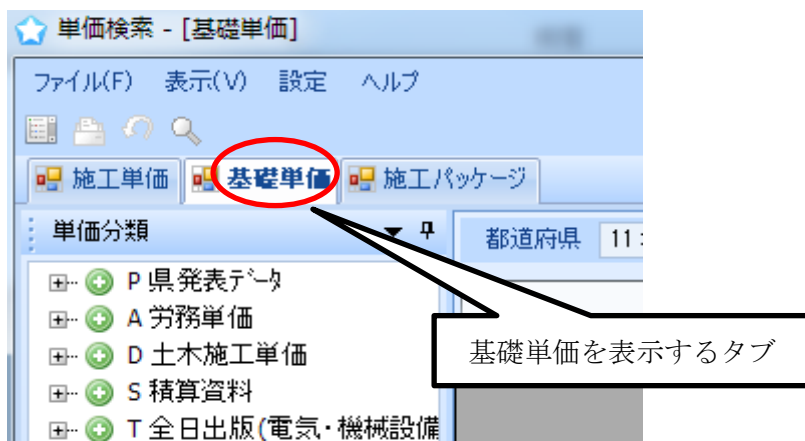
施工タブの画面



単価のツリーを見たい時は「施工」タブにします。初期設定では「施工」になっています

ツリー部の表示内容をご契約の内容によって違います。上の画面は「積算」の場合です。

基礎タブの画面

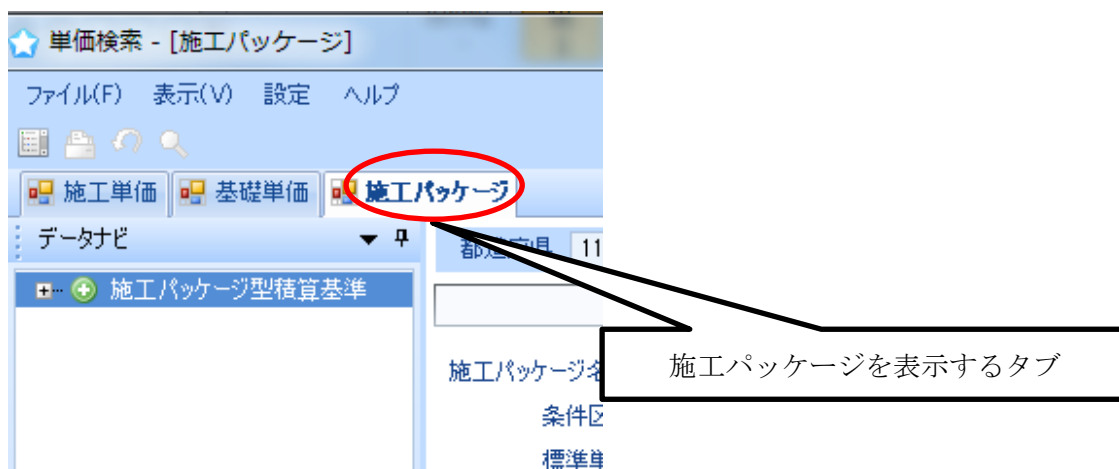


労務費や材料費などの単価を見たい時は「基礎」タブをクリックします。

「P 県発表データ」はご契約の県が公表している単価です。

「S 積算資料」はご契約の県の県庁所在地の地区単価です。

施工パッケージの画面



2-3-5 施工パッケージ単価の貼り付け

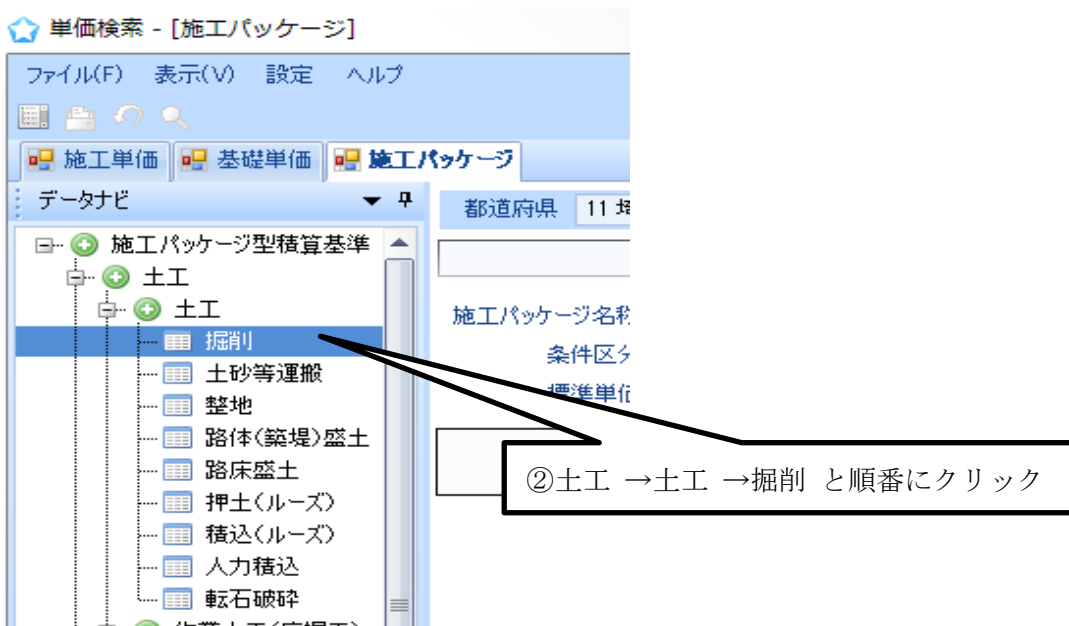
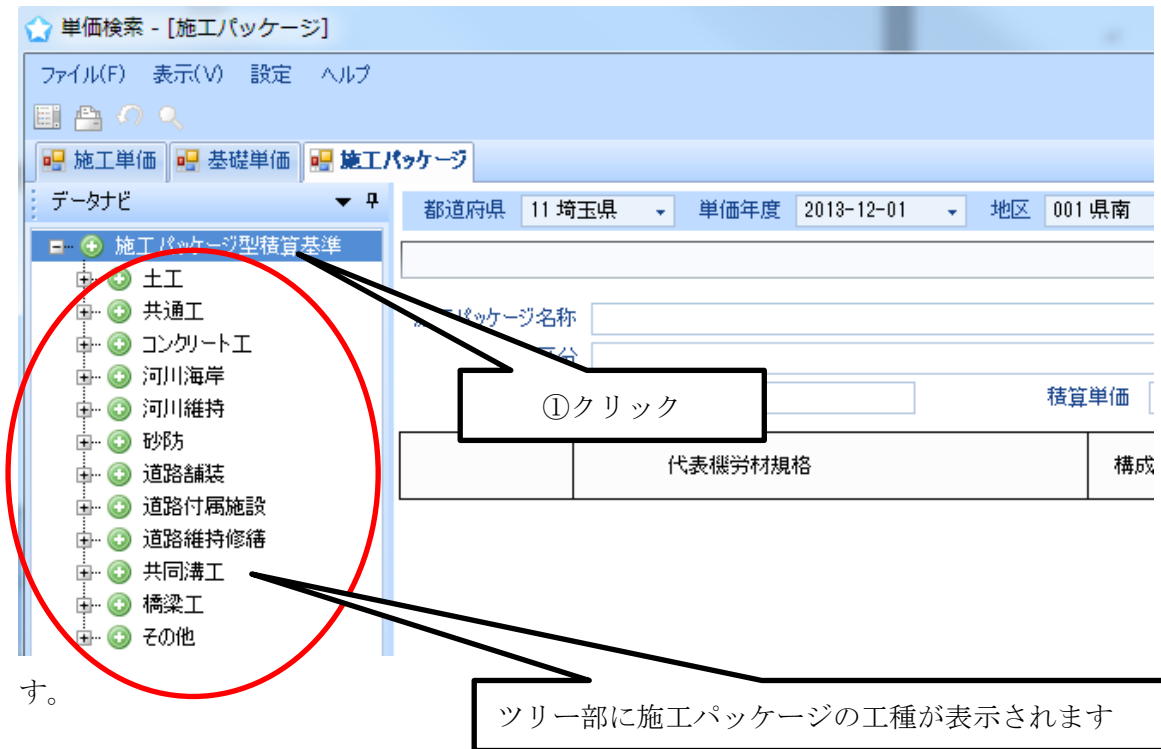
施工パッケージ単価を使いたい場合はタブを「施工パッケージ」に合わせ、ツリー部の

①「施工パッケージ型積算基準」をクリックします。

今回は「掘削」

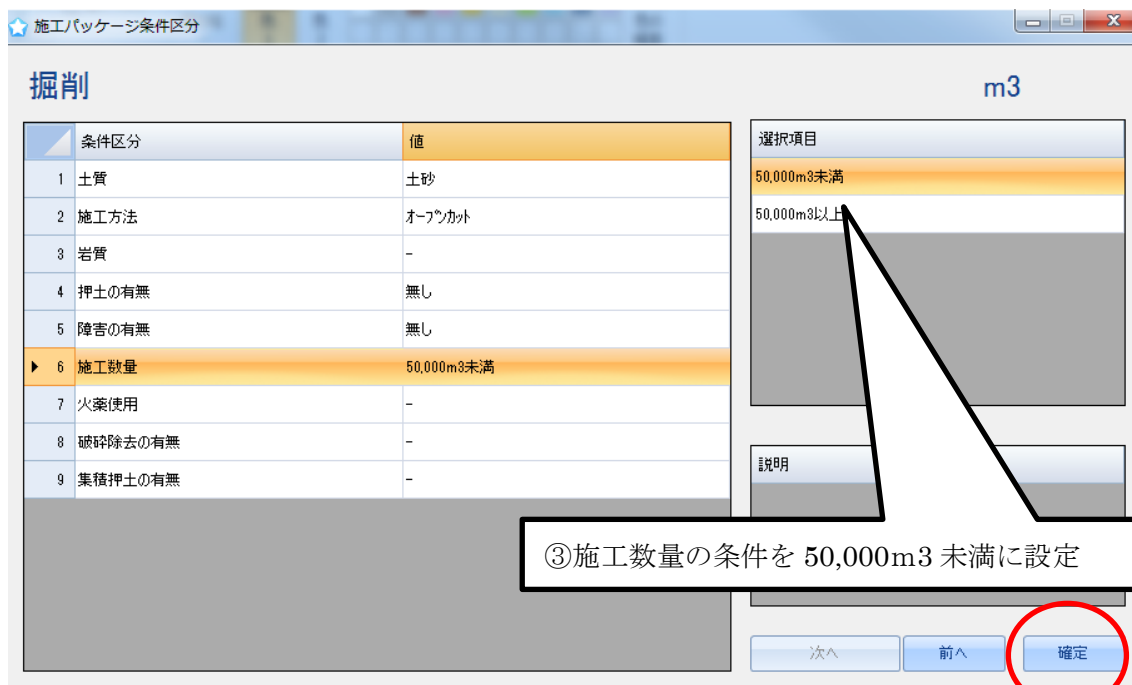
条件：土砂、オープンカット、押土なし、障害なし、50,000m³未満

の施工パッケージ単価を入力してみます。



②ツリー部の工種名をクリックし「掘削」を選択します。

条件：土砂、オープンカット、押土なし、障害なし、50,000m3未満



③「条件区分」の行を選択し、右の「選択項目」から条件に合うものを選択したら「次へ」ボタンをクリックします。

④条件を設定したら最後に確定ボタンをクリックします。

都道府県 11 埼玉県 単価年度 2013-12-01 地区 001 県南 適用年度 2013-10-01 計算根拠画面

振削

施工パッケージ名称 振削

条件区分 土砂オフカット無し無し50,000m3未満---

標準単価 181.6円 積算単価 199円

	代表機材規格	構成比	【東京17区】	【積算地区】(埼玉県/県南)	
			機材単価(円)	規格	機材単価(円)
K		47.66		-	-
K1	バックホウ[クローラ型-排ガス対策型(第2次)] 山積0.8m	47.66	17800	代表規格	17800
R		31.35		-	-
R1	特殊運転手	31.35	17100	代表規格	20700
Z		20.99		-	-
Z1	軽油 1.2号 バトル給油	20.99	106	代表規格	121

P(埼玉県/県南2013.12.01)=181.6

$$\begin{aligned} & * \left\{ \left(\frac{47.66}{100} * \frac{17800}{17800} \right) * \frac{47.66}{47.66} \right. \\ & + \left(\frac{31.35}{100} * \frac{20700}{17100} \right) * \frac{31.35}{31.35} \\ & + \left(\frac{20.99}{100} * \frac{121}{106} \right) * \frac{20.99}{20.99} \\ & \left. + \frac{100-47.66-31.35-20.99}{100} \right\} = 199(\text{円}/\text{m}^3) \end{aligned}$$

⑤ 「転送」 をクリック

施工パッケージの計算根拠が表示されます。

⑤右上の「転送」 ボタンをクリックすると設計書に貼りつきます。

vitie4 - 新規積算書.VT4

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 設定(O) ヘルプ(H) 頂!サービス(S)

直接工事費 (¥199,000.)

名称	規格	単位	数量	単価	金額	記
1) 道路改良		式	1		199,000	
2) 道路土工		式	1		199,000	
3) 振削工		式	1		199,000	
4) 振削(土砂)		m3	1		199,000	
振削	土砂オフカット無し無し50,000m3未満	m3	1000	199	199,000	

諸経費

代価一覧

単価一覧

施工パッケージの単価は「市場単価」として設計書に貼りつきます。

補足説明

施工パッケージで代表規格以外の材料を使用する場合

「路盤工」「下層路盤（車道・路肩部）」を例にとってみます。

「下層路盤(車道・路肩部)」で使用されている材料の代表規格は「クラッシャーラン C-40」です。このクラッシャーランが設計書で RC-40 が使用されている場合は以下の手順で変更します。

「下層路盤（車道・路肩部）」の条件区分を開くと、クラッシャーラン C-40 しか選択項目がありません。このような場合は一度そのままの条件で「確定」し、計算根拠画面で変更します。

施工パッケージ条件区分

下層路盤(車道・路肩部) m2

条件区分	値
1 平均厚さ	75mm超125mm以下
▶ 2 材料	クラッシャーラン C-40

選択項目
クラッシャーラン C-40

説明

次へ 前へ 確定

クラッシャーラン RC-40 が選択できない

そのままの条件で「確定」

施工パッケージ名称 下層路盤(車道・路肩部)
 条件区分 75mm超125mm以下クラッシャー C-40
 標準単価 547.55円 積算単価 502.3円

	代表機材規格	構成比	【東京17区】	【積算地区】(埼玉県/県南)	
			機材単価(円)	規格	機材単価(円)
K		9.92		-	-
K1	モータグレーダ[油圧式・第1次] ブレード幅3100mm 質量 10~15t	3.64	15300	代表規格	15300
			11700	代表規格	11700
			10800	代表規格	10800
R		15.87		-	-
R1	特殊運転手	8.43	17100	代表規格	20700
R2	普通作業員	6.13	14000	代表規格	16400
Z		74.21		-	-
Z1	クラッシャー C-40	71.94	3100	代表規格	2600
Z2	軽油 1.2号 バトル給油	2.09	106	代表規格	121

C-40 を RC40 と書き換える

F(埼玉県/県南2013.12.01)=547.55

$$\begin{aligned}
 & * \left[\left(\frac{3.64}{100} * \frac{15300}{15300} + \frac{2.82}{100} * \frac{11700}{11700} + \frac{2.64}{100} * \frac{10800}{10800} \right) * \frac{9.92}{3.64+2.82+2.64} \right. \\
 & + \left(\frac{8.43}{100} * \frac{20700}{17100} + \frac{6.13}{100} * \frac{16400}{14000} \right) * \frac{15.87}{8.43+6.13} \\
 & + \left(\frac{71.94}{100} * \frac{2600}{3100} + \frac{2.09}{100} * \frac{121}{106} \right) * \frac{74.21}{71.94+2.09} \\
 & \left. + \frac{100-9.92-15.87-74.21}{100} \right] = 502.3(\text{円}/\text{m}^2)
 \end{aligned}$$

クリックして 2700 と入力



$$\begin{aligned}
 & * \left[\left(\frac{3.64}{100} * \frac{15300}{15300} + \frac{2.82}{100} * \frac{11700}{11700} + \frac{2.64}{100} * \frac{10800}{10800} \right) * \frac{9.92}{3.64+2.82+2.64} \right. \\
 & + \left(\frac{8.43}{100} * \frac{20700}{17100} + \frac{6.13}{100} * \frac{16400}{14000} \right) * \frac{15.87}{8.43+6.13} \\
 & + \left(\frac{71.94}{100} * \frac{2700}{3100} + \frac{2.09}{100} * \frac{121}{106} \right) * \frac{74.21}{71.94+2.09} \\
 & \left. + \frac{100-9.92-15.87-74.21}{100} \right] = 515.1(\text{円}/\text{m}^2)
 \end{aligned}$$

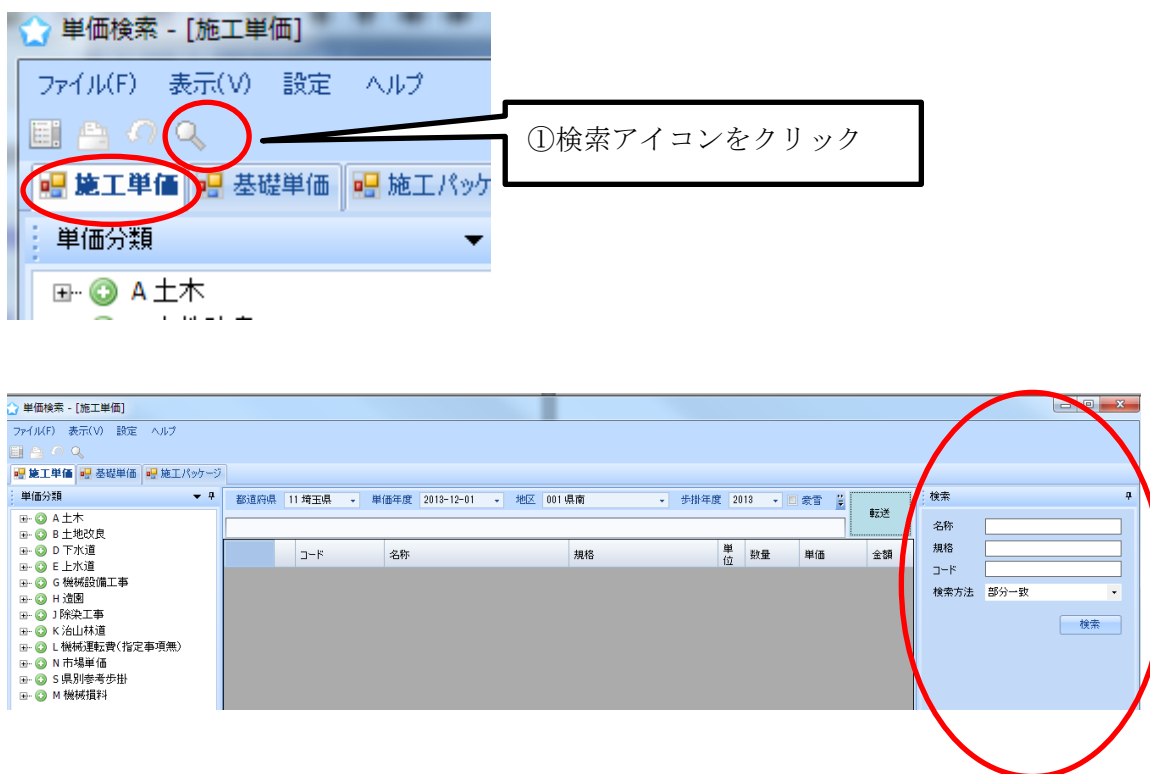
単価が 2700 として計算されます

2-3-6 ツリーから単価が見つからない時（「検索」の使い方）

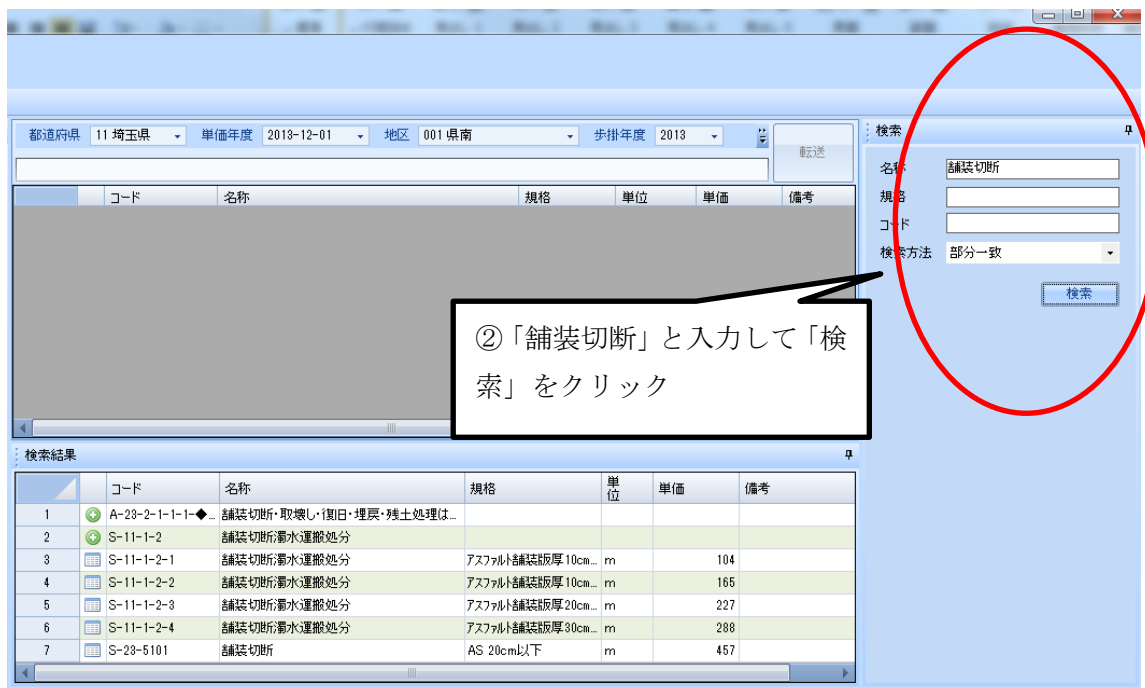
ツリーから見つからない場合やツリーのどこにあるか全くわからない場合は検索タブをクリックして検索ボックスを利用すると便利です。

例：舗装版切断の代価表の検索

①代価表を検索する時はタブを「施工」に合わせ、ツールバーの一番右のアイコンをクリックします。



単価検索画面の右側に検索用画面が表示されます。

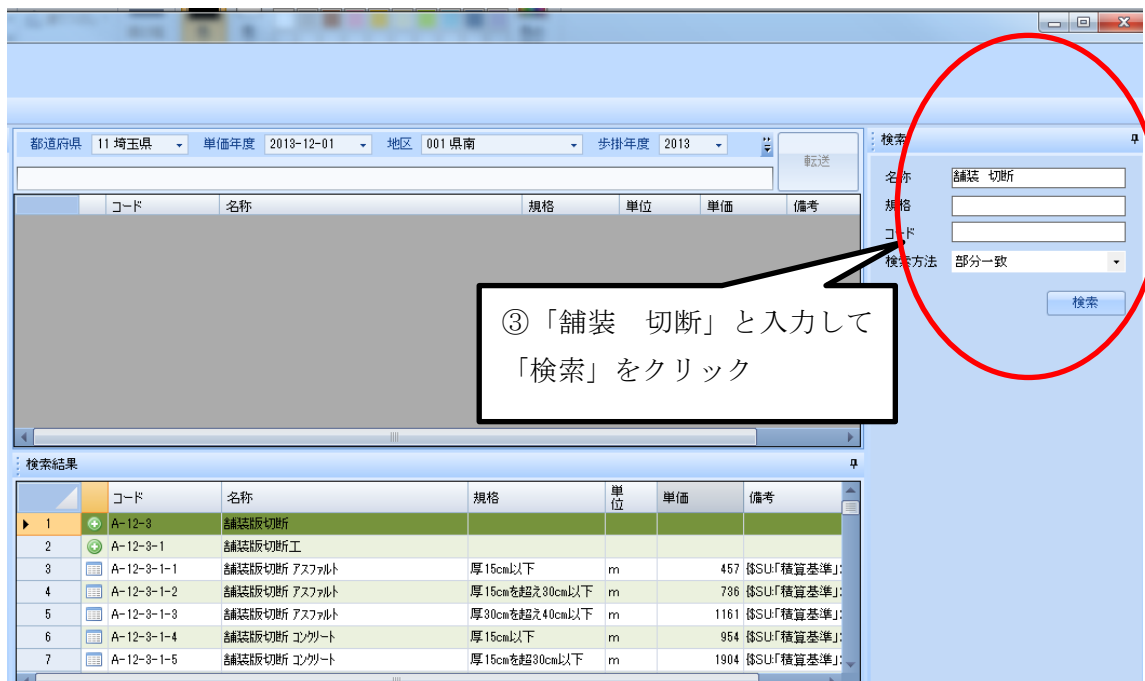


②検索用画面の名称欄に「舗装切断」と入力して「検索」をクリックします。

⇒リスト部の下に検索結果が表示されました。

コードを見てツリーのどこにあるか確認してみます。

施工単価でコードがSから始まるものは「県別参考歩掛」です。土木工事の歩掛を検索したいので



③舗装と切断の間にスペースを入れて「舗装 切断」として再度「検索」をクリックし

ます。

⇒検索結果にコードが A から始まる土木工事の舗装切断の歩掛が検索されました。

「舗装」と「切断」の間にスペースを入れることで「舗装版切断」がヒットしました。

The screenshot shows a software interface with a search bar at the top. Below the search bar, there is a table of search results. The table has columns for 'コード' (Code), '名称' (Name), '規格' (Specification), '単位' (Unit), '数量' (Quantity), and '単価' (Unit Price). The selected item is highlighted in green and circled in red. The selected item is '舗装版切断 アスファルト' (Paving Plate Cutting Asphalt) with code 'A-12-3-1-2' and a unit price of 736. The table also shows other items like '舗装版切断 工' (Paving Plate Cutting Work) and '舗装版切断 アスファルト' (Paving Plate Cutting Asphalt) with different specifications.

コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額
1	Y0000001625	普通作業員	人	0.59	16400	
2	A-12-3-3-2	コンクリートカッター運転[パキウム式]	日	0.59	36700	
3	Y0000001473	コンクリートカッターレード	枚	0.21	118000	
4	Y0000002248	諸雑費	式	1	17541	

コード	名称	規格	単位	単価	備考
1	A-12-3	舗装版切断			
2	A-12-3-1	舗装版切断 工			
3	A-12-3-1-1	舗装版切断 アスファルト			
4	A-12-3-1-2	舗装版切断 アスファルト	m	736	【SU「積算基準」】
5	A-12-3-1-3	舗装版切断 アスファルト	m	1181	【SU「積算基準」】
6	A-12-3-1-4	舗装版切断 コンクリート	m	954	【SU「積算基準」】
7	A-12-3-1-5	舗装版切断 コンクリート	m	1904	【SU「積算基準」】

該当する規格の行をダブルクリックすると検索結果の上に選択した歩掛の明細が表示されます。設計書に転送したい場合は右上の「転送」ボタンで転送することができます。

例：水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管継手の検索

①資材を検索する時はタブを「基礎単価」に合わせ、ツールバーの一番右のアイコンをクリックします。

②単価検査画面の右側に表示された検索用画面の名称欄に「塩ビ ゴム」と入力し「検索」をクリックします。「塩ビ」と「ゴム」の間はスペースを空けます。

コード	名称	規格	単位	単価	備考
P0122220070	水道用塩ビRRゴム輪受口継手	11° 1/4ヘッド径40	個	1250	
P0122220080	水道用塩ビRRゴム輪受口継手	22° 1/2ヘッド径40	個	1370	
P0122220090	水道用塩ビRRゴム輪受口継手	45° ヘッド径40	個	1470	
P0122220100	水道用塩ビRRゴム輪受口継手	90° ヘッド径40	個	1640	
S-25-10-15-12	水道用ゴム輪形硬質塩ビ管				
S-25-10-15-13	水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩ビ管				
S-25-20-15-13-1..	下水道用硬質塩ビ管継手 ゴム輪受口片受け直管	SRB 呼び径100mm	個	1140	
S-25-20-15-13-1..	下水道用硬質塩ビ管継手 ゴム輪受口片受け直管	SRB 呼び径125mm	個	1840	
S-25-20-15-13-1..	下水道用硬質塩ビ管継手 ゴム輪受口片受け直管	SRB 呼び径150mm	個	2630	
S-25-20-15-13-1..	下水道用硬質塩ビ管継手 ゴム輪受口片受け直管	SRB 呼び径200mm	個	4120	

リスト部を見ると初めの4行はコードが県公表データを表すPコードですが、5行目からは積算資料を表すSコードになっています。

このようにPコードとSコードの両方に該当するものがある場合は、県単価のPコードを優先してください。

補足説明

- (1) 施工単価を検索した場合も土木のAコードや下水のDコード、あるいは上水道のEコードなど複数のコードで該当するものが表示されることがあります。この場合は現在積算中の工事種類、例えば下水ならDコードの中から選択してください。
- (2) 同じ代価名でも工事種類や工種によっては代価の明細が違ふことがあります。コードを覚えて必ずツリー画面に戻り選択した代価が正しい工種の中のものか確認してください。
- (3) 検索ボックスに入れる文字は2~3文字程度が適当です。1文字でも違うとヒットしなくなるので、文字数が多いと確率が悪くなります。
- (4) 名称・規格・コードの欄をすべて入力しても、規格やコードだけでも検索可能です。
- (5) 単価検索画面では明細内容の変更はできません。内容を変更するには設計書に貼り付けてから行います。

2-3-7 標準代価の修正

単価検索画面から設計書に貼り付けた代価は自由に修正することができます。

最後に貼り付けた「無筋構造物人力打設」のコンクリートの規格を変更します。

変更したい代価の下位表を開きます。

名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号
1 道路改良		式	1		2,225,900	
2 道路土工		式	1		1,654,000	
3 掘削工		式	1		1,654,000	
4 掘削(土砂)		m3	1		1,654,000	
5 掘削(土砂)		m3	1000	171	171,000	
6 掘削(土砂)		m3	1000	1,483	1,483,000	
7 擁壁工		式	1		571,900	
8 場所打擁壁工		式	1		571,900	
9 コンクリート		m3	1		571,900	
10 無筋構造物人力打設 小運搬無 養生無	18N/mm2	m3	95	16,340	571,900	

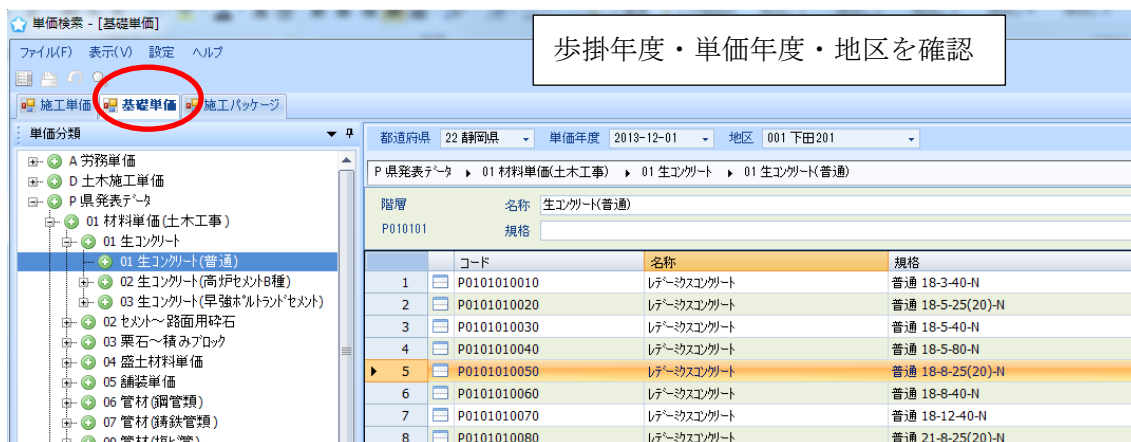
下位表で修正を行います。

名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号
★ 無筋構造物人力打設 小運搬無 養生無	18N/mm2	m3	10	19370	193,700	
1 土木一般世話役		人	0.57	20300	11,313 B	
2 特殊作業員		人	0.79	17300	14,141 B	
3 普通作業員		人	1.25	15300	19,875 B	
4 生コンクリート	18-8-40-BB W/C 60%	m3	10.4	13900	144,560 A	
5 諸雑費		式	1	3211.03	3,211 D	

4行目の生コンクリートの規格 18-8-40@11,600 を 18-8-25 に変更します。

単価検索で生コンクリートの 18-8-25 を探します。

④単価検索画面が開いたら歩掛年度・単価年度・地区を確認し、タブを「基礎単価」に設定します。

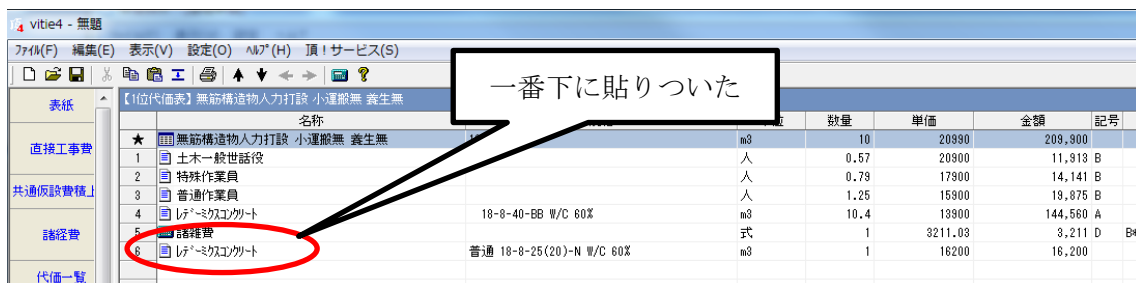


⑤まず P 県発表データのツリーから生コンクリートを探します。生コンクリートが入っていたので規格が 18-8-25 の行をダブルクリック

※県発表データにない場合は積算資料を探します。

検索アイコンを利用して検索した結果、県発表データ (P コード) と積算資料単価 (S コード) の両方がある場合は県発表データを優先してください。

⇒設計書画面に戻り、最下行に選択した生コンクリートが貼り付いています。



⑥貼り付けた生コンの数量を入力して行順を一番下から諸雑費の上へ入れ替えます。



表紙	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号
★	無筋構造物人力打設 小運搬無 養生無	18N/mm2	m3	10	36210	362,100	
1	土木一般世話役		人	0.57	20900	11,913 B	
2	特殊作業員		人	0.79	17900	14,141 B	
3	普通作業員		人	1.25	15900	19,875 B	
4	レミコンクリート	18-8-40-BB W/C 60%	m3	10.4	13900	144,560 A	
5	レミコンクリート	普通 18-8-25(20)-N W/C 60%	m3	10.4	16200	168,480	
6	諸雑費		式	1	3131.03	3,131 D	B*

⇒上向き矢印アイコンをクリックすると行が上に移動します。

⑦不要になった 18-8-40 を削除します。

表紙	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号
★	無筋構造物人力打設 小運搬無 養生無	18N/mm2	m3	10	36210	362,100	
1	土木一般世話役		人	0.57	20900	11,913 B	
2	特殊作業員		人	0.79	17900	14,141 B	
3	普通作業員		人	1.25	15900	19,875 B	
4	レミコンクリート	18-8-40-BB W/C 60%	m3	10.4	13900	144,560 A	
5	レミコンクリート	普通 18-8-25(20)-N W/C 60%	m3	10.4	16200	168,480	
6	諸雑費		式	1	3131.03	3,131 D	B*

⑦-1 不要になった 4 行目の 18-8-40 をクリック (着目行にして)

⑦-2 「切り取り」をクリック

戻る

単価検索

ユーザ単価

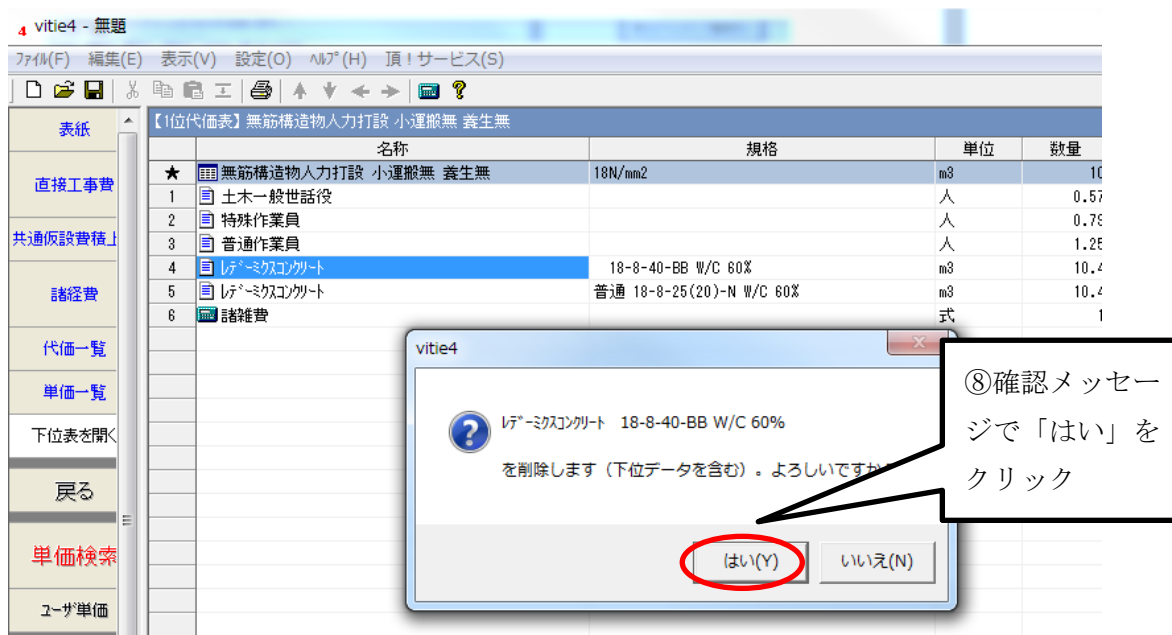
再計算

印刷

行の挿入

切り取り

切り取り確認メッセージが出ます。



切り取りが完了して変更した代価が完成しました。

名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号
★ 無筋構造物人力打設 小運搬無 養生無	18N/mm2	m3	10	21760	217,600	
1 土木一般世話役		人	0.57	20900	11,913 B	
2 特殊作業員		人	0.79	17900	14,141 B	
3 普通作業員		人	1.25	15900	19,875 B	
4 レゾミコンクリート	普通 18-8-25(20)-N W/C 60%	m3	10.4	16200	168,480	
5 諸雑費		式	1	3191.03	3,191 D	B

左側ボタン部にある「戻る」ボタンをクリックして直接工事費画面に戻ります。

補足説明

- (1) 項では単価検索画面での標準代価や単価の変更はできません。変更は必ず設計書に貼り付けてから設計書画面で行います。
- (2) 代価の下位表から上がってきた単価を変更する場合は、下位表から修正する必要があります。下位表を無視して直接単価を変更すると「代価の中身を捨てますか」という警告画面が出ます。下位表が不要の場合は「はい」で切り離すと、以後は代価ではなく単価となります。

2-3-8 新規代価（単価）の作成

標準代価の中にない歩掛は新規代価として作成します。

新規代価を作りたい行の名称欄をクリックして▼を表示させます。

名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号	計算式
1) 道路改良		式	1		2,236,750		
2) 道路土工		式	1		1,654,000		
3) 掘削工		式	1		1,654,000		
4) 掘削(土砂)		m3	1		1,654,000		
掘削積込 地山 山積0.8m3 [平...		m3	1000	171	171,000		
タラシの運搬 10 t積 土砂 掘削...		m3	1000	1,483	1,483,000		
擁壁工		式	1		582,750		
場所打擁壁工		式	1		582,750		
コンクリート		m3	1		582,750		
無筋構造物人力打設 小運搬無 養生無		m3	35	16,650	582,750		

① ▼をクリックしてプルダウンメニューを開く

② 「代価」をクリック

選択した行に「新規代価」ができます。（「単価」を選べば「新規単価」ができます）

名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号	計算式
1) 道路改良		式	1		2,236,750		
2) 道路土工		式	1		1,654,000		
3) 掘削工		式	1		1,654,000		
4) 掘削(土砂)		m3	1		1,654,000		
掘削積込 地山 山積0.8m3 [平...		m3	1000	171	171,000		
タラシの運搬 10 t積 土砂 掘削...		m3	1000	1,483	1,483,000		
擁壁工		式	1		582,750		
場所打擁壁工		式	1		582,750		
コンクリート		m3	1		582,750		
無筋構造物人力打設 小運搬無 養生無	18M/mm2	m3	35	16,650	582,750		
新規代価		式		0			

新規代価ができました

ここで新しい代価の名称と単位及び数量を入力します。（単価の場合はここで名称・規格・単位・数量・単価を直接入力します）

名称を「仮管布設工」、単位を「m」数量を「15」と入力してみます。

③名称「仮管布設工」単位など入力

④「下位表を開く」をクリック

単位はプルダウンメニューから選択できます

名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号
道路改良		式	1		2,236,750	
道路土工		式	1		1,654,000	
掘削工		式	1		1,654,000	
掘削(土)		式	1		1,654,000	
掘削(土)		m3	1000	171	171,000	
掘削(土)		m3	1000	1,483	1,483,000	
擁壁工		式	1		582,750	
場所打擁壁工		式	1		582,750	
コンクリート		m3	1		582,750	
無筋コンクリート		m3	35	16,650	582,750	
仮管布設工		m	15			

(「単位」がプルダウンメニューにない場合はキーボードから入力することもできます)

⇒【1位代価表】仮管布設工画面が表示されました。

【1位代価表】仮管布設工

重要：この数量は計算数量です。今回の仮管布設工の代価は10m当たりで作成するので数量は「10」と入力します。

名称	規格	単位	数量	単価	金額
★ 仮管布設工		m	1	0	

10m当たり普通作業員 2.0 人及び諸雑費を労務費の 5%として作成してみます。
単価検索を利用して基礎単価の普通作業員を貼り付けます。

まず計算数量を「10」に変更し、明細を作成します。(初期設定では「1」になっています)

⑤ 計算数量を「10」と入力

⑥ 基礎単価から普通作業員を貼り付けて、数量を「2」と入力

⑦ プルダウンメニューから計算式を選択

名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号
仮管布設工		m	10	2680	26,800	
普通作業員		人	2	13400	26,800	
計算式		式	1	0		

次に計算式「労務費の5%」の式を作ります。

記号欄に記号を、計算式欄に計算式をそれぞれ入力します。

⑧ 記号欄に「A」と入力

⑨ 計算式欄に「A*0.05:V4」と半角文字で入力

⑩ 「計算式」を「諸雑費」に変更

名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号	計算式
仮管布設工		m	10	2814	28,140		
普通作業員		人	2	13400	26,800	A	
計算式		式	1	1340	1,340		A*0.05:V4

計算式行の金額欄に計算された金額「1,340」が入りました。

記号欄を1回クリックすると自動的にAが入ります。2回クリックすると自動的にBに入ります。

完成です。最後にボタン部下端の「戻る」ボタンで直接工事費画面に戻ります。

名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号	計算式
★ 仮管布設工		m	10	2814	28,140		
1 普通作業員		人	2	1340	26,800	A	
2 諸雑費		式	1	1340	1,340		A*0.05:V4

表題行を見ると金額 28,140 円を計算数量「10」で割って単価は「2,814」となりました

戻るボタンで直接工事費画面に戻ります

補足説明

- (1) 諸雑費の計算式の記号 A は任意の文字で可能ですが、必ず半角文字にしてください。A*0.05 は記号 A の付いた金額の 5% を意味し、: V4 は有効数字 4 ケタで切り捨てて丸めるという意味です。(有効数字 4 ケタで丸める必要がない場合は不要です)
- (2) プルダウンメニューから「計算式」ではなく「諸雑費」を選択すると、計算式欄に「: U4」と表示されます。この場合は有効数字 4 ケタに切り上げて丸めます。
- (3) 有効数字 4 ケタとは高位の数字から 4 ケタで、例えば「534,829 円」の場合は上から 4 ケタは「5348・・」となり百円単位で丸めることとなります。切り下げの場合は「534,800 円」となり切り上げの場合は「534,900 円」となります。
- (4) 作成した代価を今後も利用する場合は、ユーザ単価に保存しておくことができます。(5-1-7「[ユーザ単価に登録](#)」参照)

2-3-9 計算式を使用した割増と割引【例】

① 労務費と機械経費(コンクリートカッター運転)の合計額の56%増しの場合

【1位(代)係表】 舗装板切所								
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号	計算式
★	舗装板切所	A s 舗装板 15cm以下	m	100	388	38,889		
1	普通作業員		人	0.42	10800	4,536	B	
2	コンクリートカッター運転	切削深20cm級(ワイヤ-式)	日	0.42	22130	9,294	E	
3	ブレード(コンクリートカッター)	径56cm	枚	0.21	81500	17,115	A	
4	計算式		式	1	7744.8	7,744		(B+E)*0.56

プルダウンメニューから計算式を選択します

労務費を B、コンクリートカッター運転を E と入力し、計算式に (B+E) * 0.56 と入力します

② 労務費と機械経費の合計額の20%引きの場合

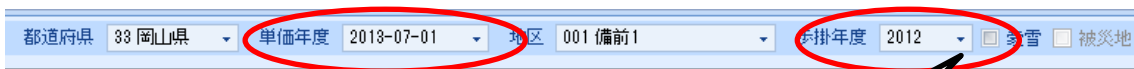
【1位(代)係表】 舗装板切所								
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号	計算式
★	舗装板切所	A s 舗装板 15cm以下	m	100	281	28,179		
1	普通作業員		人	0.42	10800	4,536	B	
2	コンクリートカッター運転	切削深20cm級(ワイヤ-式)	日	0.42	22130	9,294	E	
3	ブレード(コンクリートカッター)	径56cm	枚	0.21	81500	17,115	A	
4	計算式		式	1	-2766	-2,766		-(B+E)*0.2

労務費を B、コンクリートカッター運転を E と入力し、計算式に -(B+E) * 0.2 と入力します

2-3-10 前年度歩掛・今年度単価で積算する（年度の変わり目）

新年度になって労務費や資材単価は新年度単価になっても、歩掛は前年度のままという場合があります。頂は歩掛と単価を別々に管理しているのので、歩掛と単価の年度を変えて積算することができます。

例えば歩掛年度は【2012】（前年度歩掛）、単価年度は【2013-07】（今年度7月単価）として積算する場合



単価年度と歩掛年度のプルダウンを開き設定します。

▼をクリックして選択します

補足説明

- (1) 歩掛年度を前年度に設定する場合は、お使いのパソコンに前年度のDVDがインストールされている必要があります。
- (2) 単価年度の設定にはあらかじめデータ更新が必要です。
- (3) 歩掛が新年度に切り替わる時期は発注官庁により様々です。不明な場合は発注者に適用年度を確認してください。
- (4) 一つの設計書に年度の異なる歩掛をお使いになるのは、間違いのもとになるのでお勧めできません。

2-3-1 1 機械損料を前年度損料で積算する（年度の変わり目）

新年度になってもある時期まで機械損料は前年度を使うという場合があります。歩掛が新年度に切り替わると同時に機械損料も新年度損料になるようです。

頂では機械損料は「単価年度」ではなく、「歩掛年度」に連動させています。したがって機械損料を前年度にするには「歩掛年度」を前年度に合わせます。

2-4 共通仮設費積上額の入力

共通仮設費の積上げは直接工事費画面ボタン部の「共通仮設費積上額」から行います。(諸経費画面にも同じボタンがあります)

参考例として交通整理員 (B) 10 人を安全費に計上してみます。

直接工事費画面

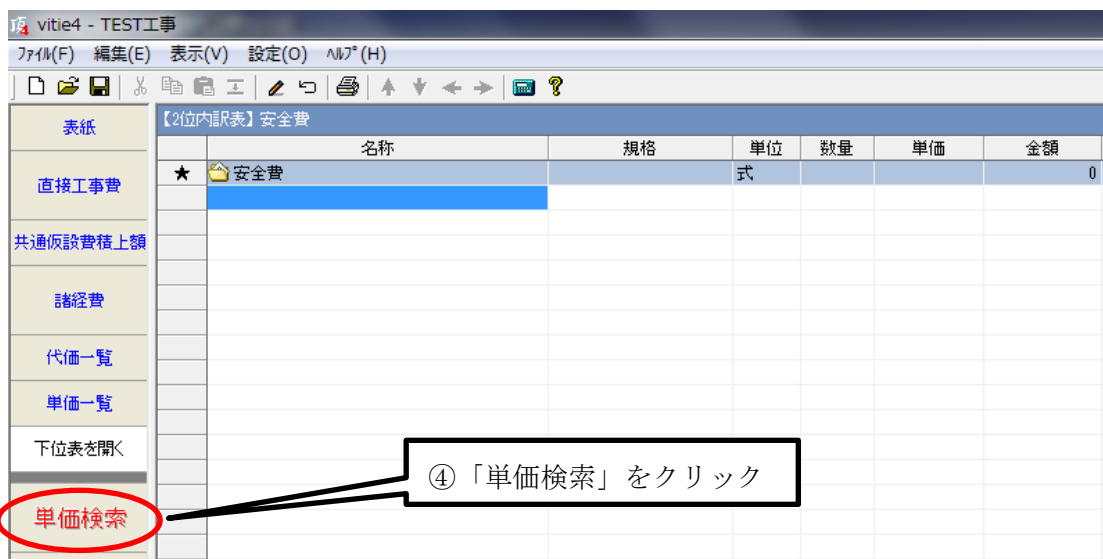
名称	規格	単位	数量	単価	金額	記
① 道路改良		式	1		2,278,960	
② 道路土工					1,854,000	
③ 掘削工					1,854,000	
④ 掘削代工事					1,854,000	
⑤ 掘削代工事	掘削代工事					
⑥ ハック材の掘削積込 地山 山積0.8m3 [平...	ハック材 砂・砂質土 粘...	m3	1000	171	171,000	
⑦ タンクトラック運搬 10 t 積 土砂 ハック材...	D I D区間無 運搬距離...	m3	1000	1,483	1,483,000	
⑧ 擁壁工		式	1		624,960	
⑨ 場所打擁壁工		式	1		624,960	
⑩ コケート		m3	1		624,960	
⑪ 無筋構造物人力打設 小運搬無 養生無	18N/mm2	m3	35	16,650	582,750	
⑫ 仮管布設工		m	15	2,814	42,210	

【1位内訳表】 共通仮設費積上額が開きます。(あらかじめ内訳項目が用意されています)

名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号	計算式
★ 共通仮設費積上額		式			0		
1 運搬費							
2 準備費							
3 仮設費							
4 事業場内防止施設費							
5 安全費		式	1	0			
6 労務費		式	1	0			
7 技術管理費		式	1	0			
8 営繕費		式	1	0			
9 労務者輸送費		式	1	0			
10 環境対策費		式	1	0			
11 イメージアップ積上額		式	1	0			

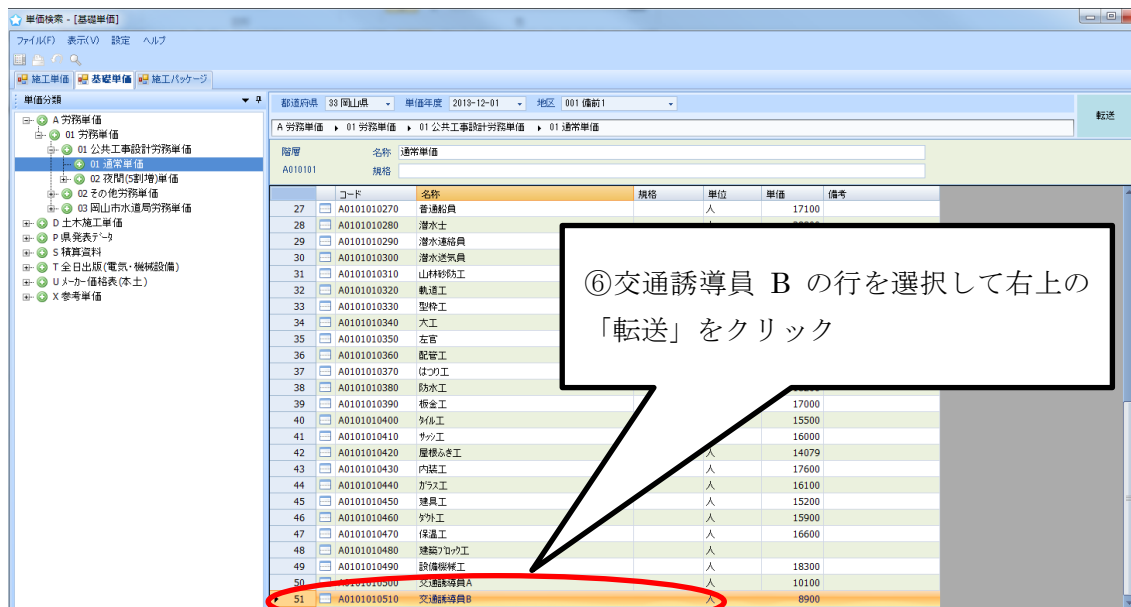
【2位内訳表】安全費が開きます。

ここで単価検索画面の基礎単価から交通誘導員を探します。



単価検索画面が開きます。

タブを基礎単価に合わせ、労務単価の中から交通誘導員 B を探します。



⇒設計書画面に戻り交通整理員 B が貼り付きます。

⑦数量を入力します。

名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号
★ 安全費		式			89,000	
1 交通安全員B		人	10	8900	89,000	

⑦数量を「10」と入力し「ENTER」で確定

【1位内訳表】 共通仮設費積上額の画面に戻り、安全費に 89,000 円が表示されました。

名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号
★ 共通仮設費積上額		式			89,000	
1 運搬費		式	1	0	0	
2 準備費		式	1	0	0	
3 仮設費		式	1	0	0	
4 事業損失防止施設費		式	1	0	0	
5 安全費		式	1	89000	89,000	
6 役務費		式	1	0	0	
7 技術管理費		式	1	0	0	
8 管轄費		式	1	0	0	
9 労働者輸送費		式	1	0	0	
10 環境対策費		式	1	0	0	
11 イメージアップ積上額		式	1	0	0	

運搬費など他の項目も同様に計上します。不要の場合はそのままでも金額が0円なので印字されません。

諸経費ボタンをクリックして確認してみます。

諸経費画面

表紙	諸経費 (当初)	名称	金額	選択内容	率	対象額	備考
直接工事費	設定	経費年度		2019_10			
	設定	工事種類		土木工事			
	設定	工事区分		河川工事			
共通仮設費積上額			89,000				
諸経費	設定	支給品額		自動計算			
	設定	無償貸付機械等評価額					
	設定	事業損失防止施設費					
代価一覧	設定	PC等寄附費					
	設定	鋼桁、門扉等の工場原価					
単価一覧	設定	直工に含まれる処分費		自動計算			
	設定	準備費に含まれる処分費		自動計算			
下位表を開く	設定	その他諸経費計算除外金額					
	設定	現場、一般管理費対象除外金額					
再計算	設定	共通仮設費補正		しない			
	設定	イメージアップ経費補正		しない			
	設定	共通仮設費補正(被災地)		しない			
印刷	設定	現場管理費補正(被災地)		しない			
工事価格シミュレート	設定	現場管理費補正(工事場所)		しない			
	設定	現場管理費補正(工事期間)		しない			
単価一括変更	設定	現場管理費補正(冬期)		しない			
	設定	一般管理費補正(前払金支出割合)		前払金支出割合35%を			
最低制限価格計算	設定	一般管理費補正(契約保証)		しない			
	設定	契約保証費を別に計上		しない			
		直接工事費		自動計算			
		共通仮設費	89,000				
		共通仮設費率額		自動計算(千円丸め)	0.0477		
		イメージアップ経費率額		計算しない			
内訳		共通仮設費積上額	89,000				
		純工事費	89,000	自動計算(丸めなし)			

諸経費画面の共通仮設費積上額に 89,000 円が計上されています。

補足説明

- (1) 事業損失防止施設費は共通仮設費の率計算の対象額に入りますが、共通仮設費積上額の1位内訳表に用意されたフォルダに計上すれば、諸経費画面に表示され自動的に対象額に算入されます。
- (2) 諸経費画面の共通仮設費積上額の金額欄には直接金額を入力できません。必ず下位表から入力してください。
- (3) 諸経費画面のボタン部にも共通仮設費積上額のボタンがあるので、ここからも積上げることができます。

3 諸経費の計算

3-1 土木工事

諸経費画面を開くと、その時点での直接工事費の合計額とそれに対応する間接費の率額が自動計算され、金額表示部に表示されます。

これから詳細設定と率の補正を行っていきます。

名称	金額	選択内容	率	備考
経費年度		2010_10		
工事種類		土木工事		
工事区分		河川工事		
支給品額				
無償貸付機械等評価額				
事業損失防止施設費		自動計算		
PC等購入費				
鋼桁、門扉等の工場原価				
直工に含まれる処分費		自動計算		
準備費に含まれる処分費		自動計算		
その他諸経費計算除外金額				
共通仮設費補正		地方部-一般交通等の影...	0.015	
イメージアップ経費補正		しない		
現場管理費補正(工事場所)		地方部-一般交通等の影...	0.01	
現場管理費補正(工事期間)		しない		
現場管理費補正(冬期)		しない		
一般管理費補正(前払金支出割合)		前払金支出割合0%から5%...	1.05	
一般管理費補正(契約保証)		金銭的保証を必要	0.0004	
直接工事費	2,380,000	自動計算		
共通仮設費	339,000			
共通仮設費率額	339,000	自動計算(千円丸め)	0.1403	2,380,000
イメージアップ経費率額		計算しない		
共通仮設費積上額				
純工事費	2,719,000			
現場管理費	1,024,000	自動計算(千円丸め)	0.3778	2,719,000
工事原価	3,797,000			
一般管理費等	565,000	自動計算	0.1514	3,797,000 調整額 = 781
処分費		固定金額		
契約保証費		固定金額		
工事価格	4,302,000	自動計算(千円丸め)		
消費税	215,100		0.05	4,302,000

以下の手順で行います

- 1.基本設定の確認。
- 2.詳細設定の確認。
- 3.率補正の設定。
- 4.ボタン部の再計算ボタンをクリック。

工事価格は初期設定では千円止めになっていますが、万円丸めや丸めなしなど自由に変更できます。

ボタン部



共通仮設費積上額：積上げ項目がある場合に開きます。

代価一覧：積算中の物件の代価を一覧表示します。

単価一覧：積算中の物件の単価を一覧表示します。

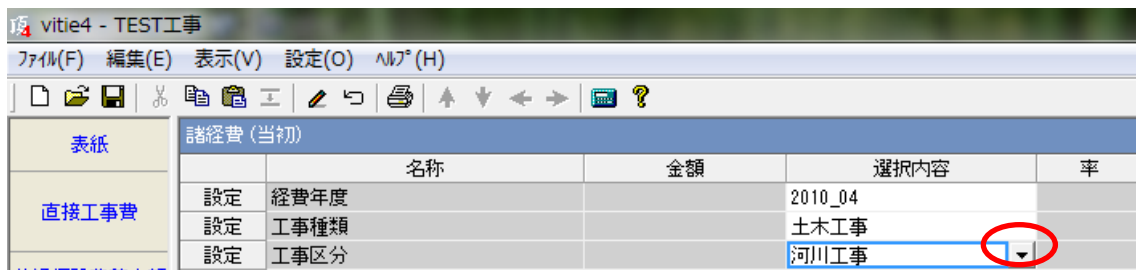
再計算：設定を変更すると赤く変色します。最後に必ずクリックしてください。

単価一括変更：積算が終了した物件の工事価格を任意の金額に変更します。

最低制限価格：表示されている金額での最低制限価格を計算します。（計算式を登録しておく必要があります）

工事価格シミュレート：工事価格を任意の額に変更することができます。

基本設定



それぞれ表紙画面で設定した条件が表示されています。もし変更する場合は「選択内容欄」をクリックすると▼印が表示され、さらにクリックするとプルダウンメニューが開き別の項目を選択できます。

詳細設定

ここにある項目は間接費の率計算の対象額に影響を与える項目です。該当する項目がある場合には金額を入力します。

選択内容欄に「自動計算」と表記がある項目は、直接工事費や共通仮設費積上額を入力するときに、手順通りに入力すると自動的に金額が表示されます。何らかの事情で自動計算が機能しない場合は直接入力することもできます。(直接入力した場合は「自動計算」が「固定金額」に変わります)

諸経費	設定	支給品額				
	設定	無償貸付機械等評価額				
	設定	事業損失防止施設費			自動計算	
代価一覧	設定	PC桁等購入費				
	設定	鋼桁、門扉等の工場原価				
単価一覧	設定	直工に含まれる処分費			自動計算	
	設定	準備費に含まれる処分費			自動計算	
下位表を開く	設定	その他諸経費計算除外金額				

- 上記1行目の「支給品額」は下表の支給品等の一般材料費、4行目「PC桁等購入費」は支給品ではない桁等購入費、5行目「鋼桁、門扉等の工場原価」は鋼橋門扉等工場原価を対象としています。
- 処分費は直接工事費の処分費と共通仮設費・準備費の処分費は計算方法が違うので、別々に分けて計上します。

土木工事の各項目と間接費対象額との関係は下表のとおりです。

間接工事費		共通仮設費	現場管理費	一般管理費
対象額		対象額	直接工事費+共通仮設費=純工事費	純工事費+現場管理費=工事原価
項目				
	桁等購入費	×	○	○
	処分費等	別途「 5-2-1 処分費等を率計算に反映する 」を参照		
支給品費等	桁等購入費	×	○	×
	一般材料費	○	○	×
	別途製作の製作費	×	×	×
	電力	○	○	×
	無償貸与機械評価額	○	○	×
	鋼橋門扉等工場原価	×	×	○
	現場発生品	×	×	×
ダム工事	支給電力料 (基本料金含む)	×	×	×
	無償貸与機械評価額	○	×	×

○は対象とする ×は対象としない

1. 共通仮設費対象額とは直接工事費+支給品費+無償貸与機械評価額+事業損失防止施設費です。
2. 桁等購入費とはPC桁,簡易組立式橋梁,グレーチング床版,門扉,ポンプ,大型遊具(設計製作品),光ケーブルの購入費です。
3. 別途製作する標識柱(F型柱,WF型柱,オーバーヘッド式)の場合の扱いは、鋼橋,門扉等工場原価の取り扱いに準じます。(t当り製作単価として取扱う場合)

率補正設定

間接費の率計上分の率を工事場所などに応じて補正します。工事場所や冬季補正及び契約保証などがあります。正しく設定しないと工事価格が違ってきます。▼からプルダウンメニューを開いて、選択するものと冬季補正など数値を直接入力するものとあります。

再計算	設定	共通仮設費補正	しない
	設定	イメージアップ経費補正	しない
印刷	設定	現場管理費補正(工事場所)	しない
	設定	現場管理費補正(工事期間)	しない
自動計算に戻す	設定	現場管理費補正(冬期)	しない
	設定	一般管理費補正(前払金支出割合)	しない
単価一括変更	設定	一般管理費補正(契約保証)	しない

金額表示部

設定された条件により自動計算された金額が表示されます。

最低制限価格計算	直接工事費	2,278,960	自動計算		
	共通仮設費	367,000			
	共通仮設费率額	285,000	自動計算	0.1253	2,278,960
	イメージアップ経费率額		計算しない		
	内訳	共通仮設費積上額	82,000		
	純工事費	2,645,960			
	現場管理費	973,000	自動計算	0.3678	2,645,960
	工事原価	3,618,960			
	一般管理費等	511,040	自動計算	0.1438	3,618,960
	処分費		固定金額		
	契約保証費		固定金額		
	工事価格	4,130,000	自動計算		
	消費税	206,500		0.05	4,130,000
	総工事価格	4,336,500	自動計算		

計算の根拠となる対象額や率も表示されています。上記の場合、共通仮設费率額の対象額は「2,278,960」、率は「0.1253 (12.53%)」です。

補足説明

- (1) 諸経費画面で設定を変更すると必ず「再計算ボタン」が赤くなります。最後に必ず「再計算ボタン」をクリックして再計算をさせてください。
- (2) 共通仮設費と現場管理費の率額は千円丸めで切り捨て、工事価格は万円止めで切り捨てになっています。丸めの単位を変更するには、それぞれの金額行の「自動計算」をクリックして▼をクリックするとプルダウンメニューから丸め単位を選択できます。

- (3) 一般管理費等の下にある「処分費」「契約保証費」はこれらを率の補正ではなく、金額で計上するときに使います。
- (4) 対象額欄にはそれぞれの率計算に使用する対象額が表示されています。
- (5) 一般管理費行の「調整額」は工事価格を丸めるために切り捨てた額です。

土木工事の諸経費画面ですが、他の工事でも考え方は同じです。

諸経費画面

項目	設定	率	対象額	金額
直接工事費	2,380,000	自動計算		
共通仮設費積上額	333,000	自動計算(千円丸め)	2,380,000	333,000
諸経費				
代値一覧				
単値一覧				
下位表を開く				
再計算				
印刷				
自動計算に戻す				
単値一括変更				
最低制限価格計算				
内訳				
共通仮設費積上額				
純工事費	2,713,000			
現場管理費	1,024,000	自動計算(千円丸め)	2,713,000	1,024,000
工事原価	3,737,000			
一般管理費	565,000	自動計算	3,737,000	565,000
処分費		固定金額		
契約保証費		固定金額		
工事原価	4,302,000	自動計算(千円丸め)	4,302,000	4,302,000
消費税	215,100	自動計算		
総工事価格	4,517,100	自動計算(丸めなし)		

最後に必ず「再計算」ボタンをクリックしてください

率計算の対象額を表示しています

再計算

調整額 = 781

処分費や契約保証費を率の補正ではなく金額で計上する場合はここに入力します

丸めの桁を選択できます

調整額は工事価格を丸めるため、一般管理費を切り捨てた金額です

3-2 水道工事

水道工事は管材費の取扱いに特徴があります。

表紙	諸経費(当初)				備考			
	名称	金額	選択内容	率				
直接工事費	設定	経費年度	2010_10		基本設定			
	設定	工事種類	水道工事(水道実務必携...					
	設定	工事区分	開削工事及び小口径推進...					
共通仮設費積上額								
諸経費	設定	直工に含まれる管材費	自動計算		詳細設定			
	設定	支給品に含まれる管材費						
	設定	支給品額						
代価一覧	設定	無償貸付機械等評価額			詳細設定			
	設定	事業損失防止施設費	自動計算					
単価一覧	設定	PC管等購入費			詳細設定			
	設定	鋼桁、門扉等の工場原価						
下位表を開く	設定	直工に含まれる処分費	自動計算		詳細設定			
	設定	準備費に含まれる処分費	自動計算					
再計算	設定	その他諸経費計算除外金額			詳細設定			
	設定							
印刷	設定	共通仮設費補正	地方部一般交通等の影...	0.015	率補正設定			
	設定	現場管理費補正(工事場所)	地方部一般交通等の影...	0.01				
自動計算に戻す	設定	現場管理費補正(工事期間)	しない		率補正設定			
	設定	現場管理費補正(冬期)	しない					
単価一括変更	設定	一般管理費補正(前払金支出割合)	前払金支出割合0%から5%...	1.05	率補正設定			
	設定	一般管理費補正(契約保証)	金銭的保証を必要	0.0004				
最低制限価格計算	設定	環境対策費補正	しない		率補正設定			
	設定							
ボタン部		直接工事費	2,380,000	自動計算				
		共通仮設費	352,000					
		共通仮設費率額	352,000	自動計算(千円丸め)	0.1482	2,380,000		
		環境対策費率額		計算しない				
		内訳	共通仮設費積上額					
			純工事費	2,732,000				
			現場管理費	610,000	自動計算(千円丸め)	0.2235	2,732,000	
			工事原価	3,342,000				
			一般管理費等	505,000	自動計算	0.1514	3,342,000	調整額 = 978
			処分費		固定金額			
		契約保証費		固定金額				
		工事価格	3,847,000	自動計算(千円丸め)				
		消費税	192,350		0.05	3,847,000		
		総工事価格	4,039,350	自動計算				

ボタン部は土木工事と同じです。

基本設定

水道工事の工事種類は頂では2種類用意しています。

- ①水道工事(水道実務必携基準・平成21年度以降):水度事業実務必携に基づいています。
- ②水道工事(下水道準拠・平成21年度以降):土木工事の下水道工事(2)と同じです。

厚生省からの補助金が入っている場合は通常①を使います。補助金がない自治体の場合は②を使っているところもあるようです。

表紙	諸経費(当初)			
	名称	金額	選択内容	
直接工事費	設定	経費年度	2010_04	
	設定	工事種類	水道工事(水道実務必携...	
	設定	工事区分	開削工事及び小口径推進...	
共通仮設費積上額				

詳細設定

管材費や支給品などの率分の対象額に影響する項目を入力します。

諸経費	設定	直工に含まれる管材費	自動計算
	設定	支給品に含まれる管材費	
	設定	支給品額	
代価一覧	設定	無償貸付機械等評価額	
	設定	事業損失防止施設費	自動計算
単価一覧	設定	PC桁等購入費	
	設定	鋼桁、門扉等の工場原価	
下位表を開く	設定	直工に含まれる処分費	自動計算
	設定	準備費に含まれる処分費	自動計算
再計算	設定	その他諸経費計算除外金額	

「直工に含まれる管材費」を自動計算で表示させるには「[5-2-3 管材費を率計算に反映させる](#)」を参照してください。

水道工事の各項目と間接費対象額との関係は下表のとおりです

間接工事費等		共通仮設費	現場管理費	一般管理費
対象額		対象額	直接工事費+共通仮設費=純工事費	純工事費+現場管理費=工事原価
項目				
	管材費	○ (原則 1/2 の金額)	○ (原則 1/2 の金額)	○
	桁等購入費	×	○	○
	処分費等	別途「 5-2-1 処分費等を率計算に反映する 」を参照		
支給品等	管材費	○ (原則 1/2 の金額)	○ (原則 1/2 の金額)	×
	桁等購入費	×	○	×
	一般材料費	○	○	×
	別途製作の製作費	×	×	×
	電力	○	○	×
	無償貸与機械評価額	○	○	×
	鋼橋門扉等工場原価	×	×	○
	現場発生品	×	×	×

○は対象とする ×は対象としない

1. 共通仮設費対象額とは直接工事費+支給品費+無償貸与機械評価額+事業損失防止施設費です。
2. 桁等購入費とは PC 桁,簡易組立式橋梁,グレーチング床版,門扉,ポンプ,大型遊具(設計製作品),光ケーブルの購入費です。

率補正設定

初期設定では「しない」になっているので、必要な場合は各項目の▼をクリックして選択します。冬季補正は直接数値を入力します。

印刷	設定	共通仮設費補正	しない
自動計算に戻す	設定	現場管理費補正(工事場所)	しない
	設定	現場管理費補正(工事期間)	市街地 山間僻地及び離島
単価一括変更	設定	現場管理費補正(冬期)	地方部-一般交通等の影響あり
	設定	一般管理費補正(前払金支出割合)	地方部-一般交通等の影響なし 市街地-大都市の特性を考慮
	設定	一般管理費補正(契約保証)	しない
	設定	環境対策費補正	しない

金額表示部

設定された条件に従って自動計算された金額を表示します。率計算の対象額や率も表示されています。

直接工事費	2,380,000	自動計算		
共通仮設費	352,000			
共通仮設费率額	352,000	自動計算(千円丸め)	0.1482	2,380,000
環境対策费率額		計算しない		
内訳 共通仮設費積上額				
純工事費	2,732,000			
現場管理費	610,000	自動計算(千円丸め)	0.2235	2,732,000
工事原価	3,342,000			
一般管理費等	505,000	自動計算	0.1514	3,342,000 調整額 = 878
処分費		固定金額		
契約保証費		固定金額		
工事価格	3,847,000	自動計算(千円丸め)		
消費税	192,350	自動計算	0.05	3,847,000
総工事価格	4,039,350	自動計算(10万円丸め)		
		自動計算(1万円丸め)		
		自動計算(千円丸め)		
		自動計算(百円丸め)		
		自動計算(丸めなし)		

工事価格は初期設定では万円止めになっています。上のように▼からプルダウンメニューを表示させ、丸めの桁を選択できます。

補足説明

- (1) 諸経費画面で設定を変更すると必ず「再計算ボタン」が赤くなります。最後に必ず「再計算ボタン」をクリックして再計算をさせてください。
- (2) 共通仮設費と現場管理費の率額は千円丸めで切り捨て、工事価格は万円止めで切り捨てになっています。丸めの単位を変更するには、それぞれの金額行の「自動計算」をクリックして▼をクリックするとプルダウンメニューから丸め単位を選択できます。
- (3) 一般管理費等の下にある「処分費」「契約保証費」はこれらを率の補正ではなく、金額で計上するときに使います。
- (4) 対象額欄にはそれぞれの率計算に使用する対象額が表示されています。
- (5) 一般管理費行の「調整額」は工事価格を丸めるために切り捨てた額です。

水道工事（実務必携準拠）の諸経費画面

最後に必ず「再計算」ボタンをクリック

表紙	名称	金額	選択内容	率	対象額	備考
直接工事	費年度		2010_10			
共通仮設費	工事種類		水道工事(水道実務必携準拠)			
	工事区分		開削工事及び小口径推進...			
設定	直工に含まれる管材費		自動計算			
設定	支給品に含まれる管材費					
設定	支給品額					
設定	無償貸付機械等評価額					
設定	事業損失防止施設費					
設定	PC桁等購入費					
設定	鋼桁、門扉等の工場原価					
設定	直工に含まれる処分費		自動計算			
設定	準備費に含まれる処分費		自動計算			
設定	その他諸経費計算除外金額					
設定	共通仮設費補正		地方部-一般交通等の影...	0.015		
設定	現場管理費補正(工事場所)		地方部-一般交通等の影...	0.01		
設定	現場管理費補正(工事期間)		しない			
設定	現場管理費補正(冬期)		しない			
設定	一般管理費補正(前払金支出割合)		前払金支出割合0%から5%...	1.05		
設定	一般管理費補正(契約保証)		金銭的保証を必要	0.0004		
設定	環境対策費補正		しない			
最低制限価格計算	直接工事費	2,380,000	自動計算			
	共通仮設費	352,000				
	共通仮設費率額	352,000	自動計算(千円丸め)	0.1482	2,380,000	
	環境対策費率額		計算しない			
内訳	共通仮設費積上額					
	純工事費	2,732,000				
	現場管理費	610,000	自動計算(千円丸め)	0.2235	2,732,000	
	工事原価	3,342,000				
	一般管理費等	505,000	自動計算	0.1514	3,342,000	調整額 = 978
	処分費		固定金額			
	契約保証費		固定金額			
	工事価格	3,847,000	自動計算(千円丸め)			
	消費税	132,350	自動計算	0.05	3,847,000	
	総工事価格	4,039,350	自動計算(10万円丸め)			
			自動計算(1万円丸め)			
			自動計算(千円丸め)			
			自動計算(百円丸め)			
			自動計算(丸めなし)			

水道工事には「管材費」の項目があります

率計算の対象額を表示しています

再計算

調整額 = 978

処分費や契約保証費を率の補正ではなく、金額で計上する場合はここに計上します

丸めの桁を選択できます

調整額は工事価格を丸めるために一般管理費を切り捨てた金額です

3-3 設備工事

設備工事は工事種類で「公共建築物」を選択します。

The screenshot shows the '諸経費 (当初)' table with the following data:

名称	金額	選択内容	率	対象額
設定 経費年度		2011_10		
設定 工事種類		公共建築物		
設定 工事区分		新築建築物		
設定 特定製品合計額		固定金額		
設定 工期 (ヶ月)				
設定 発生材処分費				
設定 一般管理費補正 (前払金支出割合)		しない		
設定 一般管理費補正 (契約保証)		しない		
直接工事費		自動計算		
共通仮設費				
共通仮設費率額		自動計算 (千円丸め)	0.0325	10,000,000
内訳 共通仮設費積上額				
純工事費				
現場管理費		自動計算 (千円丸め)	0.1001	10,000,000
工事原価				
一般管理費等		自動計算 (丸めなし)		
処分費		固定金額		
契約保証費		固定金額		
工事価格		自動計算 (千円丸め)		
消費税			0.05	
総工事価格		自動計算		

Callout boxes in the image indicate:

- 基本設定**: Points to the '工事種類' and '工事区分' rows.
- 率補正設定**: Points to the '工期 (ヶ月)' and '発生材処分費' rows.
- 金額表示部**: Points to the '一般管理費等' row.
- ボタン部**: Points to the '再計算' button on the left sidebar.

A text box at the bottom of the screenshot states:

率補正設定は「しない」をクリックして選択できます。
最後に必ず「再計算」ボタンをクリックしてください。

ボタン部 土木工事と同じです。

基本設定

諸経費の計算は以下の7種類に対応できます。

The screenshot shows the '諸経費 (当初)' table with the '工事種類' dropdown menu open, listing the following options:

- 2011_10
- 公共建築物
- 新築建築物
- 新築建築物
- 改修建築物
- 新築電気設備工事
- 改修電気設備工事
- 新築機械設備工事
- 改修機械設備工事
- 昇降機設備工事

The '新築建築物' option is highlighted in blue, and the entire dropdown menu is circled in red.

3-4 民間工事

2行目の工事種類を「民間工事」に設定すると、共通仮設費・現場管理費・一般管理費に分かれている間接費を「諸経費」として一本にまとめることができます。

表紙		諸経費 (当初)				
		名称	金額	選択内容	率	対象額
直接工事費	設定	経費年度		2010_04		
	設定	工事種類		民間工事		
	設定	工事区分		民間工事		
共通仮設費積上額						
諸経費		値引前直接工事費	2,278,960			
	設定	材料費の値引				
代価一覧	設定	その他の値引				
		諸経費	227,896	自動計算	0.1	2,278,960
単価一覧		諸経費		自動計算		
		値引前工事価格	2,506,856			
下位表を開く	設定	工事価格の値引				
	設定	指定総工事価格				
再計算		工事価格	2,506,856	自動計算		
		消費税	125,342		0.05	2,506,856
印刷		総工事価格	2,632,198	自動計算		

民間工事を選択すると、間接費を共通仮設費や現場管理費などに分かれずに、諸経費一項目にまとめることができます

諸経費の率は初期設定では0.1（10%）になっています。率を変更することも金額を変更することもできます。それぞれの該当する欄に直接数値を入力してください。

4 印刷設定

直接工事費画面でも諸経費画面でもボタン部の印刷ボタンをクリックすると印刷設定画面が開きます。

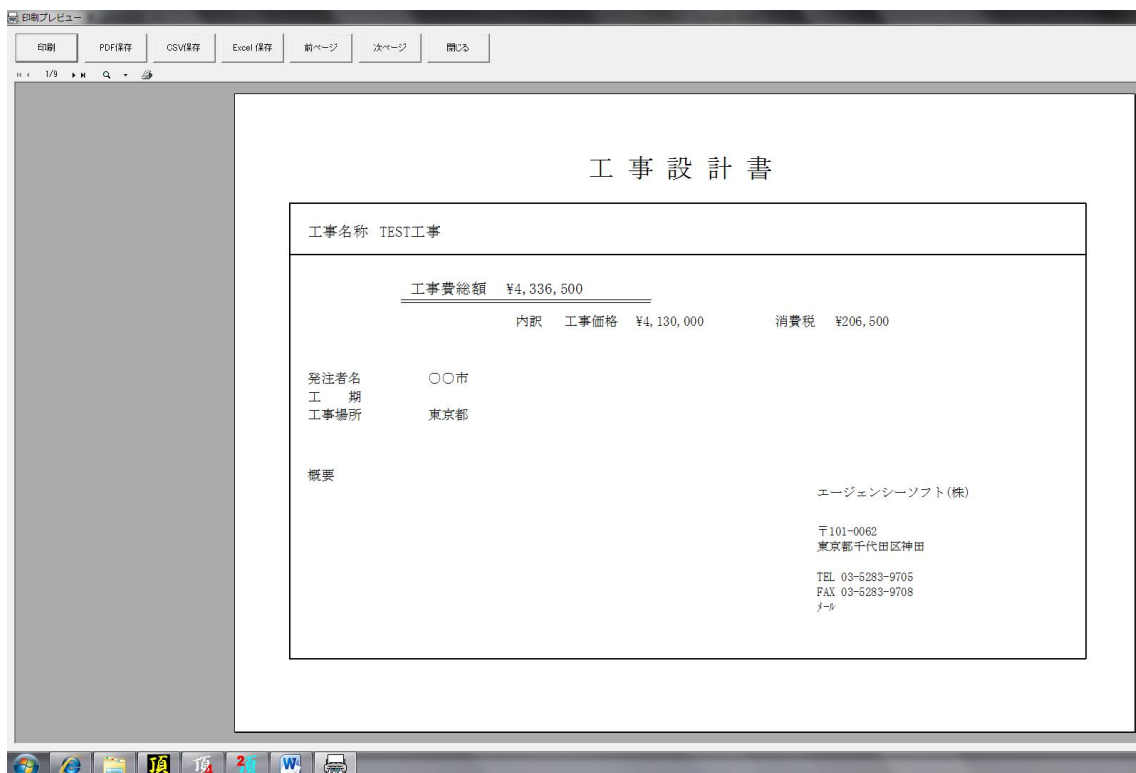
この画面で印刷範囲や金抜き印刷など印刷に関する各種設定を行います。

設定を終えたら右上の「印刷」ボタンをクリックすると印刷プレビュー画面が開きます。プレビュー画面でイメージ通りに設定されているかを確認できます。(このボタンではまだ印刷は始まりません)

補足説明

- (1) 「当初金額」にチェックがないと印刷プレビューで「このコレクションには項目がありません」とエラーメッセージが出ます。必ずチェックを確認してください。
- (2) 諸経費印刷ボタンは諸経費画面を印刷します。

印刷プレビュー画面



印刷プレビュー画面で印刷前に内容を確認することができます。
確認後左上の「印刷」ボタンをクリックすると、お使いのプリンターとつながります。
プリンター画面に従って印刷してください。



プレビュー画面から PDF・CSV・Excel 保存ができます。

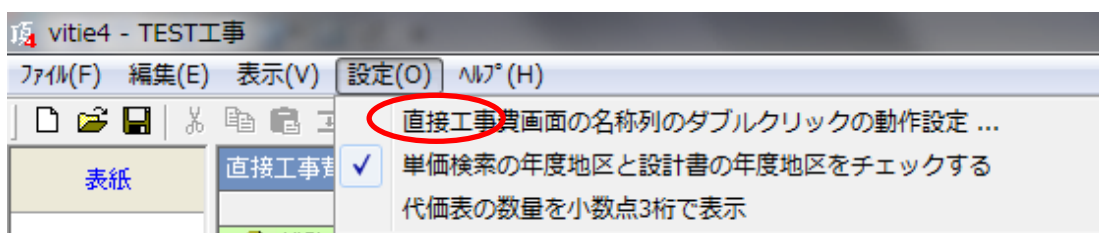
5 作業別索引

5-1 直接工事費関係

5-1-1 ダブルクリックで下位表を開く

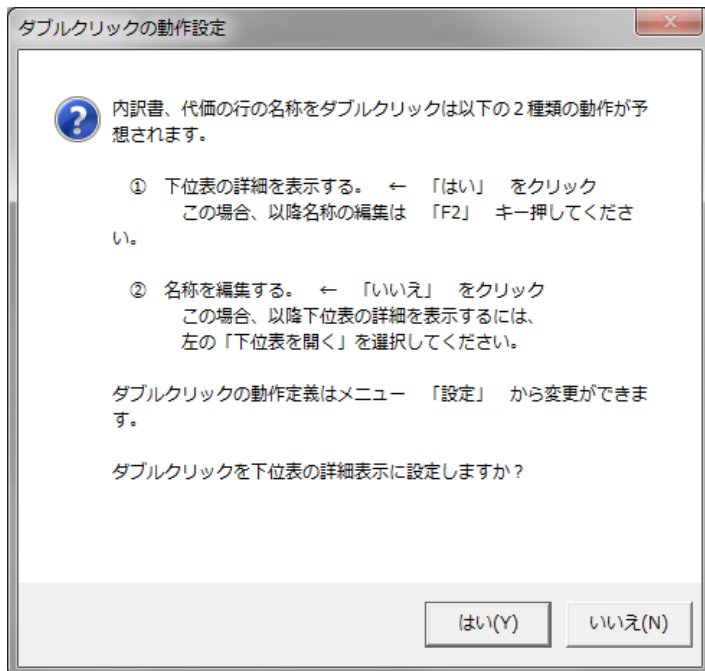
ダブルクリックの機能を (1) 下位表を表示する (2) 文字の編集モードにする、のどちらかに設定することができます。

設計書画面のメニューバー「設定」のプルダウンメニューから「直接工事費画面の名称列のダブルクリックの動作設定」をクリック。



⇒下のようなウィンドウが開きます。

「下位表を開く」なら 「はい」 を
「文字編集モード」なら 「いいえ」 をクリック



「下位表を開く」を選択した場合、名称欄の文字編集はキーボードの **F2** キーをクリックして編集モードにしてください。

5-1-2 階層と内訳を切り替える

当初階層で作成した行を後で内訳に変更することができます。(逆も可能です) 例えば下図の第4階層コンクリートを内訳に変更してみます。

名称	規格	単位	数量	単価	金額
道路改良		式	1		2,278,960
道路土工		式	1		1,654,000
掘削工		式	1		1,654,000
掘削(土砂)		m3	1		1,654,000
掘削(土砂)		m3	1000	171	171,000
掘削(土砂)		m3	1000	1,483	1,483,000
擁壁工		式	1		624,960
掘削打擁壁工		式	1		624,960
コンクリート		m3	1		624,960
無筋構造物		m3	35	16,650	582,750
仮管布設工		m	15	2,814	42,210

①変更したいコンクリートの行をクリック

②メニューバーの「編集」メニューをクリックしてプルダウンメニューを開く

メニュー項目	ショートカット
切り取り(T)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(P)	Ctrl+V
セルの編集を取り消し(U)	Ctrl+Z
単価検索の結果でカレント行を上書きする	
全角半角の表記を統一...	
全ての代価詳細を削除する	
階層⇄内訳の切り替え(K)	
内訳⇄代価の切り替え(D)	

③「階層⇄内訳の切り替え」を選択してクリック

⇒内訳に変更されました。(階層を示す数字がなくなりアイコンも変わっています)

名称	規格	単位	数量	単価	金額
道路改良		式	1		2,278,960
道路土工		式	1		1,654,000
掘削工		式	1		1,654,000
掘削(土砂)		m3	1		1,654,000
掘削(土砂)		m3	1000	171	171,000
掘削(土砂)		m3	1000	1,483	1,483,000
擁壁工		式	1		624,960
掘削打擁壁工		式	1		624,960
コンクリート		m3	1	624,960	624,960

内訳に変わり 2 行あった下位表もなくなりましたが、金額は同じ 624,960 円です

内訳を代価に、また計算数量が「1」なら代価を内訳に変更することもできます。

5-1-3 階層のレベルを変更する

新規に階層を作ると必ず直近のレベルの下にできます。下図の例では第4階層のコンクリートの下に階層を作ると第5階層となります。(最後の行参照)

これを上位と同じ第4階層に変更してみます。

② ツールバーの左向き矢印を1回クリック

表紙	直接工事費 (¥2,278,960)					
	名称	規格	単位	数量	単価	金額
直接工事費	道路改良		式	1		2,278,960
	道路土工		式	1		1,854,000
共通仮設費積上額	掘削工		式	1		1,854,000
	掘削(土砂)		m3	1		1,854,000
諸経費	バックホウ掘削積込 地山 山積0.8m3 [平... け質土 砂・砂質土 粘...		m3	1000	171	171,000
	ダンプトラック運搬 10t積 土砂 バックホウ...	D I D区間無 運搬距離...	m3	1000	1,483	1,483,000
代価一覧	擁壁工		式	1		624,960
	場所打擁壁工		式	1		624,960
単価一覧	コナート		m3	1		624,960
	無筋構造物人力打設 小運搬無 養生無	18N/mm2	m3	35	16,650	582,750
下位表を開く	仮管布設工		m	15	2,814	42,210
	階層		式			

① 変更したい行をクリック。(着目行にします)

⇒第5階層が第4階層に変わりました。

表紙	直接工事費 (¥2,278,960)					
	名称	規格	単位	数量	単価	金額
直接工事費	道路改良		式	1		2,278,960
	道路土工		式	1		1,854,000
共通仮設費積上額	掘削工		式	1		1,854,000
	掘削(土砂)		m3	1		1,854,000
諸経費	バックホウ掘削積込 地山 山積0.8m3 [平... け質土 砂・砂質土 粘...		m3	1000	171	171,000
	ダンプトラック運搬 10t積 土砂 バックホウ...	D I D区間無 運搬距離...	m3	1000	1,483	1,483,000
代価一覧	擁壁工		式	1		624,960
	場所打擁壁工		式	1		624,960
単価一覧	コナート		m3	1		624,960
	無筋構造物人力打設 小運搬無 養生無	18N/mm2	m3	35	16,650	582,750
下位表を開く	仮管布設工		m	15	2,814	42,210
	4階層		式			

第4階層に変わりました

階層を移動すると、その明細も一緒に移動します。例えば第2階層を第1階層に上げた場合、その下の第3階層は第2階層に、第4階層は第3階層にそれぞれ上がります。

5-1-4 代価数量の桁数を小数点以下3桁にする

代価表の数量は初期設定では小数点以下2位までとしています。(下図の例では0.31日)

行番	コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記	計算式	備考
★	A-1-1-1-1	フルド-サ掘削押土 湿地20級 地山	砂・砂質土 粘質土	m ³	100	229	22,930			
1	A-1-1-14-1	フルド-サ運転	20級[湿地・排ガス]	日	0.31	78950	22,924	E		100/320
2	Y0000002248	諸雑費		式	1	6		D	*U4	
		計					22,930			
		1 m ³ 当たり					229			

この歩掛は備考欄の計算式のように、日当たり施工量が320m³の作業の100m³当たりの歩掛を計算して $100/320=0.3125$ の小数点以下第3位を四捨五入して0.31となっています。

発注官庁によってはこの数量を小数点以下第3位まで計算するところがあります。その場合小数点以下第4位を四捨五入して、上記の計算式の答えは0.313となります。

結果的に金額が変わってきますので、積算物件が3位の場合は次のように設定します。

①メニューバーの「表示」メニューをクリック

②プルダウンメニューから「代価表の数量を小数点3桁で表示」をクリック

0.31が0.313と3桁になりました

行番	コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記	計算式	備考
★	A-1-1-1-1	フルド-サ掘削押土 湿地20級 地山	砂・砂質土 粘質土	m ³	100	231	23,150			
1	A-1-1-14-1	フルド-サ運転	20級[湿地・排ガス]	日	0.313	78950	23,146	E		
2	Y0000002248	諸雑費		式	1	4		D	*U4	
		計					23,150			
		1 m ³ 当たり					231			

重要：単価検索画面で3桁表示にした場合は、必ず設計書画面でも同様にメニューバーの「表示」または「設定」メニューから「代価表の数量を小数点3桁で表示」を選択して、検索画面と設計書画面を同じ条件にしてください。

5-1-5 代価表の諸雑費（丸め）を削除する

国土交通省土木工事積算基準では代価表の計算結果は有効数字4桁で丸めることになっていますが、農水省の土地改良工事や治山林道工事では丸めの概念がありません。

例 1

行番	コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記	計算式
★	A-1-1-2-1-1	バックホウ掘削積込 山積0.8m...	しき質土 砂・砂...	m3	100	176	17,690		
1	A-1-1-14-3	バックホウ運転(掘削積込)	山積0.8m3(平0...	日	0.33	53590	17,684	E	
2	Y0000002248	諸雑費		式	1	6	6 D	*:U4	
		計					17,690		
		1 m3 当たり					176		

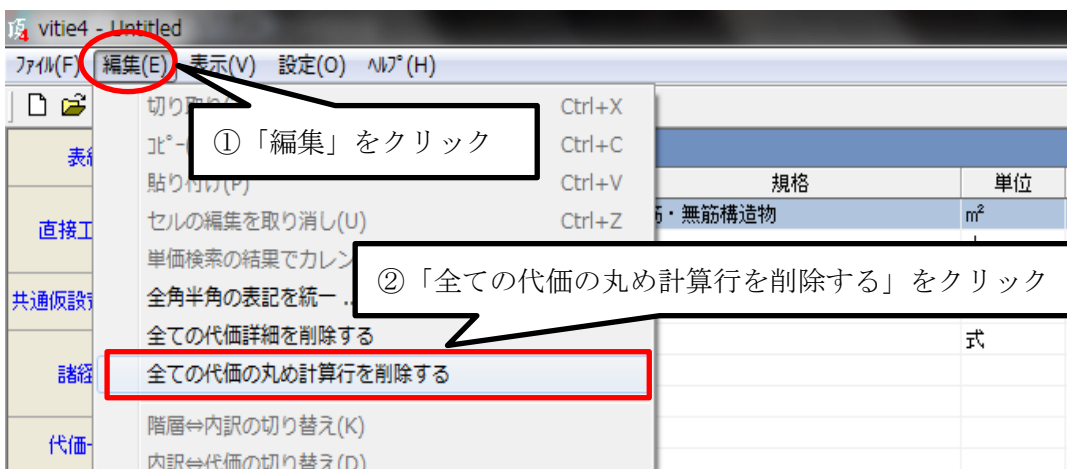
計算式の「*:U4」は計の金額を有効数字4桁に切上げて丸めるという意味です

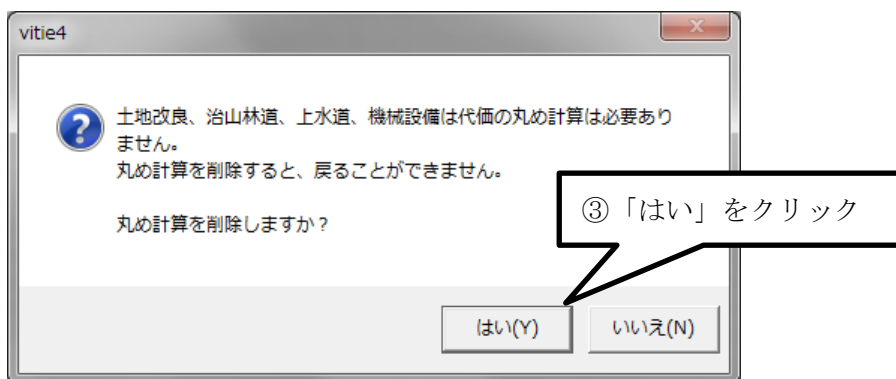
例 2

行番	コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記	計算式
★	A-4-3-1-1-1	型枠工	鉄筋・無筋構造...	m ²	100	4958	495,800		
1	Y0000001643	土木一般世話役		人	3.1	16800	52,080	B	
2	Y0000001648	型枠工		人	15.7	14400	226,080	B	
3	Y0000001625	普通作業員		人	10	12500	125,000	B	
4	Y0000002248	諸雑費		式	1	92640	92,640 D	B*0.23:V4	
		計					495,800		
		1 m ² 当					4,958		

計算式の「B*0.23:V4」は労務費の合計額の23%を計上し、計の金額を有効数字4桁に切下げて丸めるという意味です

頂では歩掛内容が同じ場合は土木工事の歩掛を土地改良工事などにも転用するようになっていますが、厳密には丸めの有無で金額が変わる場合があります。そのような場合に対処するために丸めを削除することができます。





以上の操作の結果例 1 では諸雑費行が削除され、例 2 では計算式が変更されました。

例 1

【1位代価表】バックホウ掘削積込 山積0.8m3[平0.6] 地山								
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号	計算式
★	バックホウ掘削積込...	砕質土 砂・砂質土...	m ³	100	176	17,682		
1	バックホウ運転(掘削)...	山積0.8m3[平0.6][ク...	日	0.33	53582	17,682	E	

2行目の諸雑費行が削除されました。

例 2

【1位代価表】型枠工								
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号	計算式
★	型枠工	鉄筋・無筋構造物	m ²	100	4958	495,888		
1	土木一般世話役		人	3.1	16800	52,080	B	
2	型枠工		人	15.7	14400	226,080	B	
3	普通作業員		人	10	12500	125,000	B	
4	諸雑費		式	1	92726.8	92,726	D	B*0.23

4行目諸雑費行の計算式が「B * 0.23」に変更されて、「: V4」が無くなりました。

補足説明

- (1) 機械運転単価にも丸めの諸雑費行がある場合は運転単価も変わります。
- (2) この操作をしたときに設計書にすでにある代価が対象になります。この操作をした後に貼りつけた代価は対象になりません。積上げ終了後に操作することをお勧めいたします。

5-1-6 夜間工事にする

2種類の方法があります。

- 【1】設計書内のすべての労務単価を夜間割増にする場合
- 【2】設計書内の任意の項目の労務単価を夜間割増にする場合

【1】単価一括変更を利用する

①ボタン部の「単価一覧」をクリックして開き「単価一括変更」をクリックします。

「単価一括変更」ボタンは「直接工事費」画面では表示されません。

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価種類
単価一覧						
743,798						
労務費						
特殊運転手		人	4.06	12900	52,374	労務費
一般運転手		人	2.83	11100	31,413	労務費
特殊作業員		人	5.51	13800	76,038	労務費
普通作業員		人	11.02	10800	119,016	労務費
土木一般世話役		人	2.39	16300	38,957	労務費
交通誘導員B	屋間勤務交代勤務あり県単価(2410...	人	30	7100	213,000	労務費
交通誘導員B		式	30	7100	213,000	労務費
材料費						
2,980,426						
軽油	小型ローリー (バトロール給油)	L	392.34	119	46,688	材料費
処分費 (アスファルト殻)		t	183	1200	219,600	材料費
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	L	894.4	96	85,862	材料費
再生アスファルト混合物	密粒度 (13)	t	196.14	13400	2,628,276	材料費
損料・賃料						
247,567						
路面切削機 (鉄式・廃材積込装置付)	切削幅2.0m級切削深23cm	供用日	0.95	126000	119,700	損料・賃料
路面清掃車 (バタ式・四輪式)	容量1.5m3	供用日	0.93	27500	25,575	損料・賃料
トラック (普通タイプ)	10t 積積	供用日	2.11	17500	36,925	損料・賃料
タイヤ	トラック10t 良好	供用日	2.11	796	1,552	損料・賃料
バタ式	~3.0m	供用日	2.91	18300	53,253	損料・賃料
振動ローリー	質量3~4t	供用日	2.5	4225	10,562	損料・賃料
市場単価他						
43,000						

②単価一括変更画面がでます。「夜間工事にする」をクリックします。

全ての単価を変更します

単価増減方法

単価倍率 150 %

単価金額 円

計算元の金額

現行金額 初期金額

増減対象費用

材料費 労務費 処分費

損料・賃料 市場単価他

労務費端数処理

「単価倍率」に自動的に 150 が入り、「増減対象費用」の労務費にも自動的にチェックが入ります。

③「実行」をクリックすると、単価種類が労務単価のものすべて 1.5倍されます。

補足説明

(1) 単価一覧画面で「単価種類」が労務費のものが全て 1.5倍になります。
従って、新規単価として入力したものは最初「単価種類」が材料費になるので、「単価種類」を労務費に直しておく必要があります。

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価種類
労務費						530,798
特殊運転手		人	4.06	12900	52,374	労務費
一般運転手		人	2.83	11100	31,413	労務費
特殊作業員		人	5.51	13800	76,038	労務費
普通作業員		人	11.02	10800	119,016	労務費
土木一般世話役		人	2.39	16300	39,957	労務費
交通誘導員B	昼間勤務交代勤務あり県単価(2410...	人	30	7100	213,000	労務費
材料費						3,193,426
軽油	小型ローリー(バトロール給油)	L	392.34	119	46,888	材料費
処分費(アスファルト類)		t	183	1200	219,600	材料費
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	L	894.4	96	85,862	材料費
再生アスファルト混合物	密粒度(13)	t	196.14	13400	2,628,276	材料費
交通誘導員B		式	30	7100	213,000	材料費
損料・賃料						247,667
路面切削機[付式・廃材積込装置付]	切削幅2.0m級切削深23cm	供用日	0.95	126000	119,700	材料費
路面清掃車[付式・四輪式]	容量1.5m3	供用日	0.93	27500	25,575	損料・賃料
ダンプトラック[普通・付式]	10t 積積	供用日	2.11	17500	36,875	市場単価他

新規単価で「交通誘導員 B」を積上げた場合、単価種類は「材料費」と認識されてしまうので「労務費」に直す

(2) 単価検索内の夜間単価が設計書に貼りついている場合は、元々の夜間料金プラス割増しに計算されてしまいますので注意して下さい。

(3) 代価表、単価の名称には(夜間)の表示は付きません。

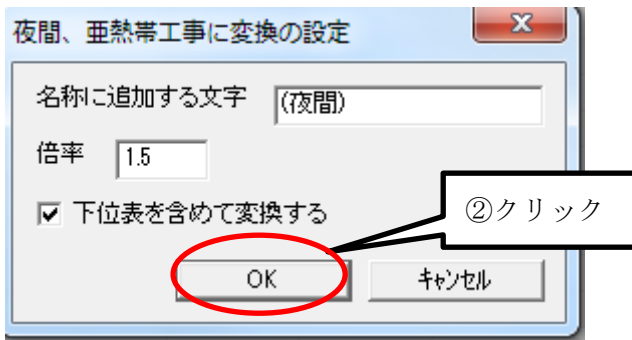
(4) 夜間工事にした後、「初期金額の戻る」ボタンを「実行」すると元に戻すことができます。

【2】代価表の下位を開いて夜間単価にする

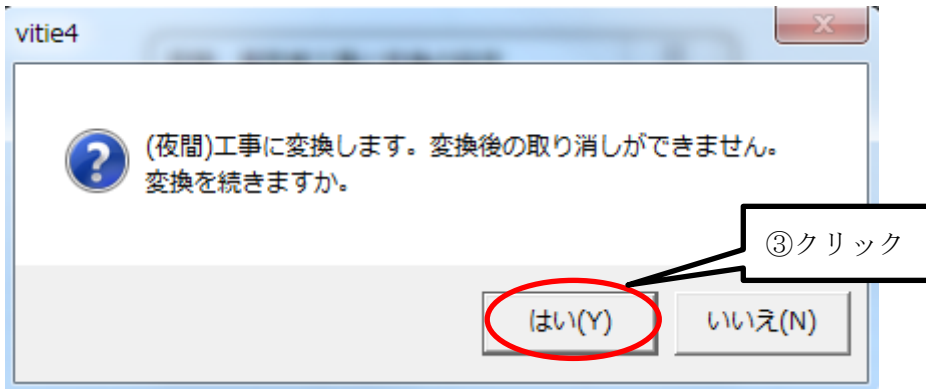
- ①夜間単価にしたい代価表の下位表を開いて、「夜間工事にする」をクリックします。
「夜間工事にする」ボタンは代価の下位表を開かないと表示されません。

	名称	規格
★	路面切削	全面切削 切削深さ6cmを超え12cm以下
1	土木一般世役	
2	特殊作業員	
3	普通作業員	
4	路面切削機運転 (全面切削6cm超12cm以下)	2.0m級 [オイル式・廃材積込装置付]
5	路面清掃車運転 (全面切削6cm超12cm以下)	1.5m3 四輪式 [7°刃式]
6	諸雑費	

- ②2次代価がある場合、2次代価も夜間単価にしたい時は「下位表を含めて変換する」にチェックを入れ、2次代価は夜間単価にしたくない時はチェックを外してください。



③ 「はい」 をクリックすると代価表に含まれる労務単価 1.5 倍になります。



【2位代価表】路面切削(夜間)	
名称	規格
路面切削(夜間)	
土木一般世話役(夜間)	
特殊作業員(夜間)	
普通作業員(夜間)	
路面切削機運転 (全面切削)6cm超12cm...	2.0m級 [ホイール式・廃材積込装]
路面清掃車運転 (全面切削)6cm超12cm...	1.5m3 四輪式 [アライ式]
諸雑費	

名称の (夜間) の文字が追加されます

補足説明

代価表だけでなく内訳表の下位を開いても同様の操作ができます。

5-1-7 ユーザ単価に登録

新たに作成した特殊代価や資材単価をユーザ単価に登録して、別の積算物件に利用することができます。

仮管布設工に登録してみます。

名称	規格	単位	数量	単価	金額
道路改良		式	1		2,278,960
道路土工		式	1		1,654,000
掘削工		式	1		1,654,000
掘削(土砂)		m3	1		1,654,000
バックホウ掘削積込 地山 山積0.8m3〔平...	い質土 砂・砂質土 粘...	m3	1000	171	171,000
バックホウトラック運搬 10 t 積 土砂 バックホウ...	D I D区間無 運搬距離...	m3	1000	1,483	1,483,000
擁壁工		式	1		624,960
場所打擁壁工		式	1		624,960
コンクリート		m3	1		624,960
無筋構造物人力打設 小運搬無 養生無	18N/mm2	m3	35	16,850	582,750
仮管布設工		m	15	2,814	42,210

①登録したい行をクリック（着目行に）

②「コピー」をクリック

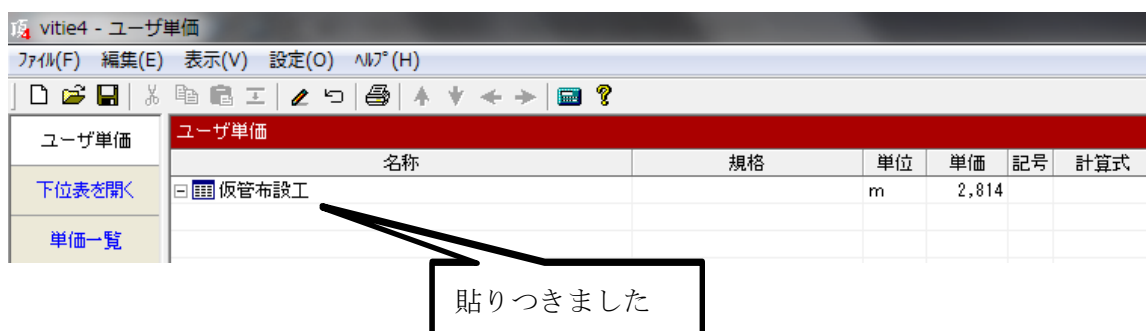
③「ユーザ単価」をクリック

⇒ユーザ単価画面が開きます

ユーザ単価	名称	規格	単位	単価	記号	計算式	摘要
-------	----	----	----	----	----	-----	----

④ユーザ単価画面が開いたら「貼り付け」をクリック

ユーザ単価に「仮管布設工」の代価が貼り付きました。明細も一緒に登録しているので「下位表を開く」をクリックすれば下位表を見ることもできます。



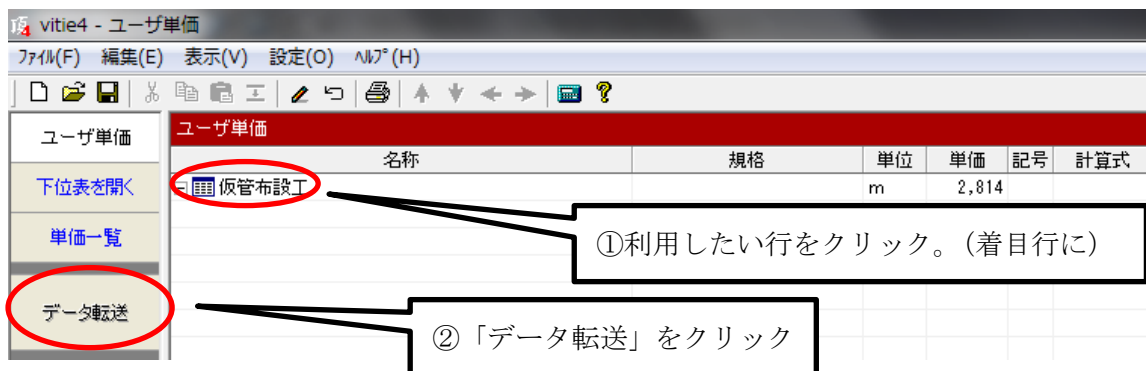
補足説明

- (1) 代価を登録すれば下位表(明細)も同時に登録されます。(内訳や階層でも同じです)
- (2) ユーザ単価にも直接工事と同じように階層や内訳を作ることができます。階層などであらかじめ目次のように分類しておく探すのに便利です。
- (3) ユーザ単価の年度更新は自動的にはできません。年度が変わって単価が変更になったときはユーザご自身が修正する必要があります。

5-1-8 ユーザ単価の利用

登録したユーザ単価（代価）は他の積算物件にいつでも利用することができます。

設計書直接工事費画面でユーザ単価を貼り付けたい行をクリック（着目行に）しておいて



⇒設計書画面に戻ってクリックした行に貼り付きます。

重要：ユーザ単価を設計書に貼り付けると、貼り付ける前と後で単価が変わることがあります。積算中の年度とユーザ単価を登録した年度が違っていると労務費など単価が変わっているものは、後から貼り付けたものはすでに設計書にある（同じコードの）単価に強制的に変更されます。

5-2 諸経費関係

5-2-1 処分費を率計算に反映する

処分費がある場合、金額によっては（概算で直工金額の3%）間接費の率計算の対象額から控除されます。処分費には直接工事に計上されるものと、共通仮設費の準備費に含まれるものとありますが、それぞれ別々に計上します。（下表参照）

処分費の取扱い

区分	処分費等が「共通仮設費対象額+準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%以下かつ3千万円以下の場合	処分費等が「共通仮設費対象額+準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%を超える場合または3千万円を超える場合
共通仮設費	全額を率計算の対象とする	処分費等が「共通仮設費対象額+準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする
現場管理費	全額を率計算の対象とする	処分費等が「共通仮設費対象額+準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする
一般管理費	全額を率計算の対象とする	処分費等が「共通仮設費対象額+準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする

出典 「国土交通省 土木工事標準積算基準書（共通編）」 I-2-②-29（平成25年度）

下のように諸経費画面には処分費の行が用意され、それぞれ「自動計算」と表示されています。名称欄に「**処分費**」という文字列が入っていれば、諸経費画面に自動的に金額が表示されます。(自動計上されている場合でも、必ずチェックをお願いいたします)

表紙	諸経費 (当初)		名称	
直接工事費	設定	経費年度		
	設定	工事種類		
	設定	工事区分		
共通仮設費積上額				
諸経費	設定	支給品額		
	設定	無償貸付機械等評価額		
	設定	事業損失防止施設費		自動計算
	設定	PC桁等購入費		
代価一覧	設定	網柵、門扉等の工場原価		
単価一覧	設定	直工に含まれる処分費		自動計算
	設定	準備費に含まれる処分費		自動計算
下位表を開く	設定	その他諸経費計算除外金額		

自動計算は「**処分費**」という文字列に反応するので、「処分」や「処理費」「産廃費」などでは自動計上されません。階層・内訳と代価では扱いが異なるので注意が必要です。

階層・内訳の場合：

例一] 階層名に「**処分費**」の文字列がある場合。(正しい処分費は「64,860円」です)

階層名に「**処分費**」がある場合は無条件で全額自動計上

処分費	式	1		86,020
ダンプトラック運搬 10t積 Co無筋,As 100mm...	DID区間有 5.0km以下	m3	23 920	21,160
廃材処理料(東部地区)	As殻	m3	23 2,820	64,860

階層名に「**処分費**」の文字列がある場合は、下位表名に関わらず無条件で階層の金額「86,020円」が自動計算で計上されます。しかし、この例では明細の「ダンプトラック運搬」まで処分費として計上されてしまい正確ではありません。この場合は諸経費欄に手入力で「64,860円」と入力してください。

例一2 階層名に「処分費」がなく、下位表にも「処分費」がない場合。(正しい処分費は「64,860円」です)

階層名に「処分費」の文字列がない(処分だけでは不可)ので下位表を見に行きます

1 アスファルト処分		式	1		86,020
2 タンクトラック運搬 10t積 Co無筋,As 片っ端の...	DID区間有 5.0km以下	m3	23	920	21,160
3 廃材処理料(東部地区)	As殻	m3	23	2,820	64,860

下位表にも「処分費」の文字列がない(処理料では不可)ので自動計上されません

階層名に「処分費」の文字列がない場合は下位表(明細表)を見に行きます。例一2の場合は下位表にも「処分費」がないので自動計算では計上されません。この場合も諸経費欄に手入力で「64,860円」と入力してください。

例一3 階層名に「処分費」がなく、下位表には「処分費」がある場合。(正しい処分費は「64,860円」です)

階層名に「処分費」の文字列がない(処分だけでは不可)ので下位表を見に行きます

1 アスファルト処分		式	1		86,020
2 タンクトラック運搬 10t積 Co無筋,As 片っ端の...	DID区間有 5.0km以下	m3	23	920	21,160
3 廃材処理料(東部地区) (処分費)	As殻	m3	23	2,820	64,860

下位表にはあるのでこの行の金額が自動計上されます(廃材処理料に「処分費」の文字列を追加)

上のように明細の2行目の名称欄に文字列「処分費」を追加すると、この2行目「64,860円」だけが自動計上されます。階層で説明しましたが内訳でも同じです。

もしこのような名称の変更ができない場合は、諸経費画面で金額を直接入力します。(自動計算は利用できません)

代価の場合：

例一1 代価名に「処分費」の文字列がある場合。(正しい処分費は「64,860円」です)

代価名に「処分費」がある場合は無条件で全額自動計上

★	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
	1	ダンプトラック運搬 10t積 Co無筋,As 10...	DID区間有 5.0km以下	m3	23	920	21,160		
	2	廃材処理料 (東部地区)	As殻	m3	23	2820	64,860		

代価名に「処分費」の文字列があれば下位表は無視してそのまま「86,020円」が自動計上されます。(階層・内訳と同じです)しかし、この例では明細の「ダンプトラック運搬」まで処分費として計上されてしまい正確ではありません。この場合は諸経費欄に手入力で「64,860円」と入力してください。

例一2 代価名に「処分費」がなく、下位表にもない場合。(正しい処分費は「64,860円」です)

代価名に「処分費」がない場合は自動計上されません

★	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
	1	ダンプトラック運搬 10t積 Co無筋,As 10...	DID区間有 5.0km以下	m3	23	920	21,160		
	2	廃材処理料 (東部地区)	As殻	m3	23	2820	64,860		

この場合は自動計上されないので、諸経費欄に手入力で「64,860円」と入力します。

例一3 代価名に「処分費」がなく、下位表にはある場合。(正しい処分費は「64,860円」です)

代価名に「処分費」の文字列がない場合は無条件で自動計上されません。(下位表に「処分費」があっても)

★	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
	1	ダンプトラック運搬 10t積 Co無筋,As 10...	DID区間有 5.0km以下	m3	23	920	21,160		
	2	廃材処理料 (東部地区) (処分費)	As殻	m3	23	2820	64,860		

この場合も例一2と同様に自動計上されないので、諸経費欄に手入力で「64,860円」と入力します。

代価の場合は代価名に「処分費」がない場合でも、下位表を見に行きません。(階層・内訳の場合は見に行きます)。したがって代価の下位表に「処分費」の文字列があっても無視されます。したがって諸経費画面で自動計算は機能せず、金額欄は「0円」です。実際の処分費に相当する金額を手入力で行ってください。

単価の場合（「処分費」の文字列がある）：

- (1) 「処分費」名のない階層・内訳の下位にある「処分費」の文字列がある単価は自動計上されます。(階層・内訳の場合の例-3参照)
- (2) 代価の下位にある単価は「処分費」の文字列があっても自動計上されません。(代価の場合の例-3参照)
- (3) 直接工事費画面に直接計上する（階層・内訳の下位ではない）「処分費」の文字列がある単価は自動計上の対象になります。

3行目のように下位表ではない「処分費」の文字列がある単価の場合は無条件で全額自動計上されます

直接工事費 (¥229,200.)						
名称	規格	単位	数量	単価	金額	
ブロック掘削積込 山積... (平0.6) 地山	は質土 砂・砂質土 粘...	m3	100	174	17,400	
ブロックの運搬 土砂 山積...	DI D区間無 運搬距離...	m3	100	1,118	111,800	
残土処分費		m3	100	1,000	100,000	

諸経費画面に「100,000円」が自動計上されています

表紙	諸経費 (当初)			選択内容
	名称	金額		
直接工事費	設定 経費年度			2010_04
	設定 工事種類			土木工事
	設定 工事区分			河川工事
諸経費	設定 支給品額			
	設定 無償貸付機械等評価額			
	設定 事業損失防止施設費			自動計算
	設定 PC桁等購入費			
	設定 鋼桁、門扉等の工場原価			
	設定 直工に含まれる処分費		100,000	自動計算
単価一覧	設定 準備費に含まれる処分費			自動計算
	設定 その他諸経費計算除外金額			

「100,000円」が自動計上されています

補足説明

- (1) 準備費に含まれる処分費は共通仮設費積上げ額を開いて準備費のフォルダ内に計上します。自動計算の考え方は直接工事と同じです。
- (2) 処分費等が「共通仮設費対象額 (P) + 準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%を超える場合又は処分費等が3千万円を超える場合は、超えた金額は間接費の対象額から控除されます。
- (3) 処分費等とは次のものです。1.処分費 (再資源化施設の受入費も含む) 2.上下水道料金 3.有料道路利用料

直接工事費=2,465,960 直工に含まれる処分費=141,000 の例で計算してみます。

表紙	諸経費 (当初)	名称	金額	選択内容	率	対象額
直接工事費	設定	経費年度		2010_04		
	設定	工事種類		土木工事		
	設定	工事区分		河川工事		
共通仮設費積上額	設定	支給品額				
	設定	無償貸付機械等評価額				
	設定	事業損失防止施設費		自動計算		
諸経費	設定	PC等購入費				
	設定	鋼桁、門扉等の工場原価				
代価一覧	設定	直工に含まれる処分費	141,000	自動計算		
	設定	準備費に含まれる処分費		自動計算		
単価一覧	設定	その他諸経費計算除外金額				
	設定	共通仮設費補正		地方部一般交通等の影...	0.015	
再計算	設定	イメージアップ経費補正		しない		
	設定	現場管理費補正(工事場所)		地方部一般交通等の影...	0.01	
印刷	設定	現場管理費補正(工事期間)		しない		
	設定	現場管理費補正(冬期)		しない		
自動計算に戻す	設定	一般管理費補正(前払金支出割合)		しない		
	設定	一般管理費補正(契約保証)		しない		
単価一括変更	設定	直接工事費	2,465,960	自動計算		
	設定	共通仮設費	418,000			
最低制限価格計算	設定	共通仮設費率額	336,000	自動計算	0.1403	2,398,938
	設定	イメージアップ経費率額		計算しない		
内訳	設定	共通仮設費積上額	82,000			
	設定	純工事費	2,883,960			
現場管理費	設定	現場管理費	1,064,000	自動計算	0.32	2,816,938
	設定	工事原価	3,947,960			
一般管理費等	設定	一般管理費等	552,000			
	設定	処分費				
契約保証費	設定	契約保証費		固定金額		
	設定	工事価格	4,500,000	自動計算		
消費税	設定	消費税	225,000		0.05	4,500,000
	設定	総工事価格	4,725,000	自動計算		

この場合の共通仮設費対象額の計算は

共通仮設費対象額 (この例では直接工事費と同じ) の 3% = 2,465,960 × 0.03 = 73,978

3%超の処分費 = 141,000 - 73,978 = 67,022

共通仮設費対象額 = 2,465,960 - 67,022 = 2,398,938

現場管理費や一般管理費も同様に 3%を超えた分は対象額から控除されます。

5-2-2 支給品額・桁等購入費等を設定する

諸経費画面で該当する行に金額を入力します。対象額との関係は(3) 諸経費の計算「[3-1 土木工事](#)」の詳細設定を参照してください。水道工事も同様です。

5-2-3 管材費（水道工事の場合）を率計算に反映させる

水道工事では管材料費の1/2を共通仮設費や現場管理費の対象額から控除します。（水道事業実務必携）

処分費と同じように直接工事費の文字列で反応する自動計算になっています。自動計算で反応するキーワード（文字列）は階層・内訳・代価（単価以外）の名称で「管材」「材料」「資材」です。「管材料」でも「管材」の文字列が入っているので計上します。

階層・内訳の場合：

階層名や内訳名にキーワードがあればその全額を計上します。キーワードがない場合でも下位表(明細表)まで見に行きます。下位表が階層・内訳・代価など（単価以外）でその名称にキーワードがあればその部分の金額を計上します。

階層名「管材」：全額「391,000」自動計上されます

階層名「資材」：全額「970,000」自動計上されます

表紙	名称	規格	単位	数量	単価	金額	記
直接工事費	管材		式	1		391,000	
	ダクタイル鋳鉄管 内面珪酸エポキシ樹脂1種	呼び径75mm×長4m 71.6kg	本	10	17,000	170,000	
	ダクタイル鋳鉄管 内面珪酸エポキシ樹脂1種	呼び径100mm×長4m 93.1kg	本	10	22,100	221,000	
共通仮設費積上額	資材		式	1		970,000	
	ダクタイル鋳鉄管 内面珪酸エポキシ樹脂1種	呼び径150mm×長5m 168...	本	10	41,900	419,000	
	ダクタイル鋳鉄管 内面珪酸エポキシ樹脂1種	呼び径200mm×長5m 222...	本	10	55,100	551,000	
諸経費	鋳鉄管		式	1		956,200	
	ダクタイル鋳鉄管 内面珪酸エポキシ樹脂1種	呼び径250mm×長5m 276...	本	10	68,300	683,000	
代価一覧	管材料		m	20	13,660	273,200	

階層名「鋳鉄管」：自動計上されません

階層名「鋳鉄管」の下位にある代価名「材料」：「273,200」自動計上されます

この場合では「391,000+970,000+273,200=1,634,200」が自動計上されます

5-2-4 現場管理費の冬期補正を計算する

補正率は次式で求めます。

補正率 (%) = 冬期率 × 補正係数 (小数点以下第 3 位を四捨五入して 2 位止め)

冬期率 = 12 月 1 日 (11 月 1 日) ~ 3 月 31 日までの工事期間 / 工期 です。

補正係数は下表の通りです。

積雪寒冷地域の区分	補正係数
1 級地	1.80
2 級地	1.60
3 級地	1.40
4 級地	1.20

例えば冬期率が 77 日 (冬期間日数) ÷ 124 (全工期) 日 = 0.62、区分が 4 級地の場合は
補正率 = 0.62 × 1.20 = 0.744 → 0.74% となります。

0.74% すなわち 0.0074 を諸経費画面の「現場管理費補正 (冬期)」に入力します。

The screenshot shows the '諸経費 (当初)' screen with the following data rows:

表紙	名称	金額	選択内容	率
直接工事費	設定 経費年度		2010_04	
	設定 工事種類		土木工事	
	設定 工事区分		河川工事	
共通仮設費積上額				
諸経費	設定 支給品額			
	設定 無償貸付機械等評価額			
	設定 事業損失防止施設費		自動計算	
	設定 PC桁等購入費			
代価一覧	設定 鋼桁、門扉等の工場原価			
単価一覧	設定 直工に含まれる処分費			
下位表を開く	設定 準備費に含まれる処分費			
	設定 その他諸経費計算除外金額			
再計算	設定 共通仮設費補正		地方部-一般交通等...	0.015
	設定 現場管理費補正(冬期)		地方部-一般交通等の影...	0.01
印刷	設定 現場管理費補正(冬期)		固定率	0.0074
	設定 一般管理費補正(前払金支出割合)		しない	
自動計算に戻す	設定 一般管理費補正(契約保証)		しない	

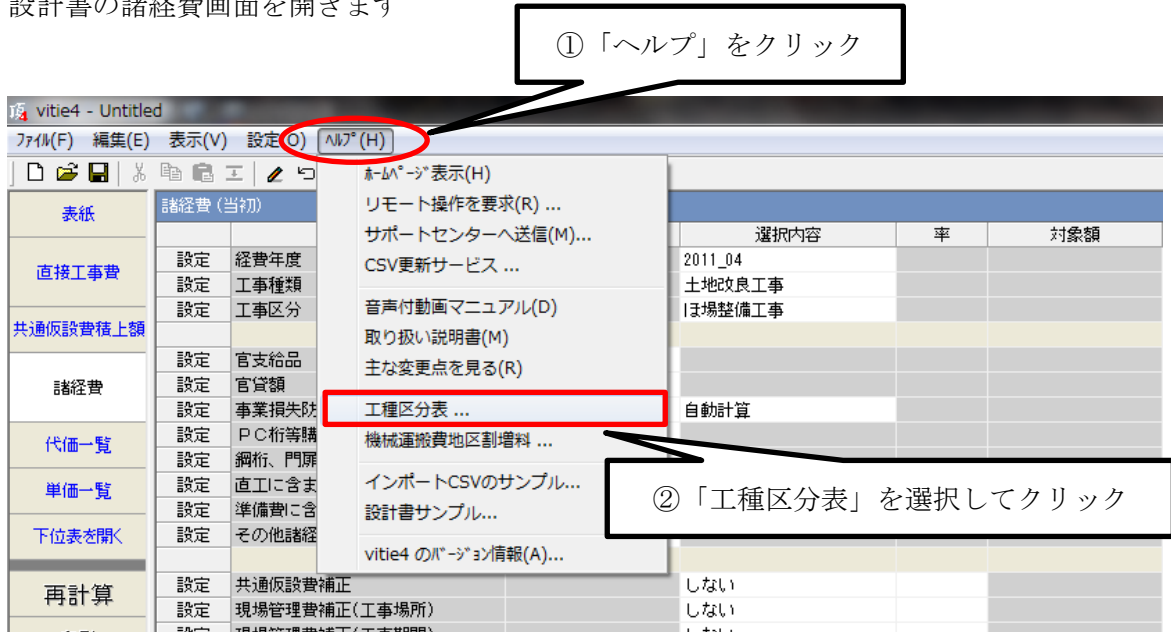
① 0.74% → 「0.0074」と入力して「ENTER」で確定。(選択内容の「しない」が「固定率」に変わります)

② 赤く変色した「再計算」ボタンをクリックすると金額が再計算されます。

5-2-5 工種区分を調べる

共通仮設費率及び現場管理費率の諸経費の率は工種区分により異なります。国土交通省積算基準に定める工種区分の内容を、頂の設計書画面から表示させることができます。

設計書の諸経費画面を開きます



「工事区分と工種内容一覧表」が表示されます。

工種区分と工種内容一覧表

目次

土木工事	2
土地改良工事	5
上水道工事（水道事業実務必携）	6
械設備工事（建築工事）	6
治山林道工事	7

5-3 工事価格関係

5-3-1 工事価格を任意の額に変更する

一通り積算が終了した後、積上げた工事価格を任意の金額に変更することができます。直接工事など実際に積上げたものも変更する場合と、積上げた金額はそのままで諸経費の間接費率計算の金額だけで調整することもできます。

下の例で直接工事費「2,465,960 円」、工事価格「4,482,000 円」で工事価格を「4,450,000 円」に変更する手順を説明します。

表紙	諸経費 (当初)					
	名称	金額	選択内容	率	対象額	
直接工事費	設定 経費年度		2011_10			
	設定 工事種類		土木工事			
	設定 工事区分		河川工事			
共通仮設費積上額						
諸経費	設定 支給品額					
	設定 無償貸付機械等評価額					
	設定 事業損失防止施設費		自動計算			
代価一覧	設定 PC桁等購入費					
単価一覧	設定 鋼桁、門扉等の工場原価					
	設定 直工に含まれる処分費	141,000	固定金額			
	設定 準備費に含まれる処分費		自動計算			
下位表を開く	設定 その他諸経費計算除外金額					
	設定 現場、一般管理費対象除外金額					
再計算						
印刷	設定 共通仮設費補正		地方部-一般交通等の影...	0.015		
	設定 イメージアップ経費補正		しない			
	設定 現場管理費補正(工事場所)		地方部-一般交通等の影...	0.01		
	設定 現場管理費補正(工事期間)		しない			
	設定 現場管理費補正(その他)					
	設定 一般管理費補正(前払金支出割合)					
	設定 一般管理費補正(契約保証)					
最低制限価格計算	直接工事費	2,465,960	固定金額			
	共通仮設費	403,200				
	共通仮設費率額	336,000	自動計算(千円丸め)	0.1403	2,398,938	
	イメージアップ経費率額		計算しない			
内訳	共通仮設費積上額	67,200				
	純工事費	2,869,160				
	現場管理費	1,058,000	自動計算(千円丸め)	0.3778	2,802,138	
	工事原価	3,927,160				
	一般管理費等	554,840	自動計算(丸めなし)	0.1438	3,860,138	
	処分費		固定金額			
	契約保証費		固定金額			
	工事価格	4,482,000	自動計算(千円丸め)			
	消費税	224,100		0.05	4,482,000	
	総工事価格	4,706,100	自動計算			

工事価格を入力してください

4450000

OK

キャンセル

単価変更により直接工事費を逆算する

諸経費のみ変更により逆算する

工事価格シミュレートをやめる

注意

シミュレートを行うと、一般管理費等、工事価格の丸め設定が変わることがあります。
シミュレートをやめると、以下の設定になります。
必要に応じて諸経費の画面で変更してください。

- ・ 一般管理費等 自動計算(丸めなし) になります
- ・ 工事価格 自動計算(千円丸め) になります

②工事価格「4450000」と入力。

③「諸経費のみ変更により逆算する」にチェックを。

(直接工事費を変更したい場合は、「単価変更により直接工事費を逆算する」にチェックを入れます。)

④「OK」ボタンをクリック。

⇒諸経費画面に戻ります

	直接工事費	2,465,960	固定金額		
	共通仮設費	398,200			
	共通仮設費率額	331,000	自動計算(千円丸め)	0.138	2,398,938
	イメージアップ経費率額		計算しない		
内訳	共通仮設費積上額	67,200			
	純工事費	2,864,160			
	現場管理費	1,039,000	自動計算(千円丸め)	0.3716	2,797,138
	工事原価	3,903,160			
	一般管理費等	546,840	自動計算(丸めなし)		
	処分費		固定金額		
	契約保証費		固定金額		
	工事価格	4,450,000	自動計算(千円丸め)		***シミュレート***
	消費税	222,500		0.05	4,450,000
	総工事価格	4,672,500	自動計算		

直接工事費は「2,465,960円」のままで、共通仮設・現場管理費の率金額と一般管理費が変更され、工事価格が「4,450,000円」になりました。シミュレート結果であることを表す「シミュレート」という文字が表示されています。

元にもどすには「工事価格シミュレートをやめる」にチェックし、OKボタンをクリックします。

5-3-2 最低制限価格を計算する

諸経費画面に表示された工事価格で最低制限価格を計算することができます。ただし、当該自治体の最低制限価格を求める計算式をあらかじめ登録しておく必要があります。

初期設定では国土交通省の計算式が登録してあります。

諸経費画面で「最低制限価格計算」ボタンをクリックします。

表紙	諸経費 (当初)				
	名称	金額	選択内容	率	対象額
直接工事費	設定 経費年度		2011_10		
	設定 工事種類		土木工事		
	設定 工事区分		河川工事		
共通仮設費積上額					
諸経費	設定 支給品額				
	設定 無償貸付機械等評価額				
	設定 事業損失防止施設費		自動計算		
代価一覧	設定 PC桁等購入費				
	設定 鋼桁、門扉等の工場原価				
単価一覧	設定 直工に含まれる処分費	141,000	固定金額		
	設定 準備費に含まれる処分費		自動計算		
下位表を開く	設定 その他諸経費計算除外金額				
	設定 現場、一般管理費対象除外金額				
再計算					
	設定 共通仮設費補正		地方部-一般交通等の影...	0.015	
印刷	設定 イメージアップ経費補正		しない		
	設定 現場管理費補正(工事場所)		地方部-一般交通等の影...	0.01	
工事価格シミュレート	設定 現場管理費補正(工事期間)		しない		
	設定 現場管理費補正(冬期)		しない		
単価一括変更	設定 一般管理費補正(前払金支出割合)		しない		
	設定 一般管理費補正(契約保証)		しない		
最低制限価格計算	直接工事費	2,485,960	固定金額		
	共通仮設費	403,200			
	共通仮設費率額	336,000	自動計算(千円丸め)	0.1403	2,398,938
	イメージアップ経費率額		計算しない		
内訳	共通仮設費積上額	67,200			
	純工事費	2,869,160			
	現場管理費	1,058,000	自動計算(千円丸め)	0.3778	2,802,138
	工事原価	3,927,160			
	一般管理費等	554,840	自動計算(丸めなし)	0.1438	3,860,138
	処分費		固定金額		
	契約保証費		固定金額		
	工事価格	4,482,000	自動計算(千円丸め)		
	消費税	224,100		0.05	4,482,000
	総工事価格	4,706,100	自動計算		

⇒計算結果が表示されます。

最低制限価格計算

【注意】

最低制限価格は各自治体によって計算方法が異なるので、工事を発注した自治体に計算方法をご確認ください。

最低制限価格計算基準 **国土交通省 平成23年4月以降**

機械設備工事(建築)の直接工事費の調整を行う

記号	項目	金額	率	値/式
a	工事価格(税抜)	4,482,000		
b	直接工事費	2,465,960	0.95	2,342,662
c	共通仮設費	403,200	0.90	362,880
d	現場管理費	1,058,000	0.80	846,400
e	一般管理費	554,840	0.30	166,452

	最低制限価格	3,718,394	0.83	b+c+d+e
	上限値	4,033,800		a*0.9
	下限値	3,137,400		a*0.7

*1 記号のある行:[率]を入力したら、[値]が計算されます。
 *2 記号のない行:[式]を入力したら、[金額]が計算されます。
 *3 最低制限価格行の [率] は、最低制限価格対工事価格の比率です。

名前を付けて計算式を保存する 計算式を削除する 閉じる

補足説明

- (1) 初期設定では国土交通省の下記の式が登録してあります。

項目	率
直接工事費	0.95
共通仮設費	0.90
現場管理費	0.80
一般管理費	0.30

- (2) 同じ計算式パターンで率が異なる場合は、ユーザが登録することができます。
 (3) シミュレートした金額でも計算させることができます。

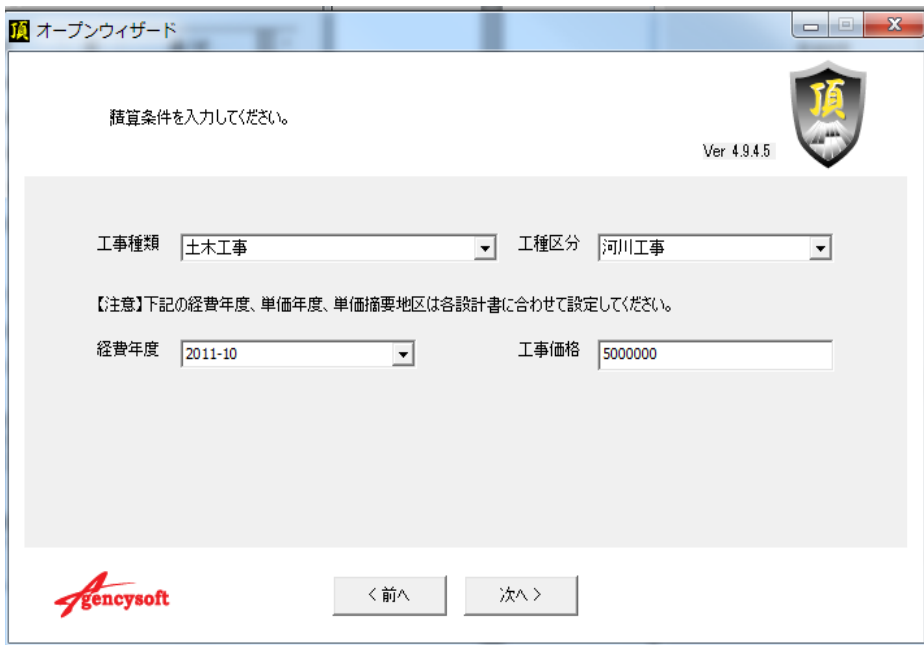
5-3-3 工事価格から諸経費を逆算する

事前公表された工事価格から直接工事費や、基準書通りの率で計算した間接費を逆算させることができます。

スタートメニューで「逆算」をクリックします。



各ボックスを選択し、工事価格を入力します。



参考に 5000000 と入力して「次へ」をクリック。

⇒諸経費画面が開きます。

諸経費画面

表紙		諸経費(当初)					
		名称	金額	選択内容	率	対象額	備考
直接工事費	設定	経費年度		2011_10			
	設定	工事種類		土木工事			
	設定	工事区分		河川工事			
共通仮設費積上額							
諸経費	設定	支給品額					
	設定	無償貸付機械等評価額					
	設定	事業損失防止施設費		自動計算			
	設定	PC桁等購入費					
	設定	鋼桁、門扉等の工場原価					
代価一覧	設定	直工に含まれる処分費		自動計算			
単価一覧	設定	準備費に含まれる処分費		自動計算			
下位表を開く	設定	その他諸経費計算除外金額					
	設定	現場、一般管理費対象除外金額					
再計算							
	設定	共通仮設費補正		しない			
印刷	設定	イメージアップ経費補正		しない			
	設定	現場管理費補正(工事場所)		しない			
	設定	現場管理費補正(工事期間)		しない			
工事価格シミュレート	設定	現場管理費補正(冬期)		しない			
	設定	一般管理費補正(前払金支出割合)		しない			
単価一括変更	設定	一般管理費補正(契約保証)		しない			
最低制限価格計算							
		直接工事費	2,841,186	固定金額			**逆算**
		共通仮設費	356,000				
		共通仮設費率額	356,000	自動計算(千円丸め)	0.1253	2,841,186	
		イメージアップ経費率額		計算しない			
内訳		共通仮設費積上額					
		純工事費	3,197,186				
		現場管理費	1,175,000	自動計算(千円丸め)			
		工事原価	4,372,186				
		一般管理費等	627,814	自動計算(丸めなし)	0.1438	4,372,186	工事価格丸め調整
		処分費		固定金額			
		契約保証費		固定金額			
		工事価格	5,000,000	自動計算(千円丸め)			
		消費税	250,000		0.05	5,000,000	
		総工事価格	5,250,000	固定金額			

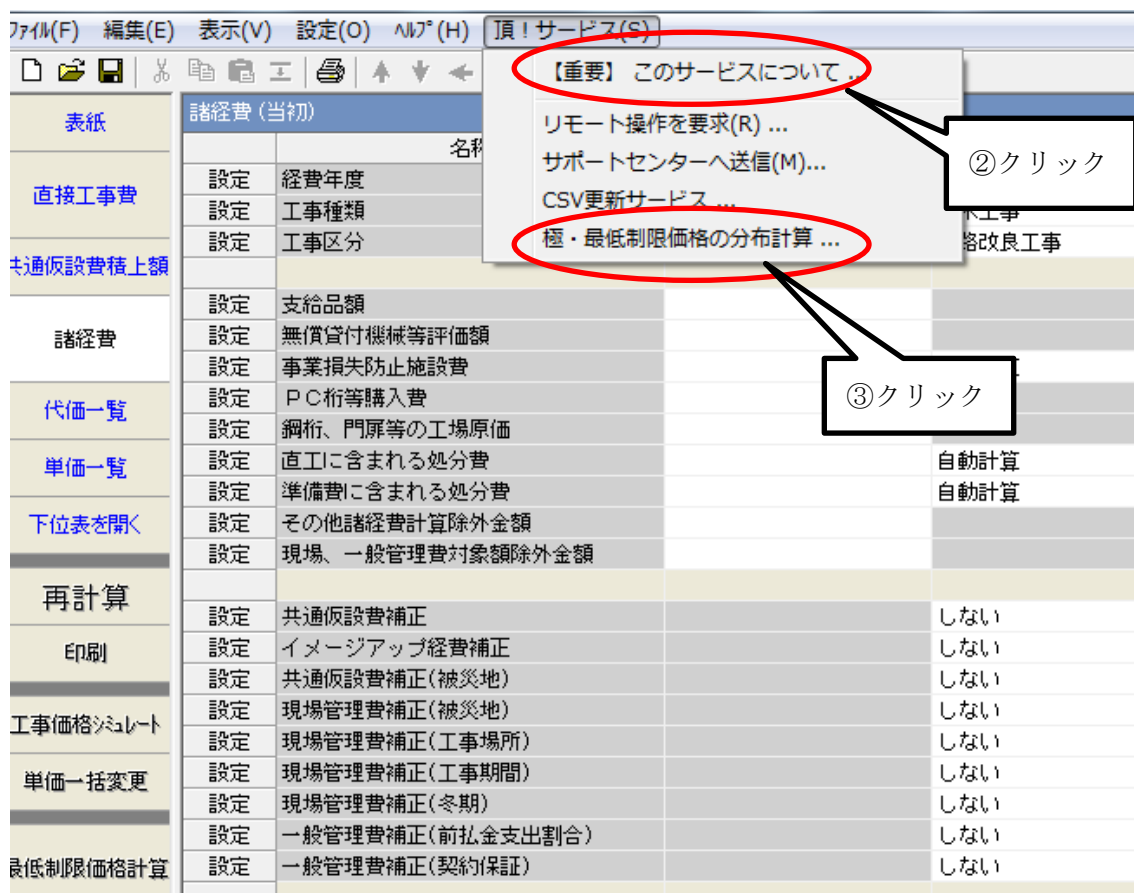
補足説明

- (1) 工事価格が「5,000,000」になっています。
- (2) 直接工事費が「2,841,186」で「固定金額」になっています。(積上げた金額ではないということを示しています。備考欄には**逆算**と表示されます。)
- (3) 支給品や処分費、水道工事なら管材料費なども入力し、率の補正や交通整理員などの共通仮設費の積上げ金額も入力する必要があります。これらもすべて入力しないと直接工事費などの金額が正確に反映されず、最低制限価格は正しく計算されません。

5-3-4 極・最低制限価格の分布計算

工事価格が事前公表されている場合、「極・最低制限価格の分布計算」機能を使うと、考えられる全ての直接工事費と最低制限価格が算出できます。

- ① [\(工事価格から諸経費を逆算する 5-3-3 参照\)](#) で指定工事価格から逆算をします。
- ②メニューバーの「【重要】このサービスについて…」をクリックし、必ず利用規約をご確認下さい。
- ③メニューバーの「頂！サービス(S)」から「極・最低制限価格の分布計算…」を選択



- ④極・最低制限価格の分布計算画面が表示されます。
ここでは国土交通省の最低制限価格基準を使用しています。
「極・分布計算」をクリックします。

極・最低制限価格の分布計算

【注意】
 最低制限価格は各自治体によって計算方法が異なるので、工事を発注した自治体に計算方法をご確認ください。

最低制限価格計算基準

建築、電気、管工事における調整(直接工事費の10%を現場管理費へ)
 共通仮設費積上額を直接工事費に計上する

印刷

極・分布計算

記号	項目	金額	率	値/式
a	工事価格(税抜)	38,000,000		
b	直接工事費	23,803,634	0.95	22,613,452
c	共通仮設費	2,666,000	0.90	2,399,400
d	現場管理費	7,387,000	0.80	5,909,600
e	一般管理費	4,143,366	0.30	1,243,009

	最低制限価格	32,165,461	0.85	b+c+d+e
	上限値	34,200,000		a*0.9
	下限値	26,800,000		a*0.7

*1 記号のある行:[率]を入力したら、[値]が計算されます。
 *2 記号のない行:[式]を入力したら、[金額]が計算されます。
 *3 最低制限価格行の[率]は、最低制限価格対工事価格の比率です。

名前を付けて計算式を保存する 計算式を削除する 閉じる

④クリック

⑤メッセージを確認して「はい」をクリックします。

vitie4

?

極・分布計算は指定工事価格に対して、あり得る直接工事費を全て計算し、どの最低制限価格に、対応する直接工事費数を割り出す機能であります。
 最低制限価格計算の条件を変えた場合、その条件を保存してから分布計算を行う必要があります。

設計書内容やパソコン性能により、計算に十分以上かかる場合があります。

極・分布計算を行いますか?

はい(Y) いいえ(N)

⑤クリック

⑥工事価格 38,000,000 に対する直接工事費例と最低制限価格が表示されます。
丸めの単位を選択します。ここでは 1,000 円丸めとします。

最低制限価格分布 丸め 1000 円

最低制限価格	出現回数	直接工事費例
32,165,000	342	23,803,572
32,167,000	43	23,805,888

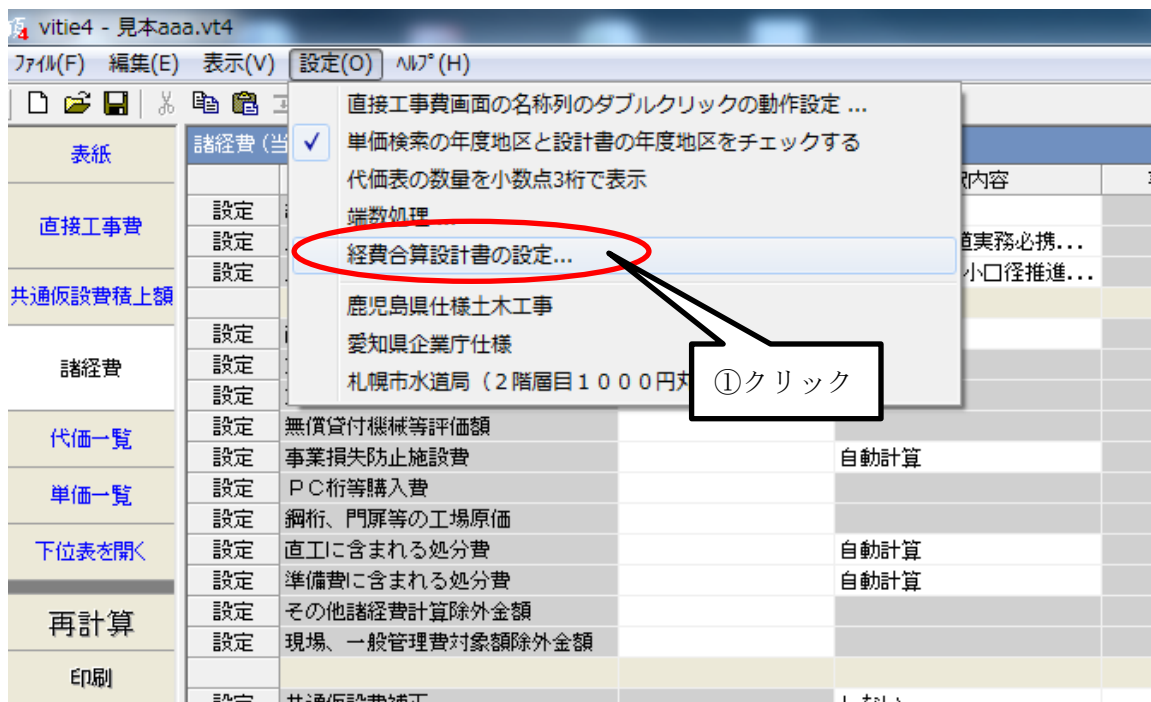
直接工事費が 23,803,572～23,803,913 までと 23,805,888～23,805,930 までの 2 種類と、それに伴う最低制限価格が算出されました。この範囲の直接工事費で諸経費計算をすると、工事価格は 38,000,000 (1,000 丸めの場合) となります。

5-3-5 合算経費の算出

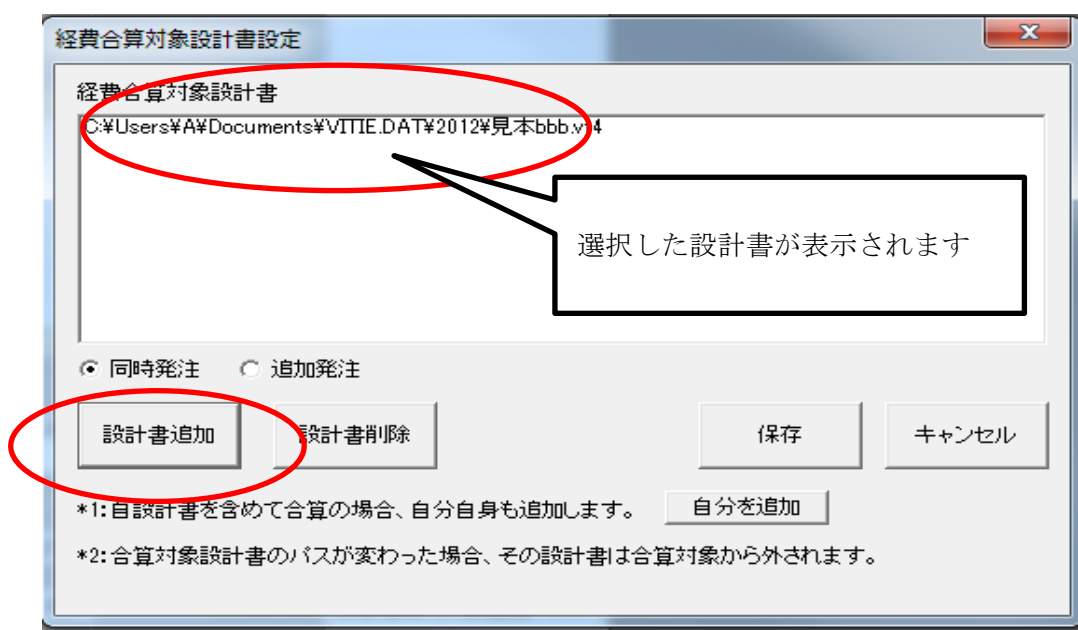
2つ以上の設計書の経費を合算経費として計算します。

合算したい設計書はあらかじめ名前をつけて保存して下さい。

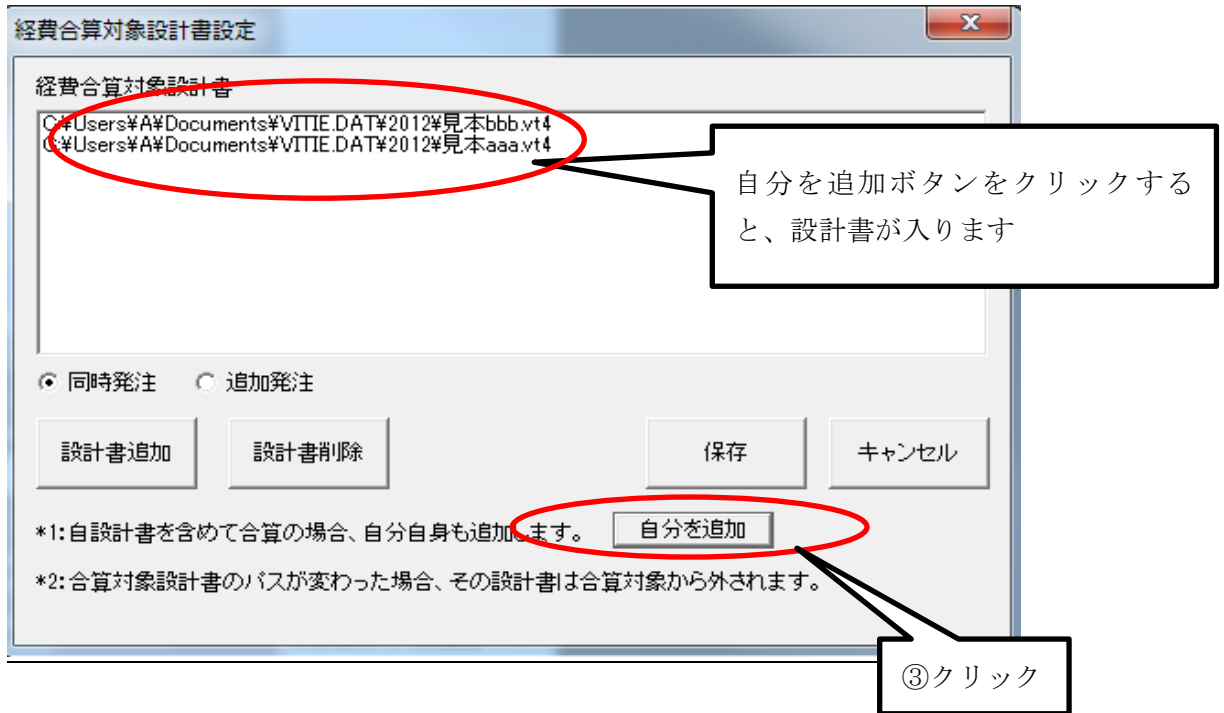
- ①合算対象設計書の諸経費画面を開きます。メニューバーの「設定」をクリックし、経費合算設計書の設定…を選択します



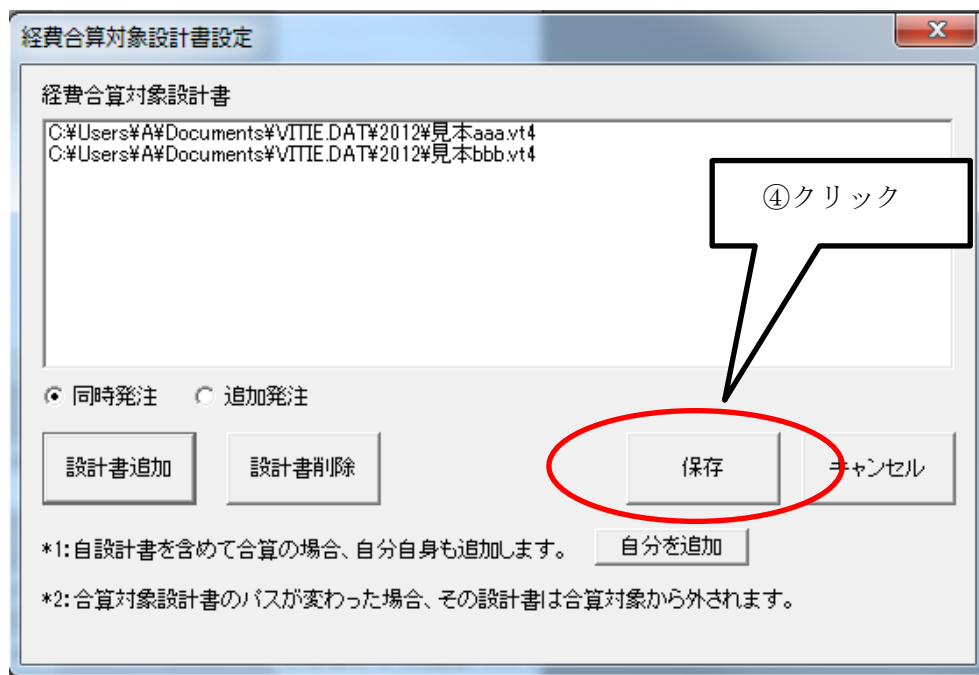
- ②合算対象の設計書を選択する画面が表示されます。「設計書追加」ボタンをクリックして、あらかじめ保存されている合算対象となる設計書を選択してください。



- ③ 「自分を追加」ボタンをクリックして自分を追加してください



- ④ 合算経費計算対象の設計書が表示されたことを確認し、保存ボタンをクリックしてください。



⑤保存ボタンをクリックすると経費率が変わり、バーの表示が変わります。

	名称	金額	選択内容	率	対象額
直接工事費	経費年度		2012_10		
	工事種類		水道工事(水道事業、機械...		
共通仮設費積上額	諸経費(当初) --この設計書は合算対象になっていません--				
諸経費	直工に含まれる管材費	4,000,000	固定金額		
	支給品に含まれる管材費				
	支給品額				
代価一覧	無償貸付機械等評価額				
	事業損失防止施設費		自動計算		
単価一覧	PC桁等購入費				
	鋼桁、門扉等の工場原価				
下位表を開く	直工に含まれる処分費		自動計算		
	準備費に含まれる処分費		自動計算		
再計算	その他諸経費計算除外金額				
	現場、一般管理費対象額除外金額				
印刷	共通仮設費補正		しない		
工事価格シミュレート	現場管理費補正(工事場所)		しない		
	現場管理費補正(工事期間)		しない		
単価一括変更	現場管理費補正(冬期)		しない		
	一般管理費補正(前払金支出割合)		しない		
	一般管理費補正(契約保証)		しない		
最低制限価格計算	環境対策費補正		しない		
	直接工事費	10,000,000	自動計算		
	共通仮設費	1,062,000			
	共通仮設費率額	1,062,000	自動計算(千円丸め)	0.1328	8,000,000
	環境対策費率額		計算しない		
内訳	共通仮設費積上額				
	純工事費	11,062,000			
	現場管理費	1,871,000	自動計算(千円丸め)	0.2065	9,062,000
	工事原価	12,933,000			
	一般管理費等	1,667,000	自動計算(丸めなし)	0.1289	12,933,000
	処分費		固定金額		

補足説明

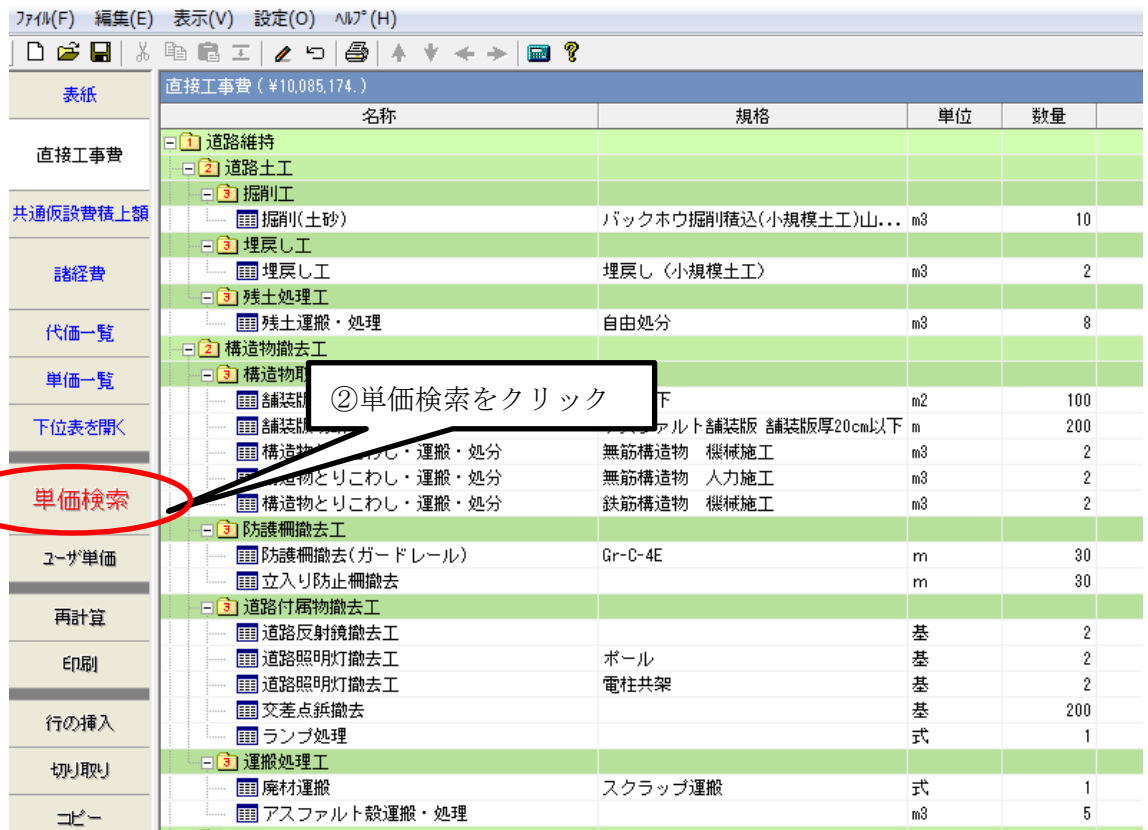
- (1) 合算経費計算には「同時発注」と「追加発注」の2種類の計算方法を用意しています。同時発注は対象設計書の経費率がどちらも変わります。追加発注の場合は追加分の設計書の経費率のみが変わります。
- (2) 追加発注で計算をする場合は、追加分の設計書を開いておいて、「自分を追加」ボタンで設計書を追加してください。

5-4 その他

5-4-1 単価更新機能

前年度単価でつくった設計書を新年度単価に、あるいは別地区に更新することができます。

①単価を更新したい既存設計書を開く

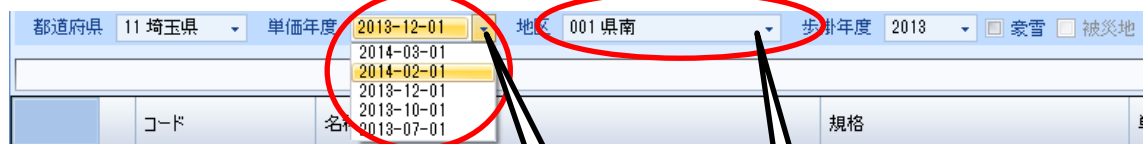


The screenshot shows a software window titled '直接工事費 (¥10,085,174.)'. It contains a table with columns for '名称' (Name), '規格' (Specification), '単位' (Unit), and '数量' (Quantity). The table lists various construction items such as '道路維持', '道路土工', '掘削工', '埋戻し工', '残土処理工', '構造物撤去工', '舗装工', '防護柵撤去工', '道路付属物撤去工', and '運搬処理工'. On the left side of the window, there is a sidebar with several buttons, including '単価検索' (Unit Price Search), which is circled in red. A callout box with the text '②単価検索をクリック' (Click Unit Price Search) points to this button.

名称	規格	単位	数量
道路維持			
道路土工			
掘削工			
掘削(土砂)	バックホウ掘削積込(小規模土工)山...	m3	10
埋戻し工	埋戻し(小規模土工)	m3	2
残土処理工			
残土運搬・処理	自由処分	m3	8
構造物撤去工			
舗装工			
舗装工	下	m2	100
舗装工	アスファルト舗装版 舗装版厚20cm以下	m	200
構造物撤去工	無筋構造物 機械施工	m3	2
構造物とりこわし・運搬・処分	無筋構造物 人力施工	m3	2
構造物とりこわし・運搬・処分	鉄筋構造物 機械施工	m3	2
防護柵撤去工			
防護柵撤去(ガードレール)	Gr-C-4E	m	30
立入り防止柵撤去		m	30
道路付属物撤去工			
道路反射鏡撤去工		基	2
道路照明灯撤去工	ポール	基	2
道路照明灯撤去工	電柱共架	基	2
交差点新撤去		基	200
ランプ処理		式	1
運搬処理工			
廃材運搬	スクラップ運搬	式	1
アスファルト敷運搬・処理		m3	5

②ボタン部の単価検索をクリック

単価検索システムが立ち上がります。ここで更新したい年度と地区を設定します。



The screenshot shows a dialog box for unit price search. It has several dropdown menus and checkboxes. The '単価年度' (Unit Price Year) dropdown is set to '2013-12-01' and is circled in red. The '地区' (Region) dropdown is set to '001 県南' and is also circled in red. Below these are several date options: '2014-03-01', '2014-02-01', '2013-12-01', '2013-10-01', and '2013-07-01'. The '歩掛年度' (Step Rate Year) is set to '2013'. There are checkboxes for '豪雪' (Heavy Snow) and '被災地' (Disaster Area). Below the dialog box, there are two callout boxes labeled '③' and '④' pointing to the '単価年度' and '地区' dropdowns respectively.

都道府県	11 埼玉県	単価年度	2013-12-01	地区	001 県南	歩掛年度	2013	豪雪	被災地
			2014-03-01						
			2014-02-01						
			2013-12-01						
			2013-10-01						
			2013-07-01						

③更新したい単価年度を選択

④更新したい地区を選択

⑤設計書画面の単価一覧をクリック

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 設定(O) ヘルプ(H)

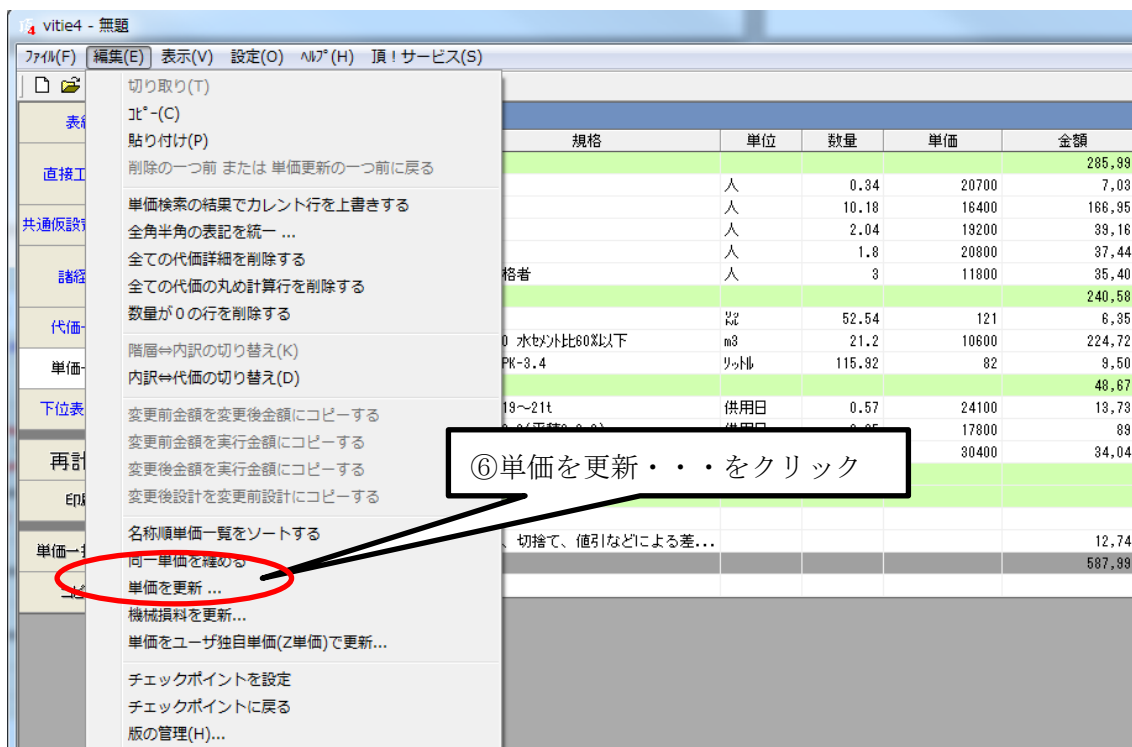
直接工事費 (¥10,085,174.)

名称	規格	単位	数量
1 道路維持			
2 道路土工			
3 掘削工			
掘削(土砂)	バックホウ掘削積込(小規模土工)山...	m3	10
埋戻し	規模土工)	m3	2
埋戻し			
残土処分			
残土処分	自由処分	m3	8
3 構造物取壊し工			
舗装版破碎(バックホウ直接掘削積込)	10cm以下	m2	100
舗装版切断	アスファルト 舗装版 舗装版厚20cm以下	m	200
構造物とりこわし・運搬・処分	無筋構造物 機械施工	m3	2
構造物とりこわし・運搬・処分	無筋構造物 人力施工	m3	2
構造物とりこわし・運搬・処分	鉄筋構造物 機械施工	m3	2
3 防護柵撤去工			
防護柵撤去(ガードレール)	Gr-C-4E	m	30
立入り防止柵撤去		m	30
3 道路付属物撤去工			
道路反射鏡撤去工		基	2
道路照明灯撤去工	ポール	基	2
道路照明灯撤去工	電柱共架	基	2
交差点錐撤去		基	200
ランプ処理		式	1
3 運搬処理工			
廃材運搬	スクラップ運搬	式	1
アスファルト殻運搬・処理		m3	5

⑤単価一覧をクリック

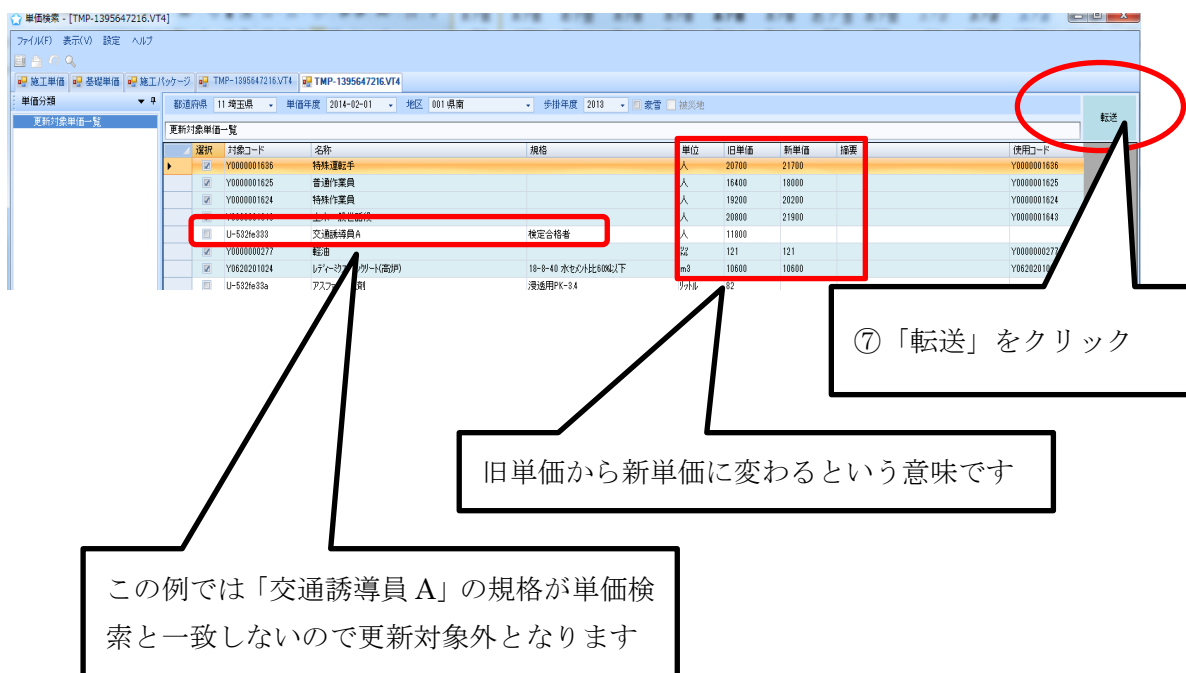
単価一覧が開きます。

- ⑤ メニューバーの「編集」をクリックし、プルダウンメニューから「単価を更新・・・」を選択します。



⑥単価を更新・・・をクリック

⇒更新単価対象一覧画面が出ます。チェックが入っている行が更新対象です。



vitie4 - 無題						
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 設定(O) ヘルプ(H) 頂!サービス(S)						
□ 保存 印刷 削除 編集 戻る 進む 検索 ?						
表紙	単価一覧					
	名称	規格	単位	数量	単価	金額
直接工事費	☐ 労務費					306,646
	☐ 特殊運転手		人	0.34	21700	7,378 円
	☐ 普通作業員		人	10.18	18000	183,240 円
共通仮設費積上額	☐ 特殊作業員		人	2.04	20200	41,208 円
	☐ 土木一般世話役		人	1.8	21900	39,420 円
諸経費	☐ 交通誘導員A	検定合格者	人	3	11800	35,400 円
	☐ 材料費					240,582
代価一覧	☐ 軽油		kg	52.54	121	6,357 円
	☐ 砕石(高炉)	18-8-40 水比外比80%以下	m3	21.2	10600	224,720 円

設計書画面に戻ります。

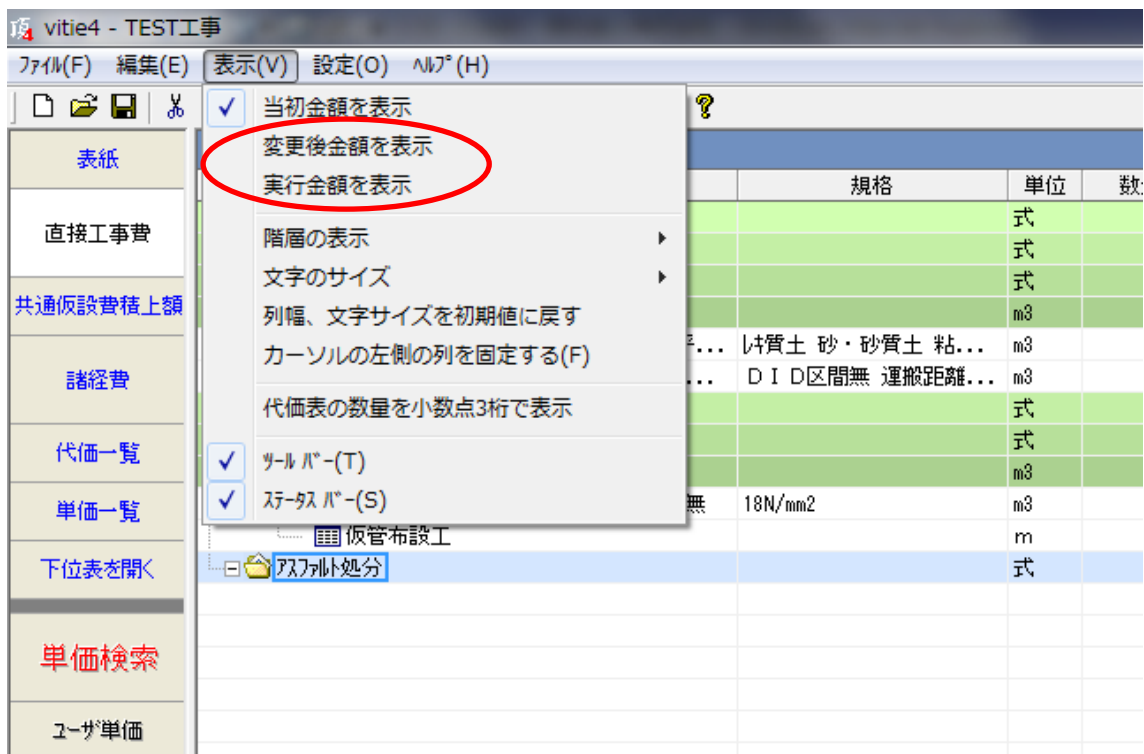
更新された単価の行は青く表示されます。

補足説明

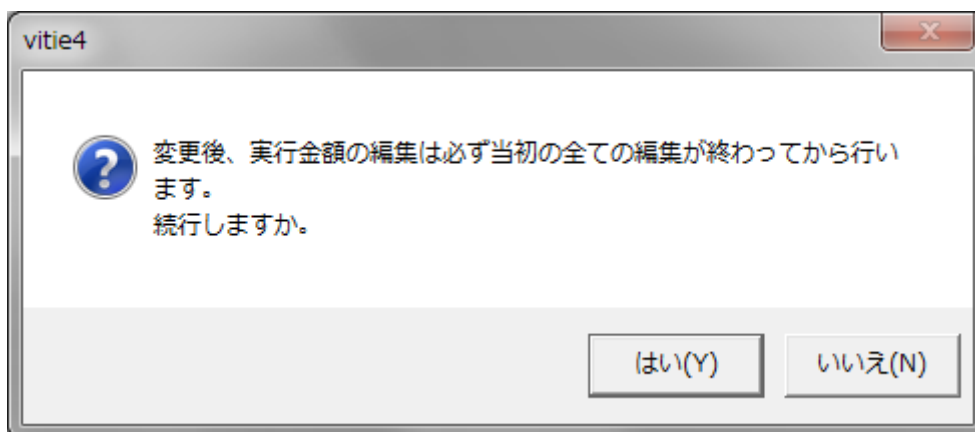
- (1) 更新の対象は、「労務単価」「材料単価」「市場単価」「処分費」です。「機械損料」は更新されません。機械損料の更新につきましては、メニューバーの「編集」をクリックしプルダウンメニューから「機械損料を更新」を選択し、更新してください。
- (2) 単価が更新されるのは、単価の「名称」「規格」「単位」が頂の単価検索システム内のものと一致する場合のみです。
- (3) 一度更新した単価は元にもどすことはできません。
- (4) 青いフラグを消すにはメニューバーの「表示」から「単価更新フラグをクリアする」を選択してください。

5-4-2 設計変更や実行予算に使う

設計変更や実行予算として使用することができます。直接工事費画面でメニューバーの「表示」メニューを開くと「変更後金額を表示」と「実行金額を表示」が選択できます。



「変更後金額を表示」をクリックしてみます。



⇒確認メッセージが出るので（必ず元設計が終了してから行ってください）「はい」をクリック。

金額欄の右側に変更欄が表示された画面になります。

名称	規格	単位	数量	単価	金額	変更後数量	変更後単価	変更後金額
道路改良		式	1		2,485,960	1		2,485,960
道路土工		式	1		1,854,000	1		1,854,000
掘削工		式	1		1,854,000	1		1,854,000
掘削(土砂)		m3	1		1,854,000	1		1,854,000
掘削機積込 地山 山積0.8m3 [平...		m3	1000	171	171,000	1000	171	171,000
ダンプトラック運搬 10t積 土砂 掘削機...		m3	1000	1,483	1,483,000	1000	1,483	1,483,000
擁壁工		式	1		624,960	1		624,960
場所打擁壁工		式	1		624,960	1		624,960
コンクリート		m3	1		624,960	1		624,960
無筋構造物人力打設 小運搬無 養生無	18N/mm2	m3	35	16,850	582,750	35	16,850	582,750
仮管布設工		m	15	2,814	42,210	15	2,814	42,210
アソビ処分		式	1		187,000	1		187,000

補足説明

- (1) 変更欄には元設計と同じものがコピーされています。
- (2) 数量など変更内容を入力します。
- (3) 代価や内訳の変更は必ず下位表を開いて、下位表(明細表)で修正してください。
- (4) 「表示」メニューを開いたときに「変更後金額」などがアクティブになっていない時(グレーのまま)は、一度直接工事費画面の任意の行をクリックしてからもう一度メニューを開いてください。
- (5) 変更金額を表示しているときの諸経費画面は、変更金額に対する諸経費です。(諸経費画面は当初・変更の両方を表示できません)
- (6) 変更後金額を印刷に反映させるには印刷設定画面で「変更後金額」にチェックを入れて下さい。

5-4-3 工事ファイルをコピーして別工事に利用する

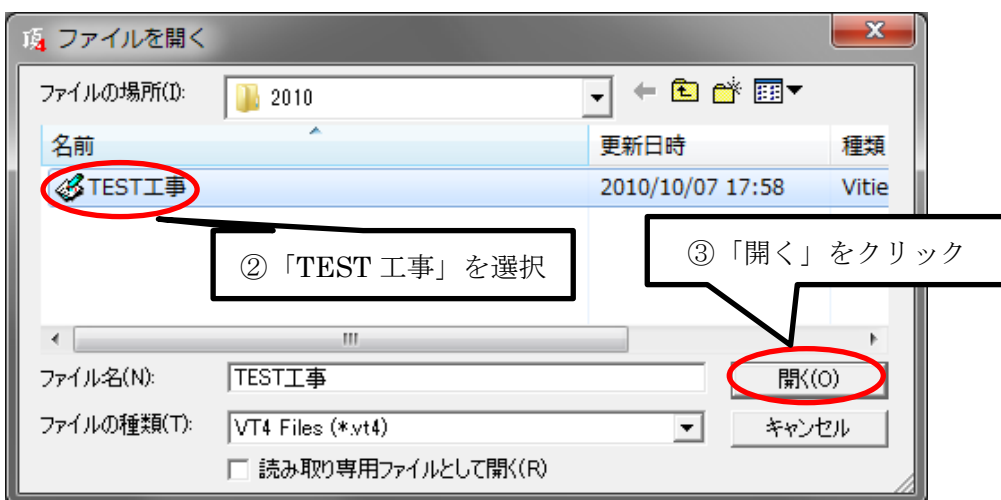
過去に積算した工事ファイルを再利用する場合は、元になるファイルを最初にコピーしてから編集します。編集する前にコピーしないと元ファイルが残りません。(エクセルなどとは違います)

その手順を説明します。

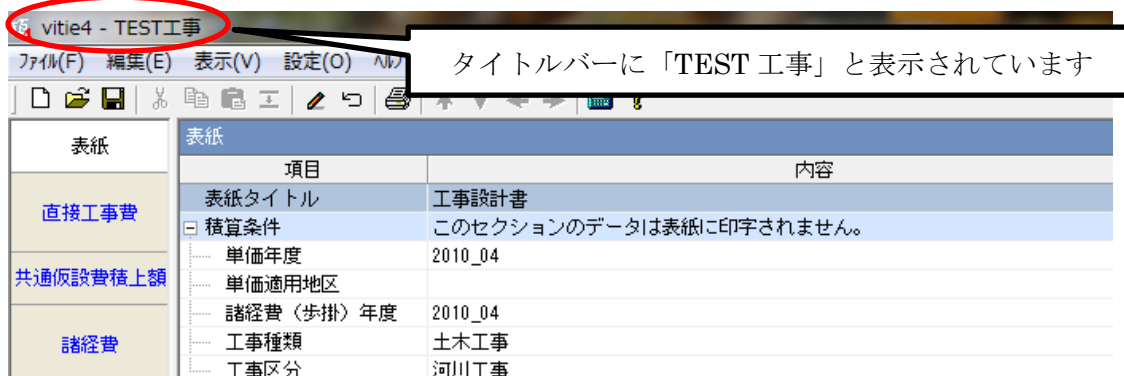
スタートメニューから「既存設計書を開く」をクリックして元になる工事ファイルを開きます。



例えば「TEST 工事」を開きます。

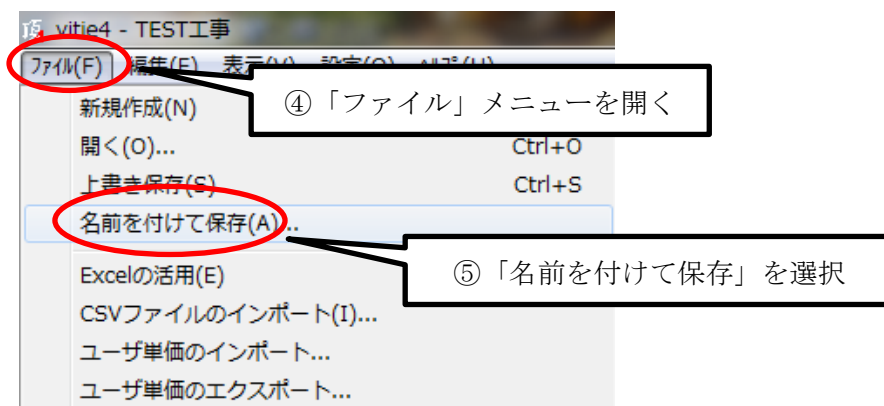


「TEST 工事」の表紙画面が開きます。

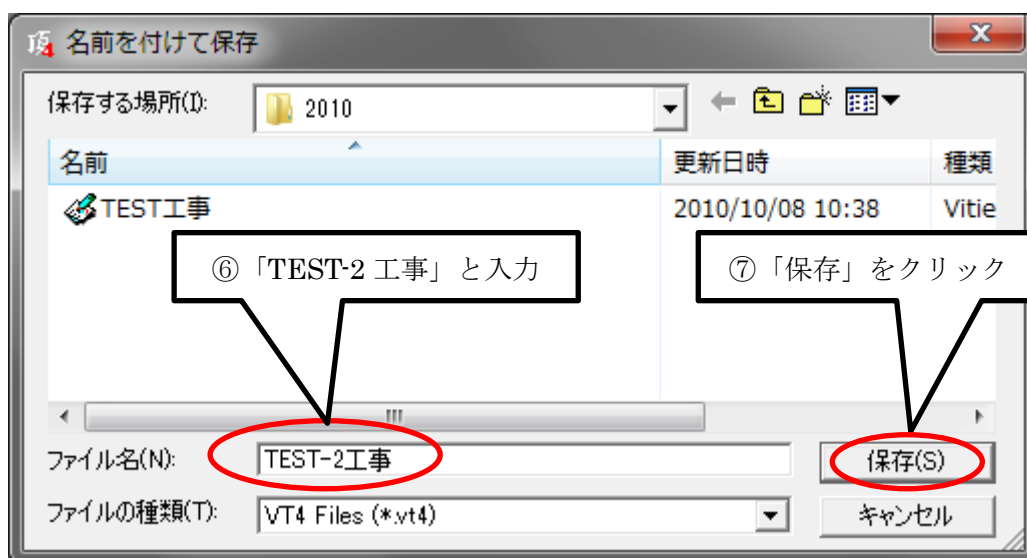


次に「TEST 工事」を「TEST-2 工事」と名前を付けて保存してみます。

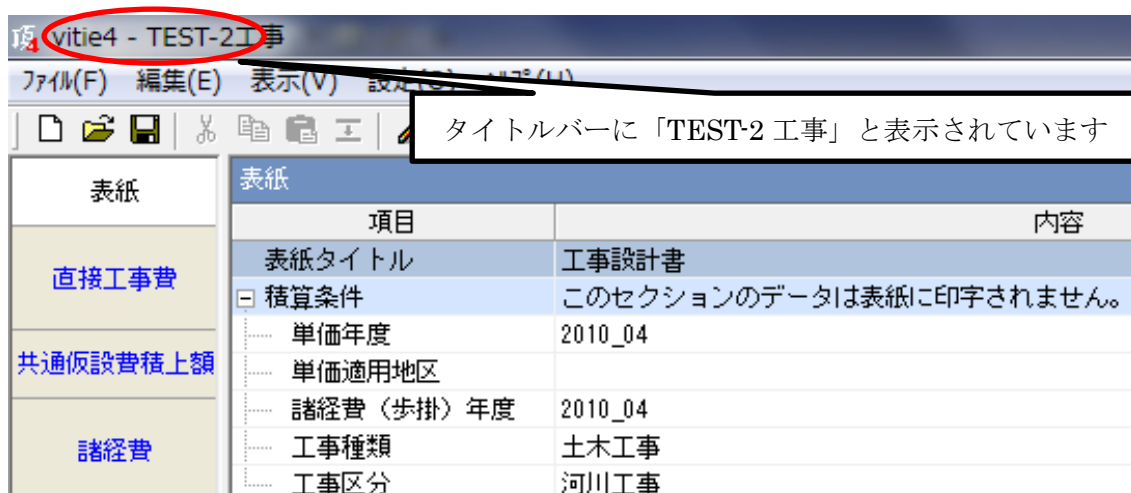
そのまま表紙画面のメニューバーの「ファイル」メニューを開いて「名前を付けて保存」を選択します。



ファイル名に新しい名前「TEST-2 工事」を付けます。



「TEST-2 工事」の表紙画面が開きます。



これで元のファイル「TEST 工事」を新しい別のファイル「TEST-2 工事」としてコピーが完了しました。この後、直接工事費画面を開いて変更しても、元ファイルの「TEST 工事」は残っています。

補足説明

- (1) 以前のファイルを再利用するときは必ず最初に別名で保存します。そうでないと元のファイルが変更されてしまいます。
- (2) 工事名はタイトルバーで確認できます。

6 よくある質問

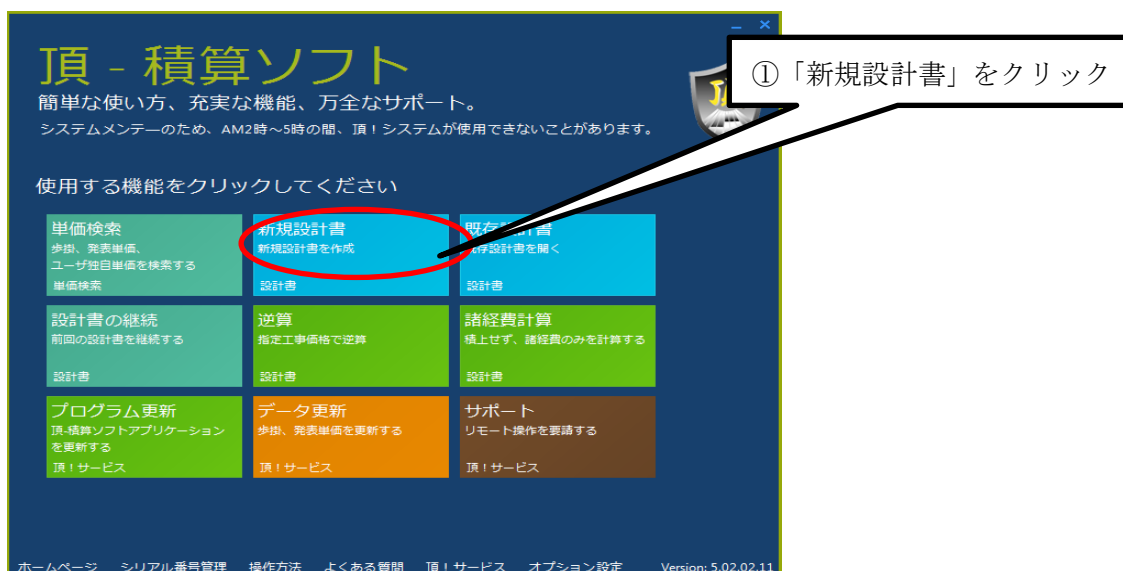
6-1 PDF,EXCEL 変換サービス

6-1-1 役所から入手した入札用の PDF や EXCEL の金抜き設計書を「頂」に取り込みたい

役所から入手したファイルが PDF（データが抽出できるもの。スキャンデータや画像データはデータの抽出ができません。）や EXCEL の場合はサポートセンターで「頂」に取り込みができる CSV データに変換します。

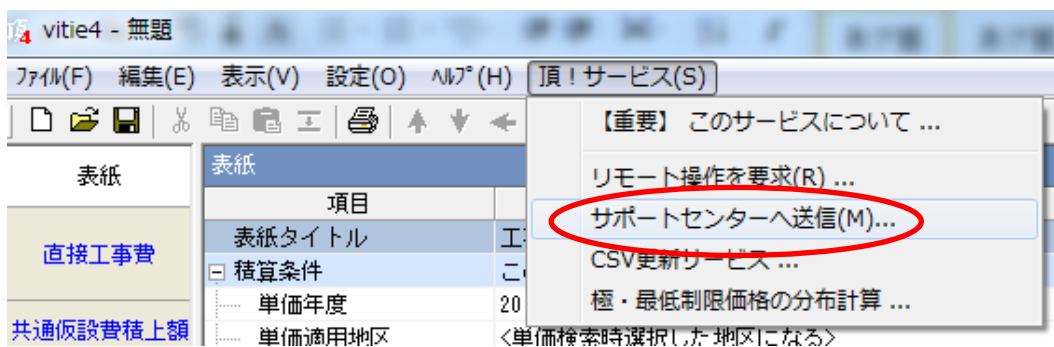
まずは金抜き設計書ファイルをサポートセンターに送付して下さい。

①ファイルをサポートセンターに送る手順を説明します。「頂」のスタートメニュー画面で「新規設計書」をクリック。



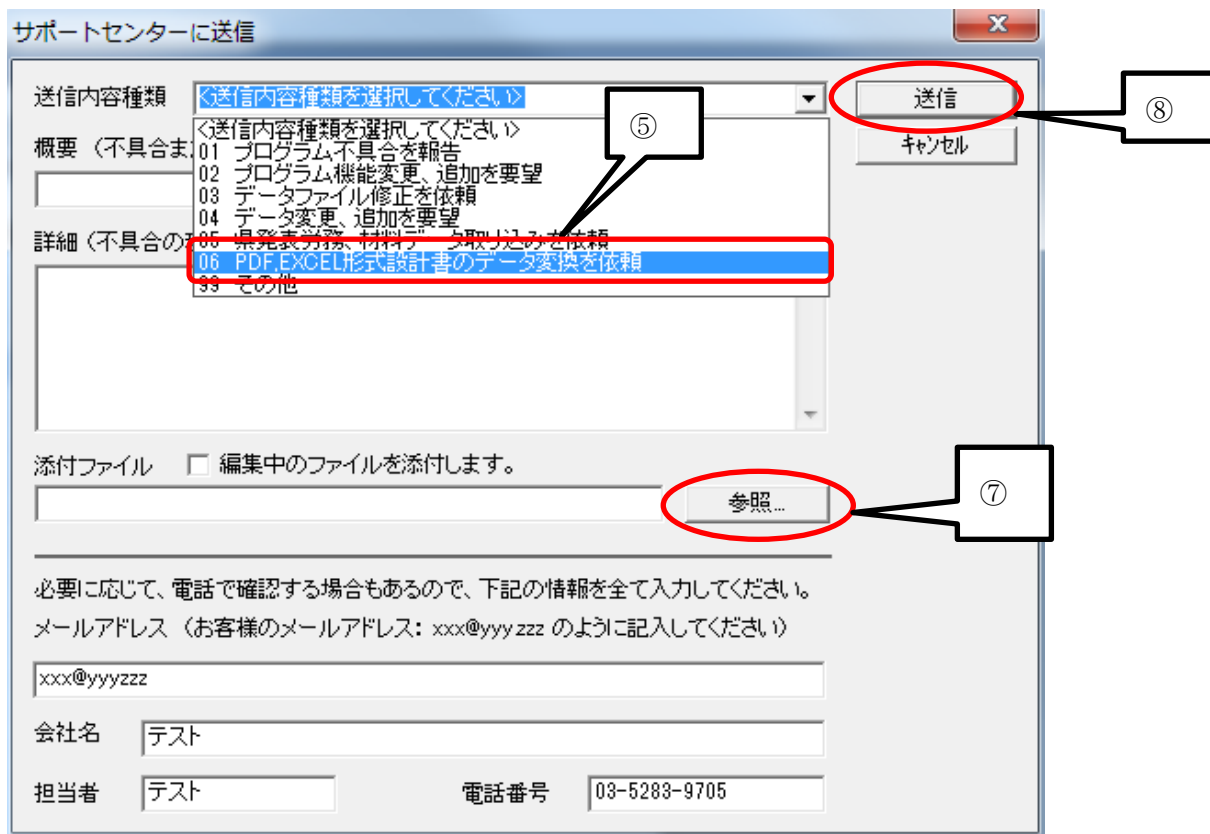
②入力項目をとばして「次へ」をクリック。

③新規設計書の表紙画面が出たら、メニューバーの「頂！サービス」から「サポートセンターへ送信」をクリック。



「頂！サービス」はご契約中のお客様のみのサービスです。初めて「頂！サービス」をご利用の場合は【重要】このサービスについて…から利用規約をお読み下さい。

④メール送信フォームが開きます。



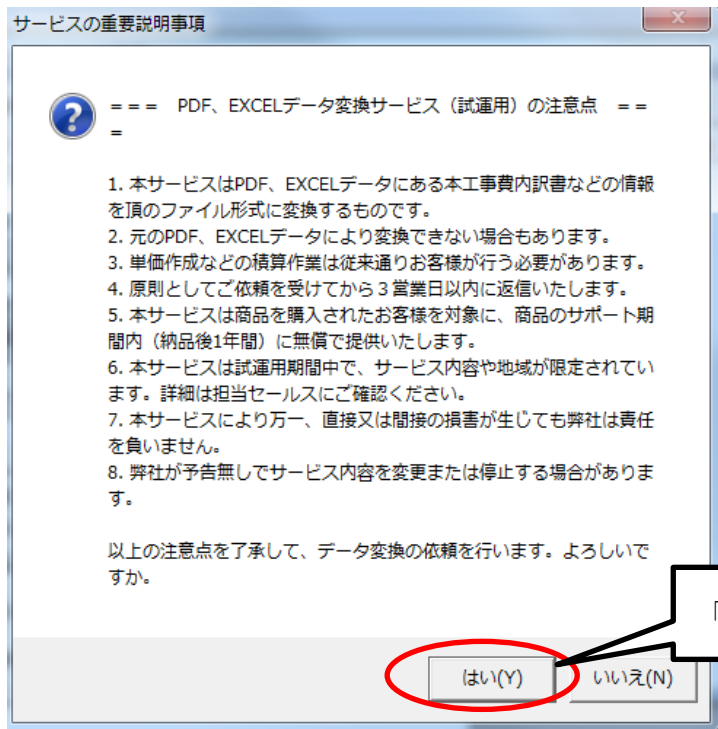
⑤送信内容種類のプルダウンメニューから「06 PDF, EXCEL 形式設計書のデータ変換を依頼」を選択。

⑥概要、詳細、メールアドレス、会社名、担当者、電話番号を全て書いてください

⑦「参照」ボタンをクリックしてお手持ちの金抜き設計書ファイルを添付。

⑧「送信」をクリック

⑨重要事項説明を確認して「はい」をクリック



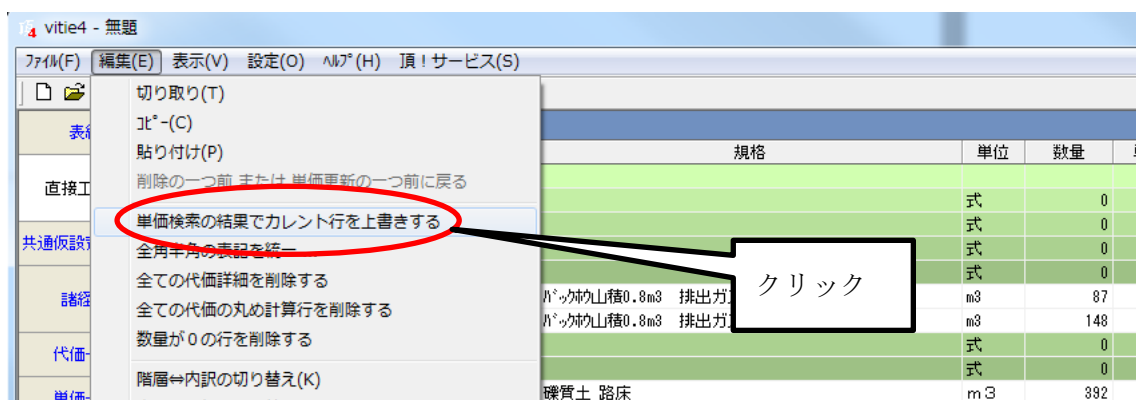
⑩サポートセンターにメールが送信されます。

サポートセンターでCSV ファイルを作成して、メールでお返しします。

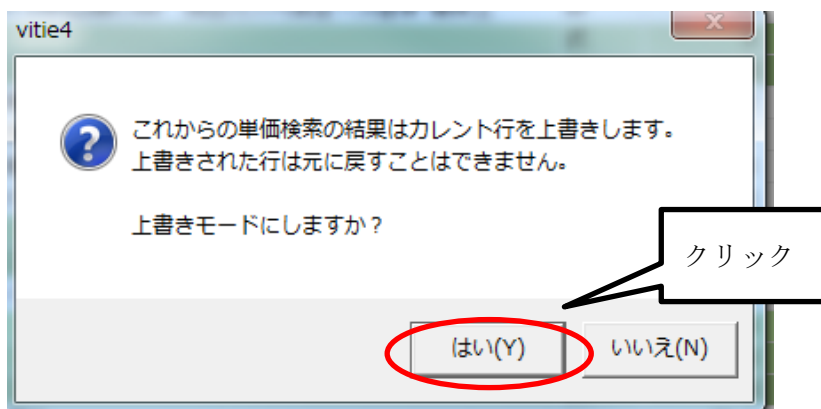
6-1-2 役所で入手した設計書の CSV をインポート後、単価の入力方法がわからない

CSV をインポート後に設計書を完成させるには、単価を上書きで貼り付ける方法をお勧めします。上書きで貼り付けを行うと CSV で読み込んだままの文言を残し金額を貼り付けることができます。

サポートセンターから送られてきた CSV をインポートした状態

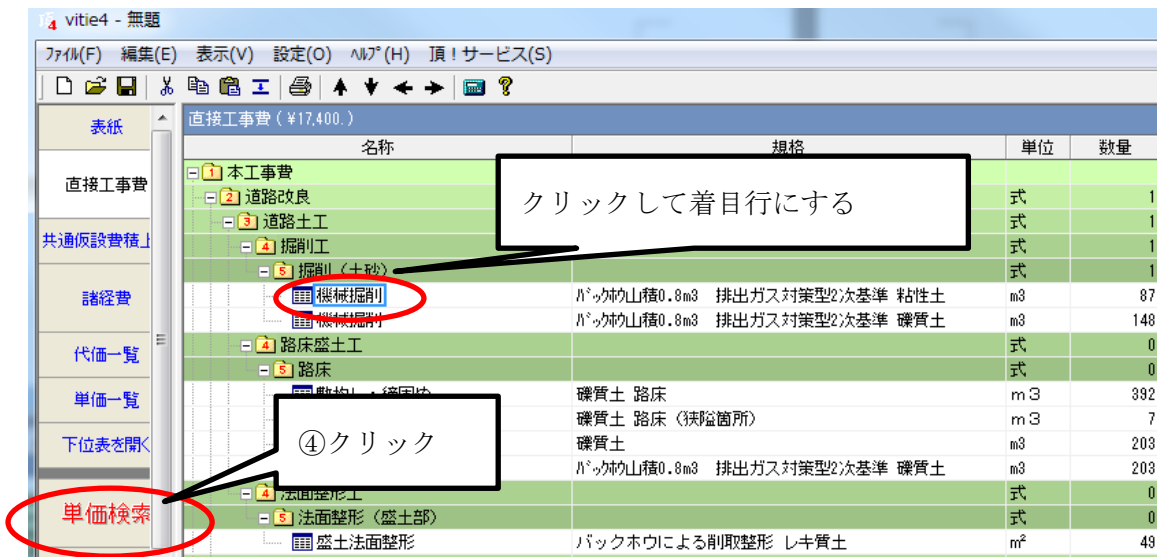


- ①メニューバーの「編集」から「単価検索の結果でカレント行を上書きする」にチェックを入れます。
- ②確認メッセージがでるので「はい」をクリック。



上書きモードに変更になりました。

- ③実際に単価を上書きで貼り付けてみます。



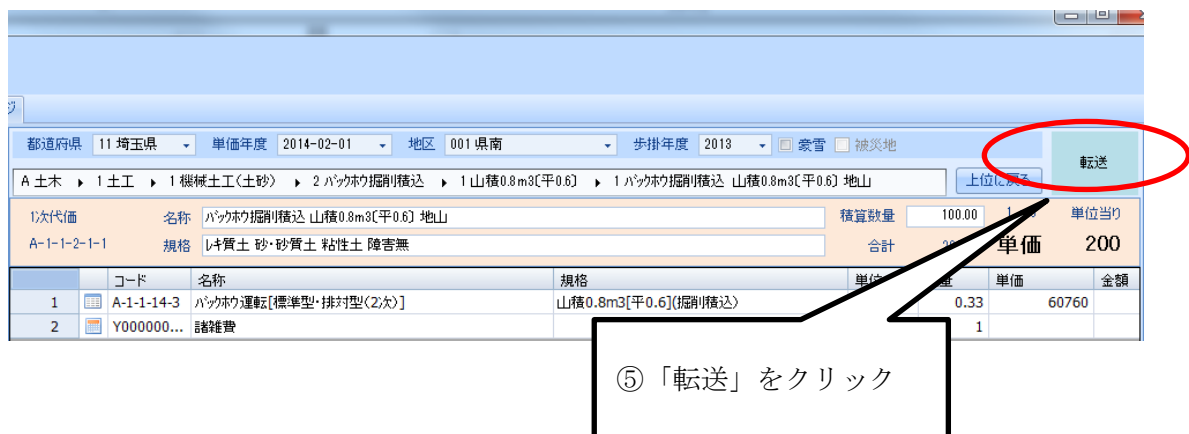
「機械掘削 バックホウ山積 0.8m³ 排出ガス・・・」の代価表を貼り付けたいので、機械掘削をクリックして着目行にします。

④着目行になったら「単価検索」をクリック

⑤単価検索で「機械掘削」に該当するものを探して「転送」をクリック

A 土木 ⇒ 土工 ⇒ 1、機械土工(土砂) ⇒ 1、山積 0.8m³[平 0.6]

⇒ バックホウ掘削積込 山積0.8m³[平0.6]地山
レキ質土 砂・砂質土 粘性土 障害無



E) 表示(V) 設定(O) ヘルプ(H) 頂!サービス(S)						
直接工事費 (¥17,400)						
名称	規格	単位	数量	単価	金額	記
1 本工事費					17,400	
2 道路改良		式	1		17,400	
3 道路土工		式	1		17,400	
4 掘削工		式	1		17,400	
5 掘削 (土砂)		式	1		17,400	
機械掘削	ハック砕石積0.8m3 排出ガス対策型2次基準 粘性土	m3	17	200	17,400	
機械掘削	ハック砕石積0.8m3 排出ガス対策型2次基準 礫質土	m3	148	0	0	
4 路床盛土工		式	0		0	

⑥ CSV の文言そのままでも金額 200 円が貼りつきました。

補足説明

- (1) 代価表だけでなく、基礎単価や施工パッケージ単価も上書き貼り付けが出来ます。
- (2) 代価表を貼り付けた場合は下位表も貼りつきます。

6-2 諸経費関係

6-2-1 諸経費画面で共通仮設費積上額の入力ができない

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 設定(O) ヘルプ(H) 頂上サービス(S)

諸経費(当初)

	名称	金額	選択内容
設定	経費年度		
設定	工事種類		
設定	工事区分		
設定	支給品額		
設定	無償貸付機械等評価額		
設定	事業損失防止施設費		自動計算
設定	PC桁等購入費		
設定	鋼桁、門扉等の工場原価		
設定	直工に含まれる処分費		自動計算
設定	準備費に含まれる処分費		自動計算
設定	その他諸経費計算除外金額		
設定	現場、一般管理費対象額除外金額		
設定	共通仮設費補正		しない
設定	イメージアップ経費補正		しない
設定	共通仮		しない
設定	現場管		しない
設定	現場管		しない
設定	現場管		しない
設定	現場管理費補正(冬期)		しない
設定	一般管理費補正(前払金支出割合)		前払金支出割合35%を超え(補正しない)
設定	一般管理費補正(契約保証)		しない
設定	契約保証費を別に計上		しない
	直接工事費	107,500	自動計算
	共通仮設費	13,000	
	共通仮設費率額	13,000	自動計算(千円丸め)
	イメージアップ経費率額		計算しない
内訳	共通仮設費積上額		
	純工事費	120,500	自動計算(丸めなし)
	現場管理費	45,000	自動計算(千円丸め)
	工事原価	165,500	
	一般管理費等	23,500	自動計算(丸めなし)

ここから積上げを行って下さい

金額欄に直接入力はできません

共通仮設費積上額は諸経費画面で直接入力はできません。ボタン部の「共通仮設費積上額」から積上げをして下さい。[詳しくは2-4 共通仮設費積上額の入力を参照して下さい。](#)

6-2-2 直接工事費の一部（大型遊具の購入費など）を経費計算の対象額から除外したい

諸経費画面のメニューバーの「ヘルプ」から「間接費項目別対象表」を参照して下さい。
 諸経費画面の該当する項目に該当金額を直接入力すると、経費計算に反映されます。

ここでは直接工事費に積上げた大型遊具購入費を共通仮設費の対象額から除外する場合の説明をします。

諸経費(当初)						
	名称	金額	選択内容	率	対象額	備考
設定	経費年度		2013_10			
設定	工事種類		土木工事			
設定	工事区分		河川工事			
設定	支給品額					
設定	無償貸付機械等評価額					
設定	事業損失防止施設費		自動計算			
設定	PC桁等購入費					
設定	鋼桁、門扉等の工場原価					
設定	直工に含まれる処分費		自動計算			
設定	準備費に含まれる処分費		自動計算			
設定	その他諸経費計算除外金額					
設定	現場、一般管理費対象除外金額					
設定	共通仮設費補正		しない			
設定	イメージアップ経費補正		しない			
設定	共通仮設費補正(被災地)		しない			
設定	現場管理費補正(被災地)		しない			
設定	現場管理費補正(工事場所)		しない			
設定	現場管理費補正(工事期間)		しない			
設定	現場管理費補正(冬期)		しない			
設定	一般管理費補正(前払金支出割合)		前払金支出割合95%を起え(補正しない)			
設定	一般管理費補正(契約保証)		しない			
設定	契約保証費を別に計上		しない			
	直接工事費	1,000,000	固定金額			
	共通仮設費	125,000				
	共通仮設費率額	125,000	自動計算(千円丸め)	0.1253	1,000,000	
	イメージアップ経費率額		計算しない			
内訳	共通仮設費積上額					
	純工事費	1,125,000	自動計算(丸めなし)			
	現場管理費	428,000	自動計算(千円丸め)	0.3813	1,125,000	
	工事原価	1,553,000				
	一般管理費等	223,000	自動計算(丸めなし)	0.1438	1,553,000	工事価格丸め調整額=321円
	処分費		固定金額			
	スクラップ控除		固定金額			
	契約保証費		自動計算			
	工事価格	1,778,000	自動計算(千円丸め)			
	消費税	88,800		0.05	1,778,000	
	総工事価格	1,864,800	自動計算(丸めなし)			

直接工事費：1,000,000
 共通仮設費対象額：1,000,000
 現場管理費対象額：1,125,000
 一般管理費対象額：1,553,000
 大型遊具購入費：800,000

メニューバーの「ヘルプ」の「間接費項目別対照表」を参照し、共通仮設費は×（対象としない）現場管理費と一般管理費は○（対象とする）の項目を探し、「頂」の諸経費画面で該当する項目に800,000を入力します。

表紙	諸経費 (当初)				備考
	設定	名称	金額	選択内容	
直接工事費	設定	経費年度		2018_10	
	設定	工事種類		土木工事	
	設定	工事区分		河川工事	
共通仮設費積上額					
諸経費	設定	支給品額			
	設定	無償貸付機械等評価額			
代価一覧	設定	事業費大物止地代償		自動計算	
	設定	P.C.桁寄購入費	800,000		
単価一覧	設定	脚衝、門扉等の工場原価			
	設定	直工に含まれる処分費		自動計算	
下位表を開く	設定	準備費に含まれる処分費		自動計算	
	設定	その他諸経費計算除外金額			
再計算	設定	現場、一般管理費対象額除外金額			
	設定	イメージアップ経費補正			
印刷	設定	イメージアップ経費補正			
工事価格シミュレート	設定	共通仮設費補正(被災地)			
	設定	現場管理費補正(被災地)			
単価一括変更	設定	現場管理費補正(工事場所)			
	設定	現場管理費補正(工事期間)			
最低制限価格計算	設定	現場管理費補正(冬期)			
	設定	一般管理費補正(前払金支出割合)		前払金支出割合35%を超え(補正しない)	
	設定	一般管理費補正(契約保証)		しない	
	設定	契約保証費を別に計上		しない	
内訳					
		直接工事費	1,000,000	固定金額	
		共通仮設費	25,000		
		共通仮設費率額	25,000	自動計算(千円丸め)	0.1253
		イメージアップ経費率額		計算しない	
		共通仮設費積上額			200,000
		純工事費	1,025,000	自動計算(丸めなし)	
		現場管理費	390,000	自動計算(千円丸め)	0
		工事原価	1,415,000		1,025,000
		一般管理費等	203,000	自動計算(丸めなし)	0.1438
		処分費		固定金額	1,415,000
		スクラップ控除		固定金額	工事価格丸め調整額=477円
		契約保証費		自動計算	
		工事価格	1,618,000	自動計算(千円丸め)	
		消費税	80,900		0.05
		総工事価格	1,698,900	自動計算(千円丸め)	1,618,000

①800,000 を入力

②再計算をクリック

共通仮設費の対象額から 800,000 が外されて 200,000 になった

6-2-3 諸経費を1本でまとめて計算したい

共通仮設費や現場管理費を分けて出すのではなく、直接工事費の何%と諸経費を1本でまとめるには「工事種類」を「民間工事」に設定して下さい。

プルダウンメニューから「民間工事」を選択

諸経費(当初)						
	名称	金額	選択内容	率	対象額	備考
設定	経費年度		2013_10			
設定	工事種類		民間工事			
設定	工事区分		民間工事			
	値引前直接工事費					
設定	材料費の値引					
設定	その他の値引					
	直接工事費		自動計算			
	諸経費					
内訳	諸経費積上額		自動計算(丸めなし)			
	諸経費率額		自動計算(丸めなし)	0.1		
	端数切捨					
	値引前工事価格					
設定	工事価格の値引					
設定	指定総工事価格					
	工事価格		自動計算(千円丸め)			
	消費税			0.0		
	総工事価格		自動計算(丸めなし)			

直接入力ができます

諸経費率は初期設定では0.1になっていますが、率を変更することができます。

6-2-4 諸経費の工種区分がわからない

諸経費画面のメニューバーから「ヘルプ」をクリックし「工種区分表」を確認して下さい。

6-2-5 工事価格の消費税率を8%で計算したい

消費税率は直接入力して変更できます。

表紙	諸経費 (当初)						
	設定	名称	金額	選択内容	率	対象額	備考
直接工事費	設定	経費年度		2013_10			
	設定	工事種類		土木工事			
	設定	工事区分		河川工事			
共通仮設費積上額	設定	支給品額					
	設定	無償貸付機械等評価額					
諸経費	設定	事業損失防止施設費		自動計算			
	設定	PC桁等購入費					
代価一覧	設定	鋼桁、門扉等の工場原価					
	設定	直工に含まれる処分費		自動計算			
単価一覧	設定	準備費に含まれる処分費		自動計算			
	設定	その他諸経費計算除外金額					
下位表を開く	設定	現場、一般管理費対象除外金額					
再計算	設定	共通仮設費補正					
	印刷	共通仮設費補正					
工事価格シミュレート	設定	現場管理費補正					
	設定	現場管理費補正					
単価一括変更	設定	現場管理費補正					
	設定	現場管理費補正					
最低制限価格計算	設定	一般管理費補正(前払金支出割合)		前払金支出割合35%を超...			
	設定	一般管理費補正(契約保証)		しない			
	設定	契約保証費を別に計上		しない			
		直接工事費	1,000,000	固定金額			
		共通仮設費	125,000				
		共通仮設費率額	125,000	自動計算(千円丸め)	0.1250	1,000,000	
		イメージアップ経費率額		計算しない			
内訳		共通仮設費積上額					
		純工事費	1,125,000	自動計算(丸めなし)			
		現場管理費	428,000	自動計算(千円丸め)	0.3813	1,125,000	
		工事原価	1,553,000				
		一般管理費等	223,000	自動計算(丸めなし)	0.1438	1,553,000	工事価格丸め調整額=321F
		処分費		固定金額			
		スクラップ控除		固定金額			
		契約保証費		自動計算			
		工事価格	1,776,000	自動計算(千円丸め)			
		消費税	88,800	固定率	0.08	1,776,000	
		総工事価格	1,864,800	自動計算(丸めなし)			

入力後は「再計算」をクリック

直接入力ができます

6-2-6 諸経費画面の直工（準備費）に含まれる処分費と一般管理費等の下の処分費の違いは？

「直工に含まれる処分費」に計上された処分費は直接工事費（支給品など対象額に影響を及ぼすものが無い場合）の3%以内は間接費の率計算の対象となります。

一般には3%を超えた部分だけが対象額から除外されますが、発注者によっては3%を超えた部分だけではなく、処分費全額を経費計算から除外する場合があります。

この場合、処分費を直接工事費には計上しないで諸経費画面の一般管理費等の下にある「処分費」に直接金額を入力して下さい。

直接工事費に計上し、さらに一般管理費等の下の処分費に金額を入力すると二重計上となりますのでご注意ください。

6-3 その他

6-3-1 積算する地区名がわからない

単価検索画面のメニューバーから「ヘルプ」をクリックし「地区リスト」を確認して下さい。

6-3-2 去年作成した設計書を今年の単価に変更したい

単価更新機能で今年の単価に変更できます。詳しくは[5-4-1 単価更新機能](#)を参照して下さい。

6-3-3 単価検索画面から設計書に転送したら単価が変わってしまった

同じコードで異なる単価のものが、その設計書に存在している場合に起こります。例えば、去年作成した設計書に今年の単価を転送すると、今年の単価は既に存在している去年の単価に強制的に変わります。これを解消するには、事前に単価更新をする必要があります。[5-4-1 単価更新機能](#)を参照して下さい。

6-3-4 施工パッケージで標準単価の材料の種別を変更したい

(例えばクラッシャーランの C40 を RC40 などに変更したい場合)

[2-3-5 施工パッケージ単価の貼り付けの補足説明](#)を参照して下さい。

6-3-5 設計変更や実行予算を出したい

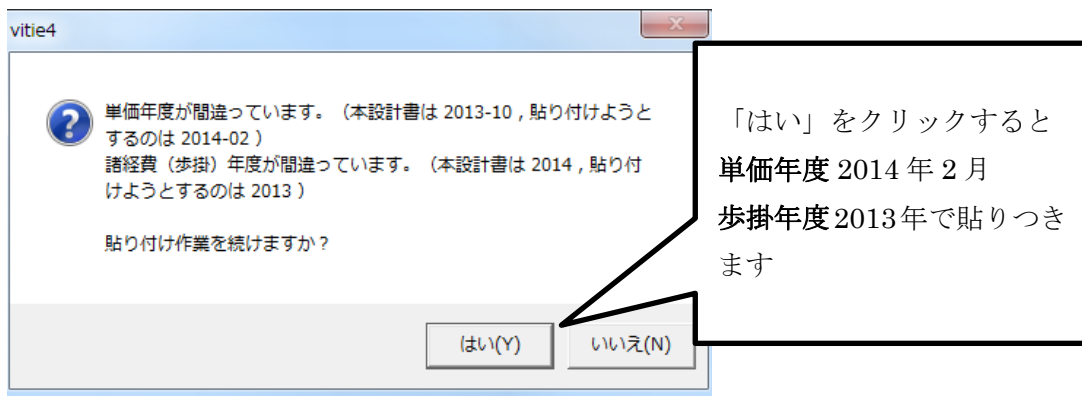
[5-4-2 設計変更や実行予算に使う](#)を参照して下さい。

6-3-6 夜間工事にしたい

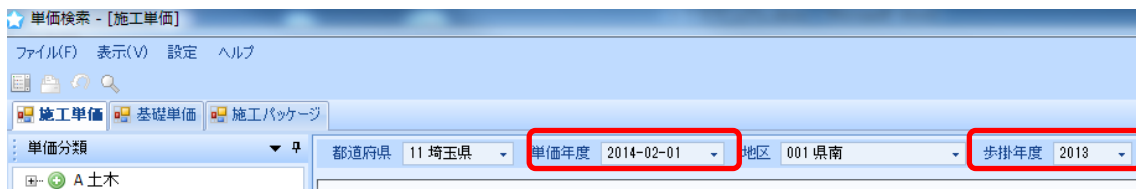
[5-1-6 夜間工事にする](#)を参照して下さい。

6-3-7 単価検索から単価を転送しようとする「単価年度が間違っています」とメッセージが出る

設計書の表紙画面の単価年度、諸経費(歩掛)年度と単価検索の単価年度、歩掛年度が違う場合にメッセージがでている状態です。「はい」をクリックすれば「単価検索」で設定した単価年度、歩掛年度の単価が貼りつきます。



メッセージが出ないようにするには表紙画面と単価検索画面の年度設定を合わせます。
 ※ここでは実際に積算したい年度を 単価年度が 2014年2月、歩掛年度が 2013年と仮定して説明します。



表紙	項目	内容
直接工事費	表紙タイトル	工事設計書
共通仮設費積上額	積算条件	このセクションのデータは表紙に印字されません。
	単価年度	2013_10
諸経費	単価適用地区	埼玉県/県南
	諸経費(歩掛)年度	2014-04
	工事種類	土木工事

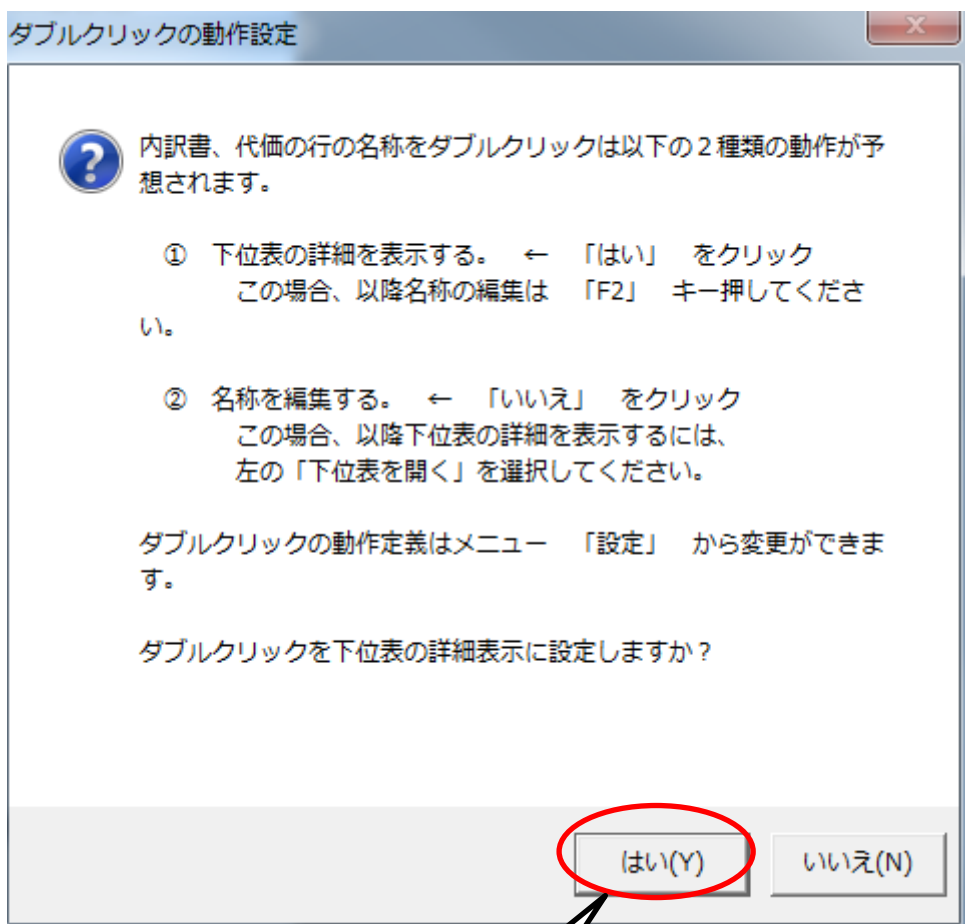
諸経費(歩掛)年度も 2013 を選択する

プルダウンから 2014_02 を選択

6-3-8 直接工事費画面で代価表をダブルクリックしても下位表が開かない

ダブルクリックの動作設定を変えて下さい。

メニューバーの「設定」から「直接工事費画面の名称列のダブルクリックの動作設定…」を選択します。



「はい」をクリックすると、
ダブルクリックで下位表を
開きます

6-3-9 「既存設計書を開く」をクリックしても、作成した設計書が表示されない

「頂」は初期設定でデータの保存先がドキュメントの VITIE.DAT フォルダに設定されています。

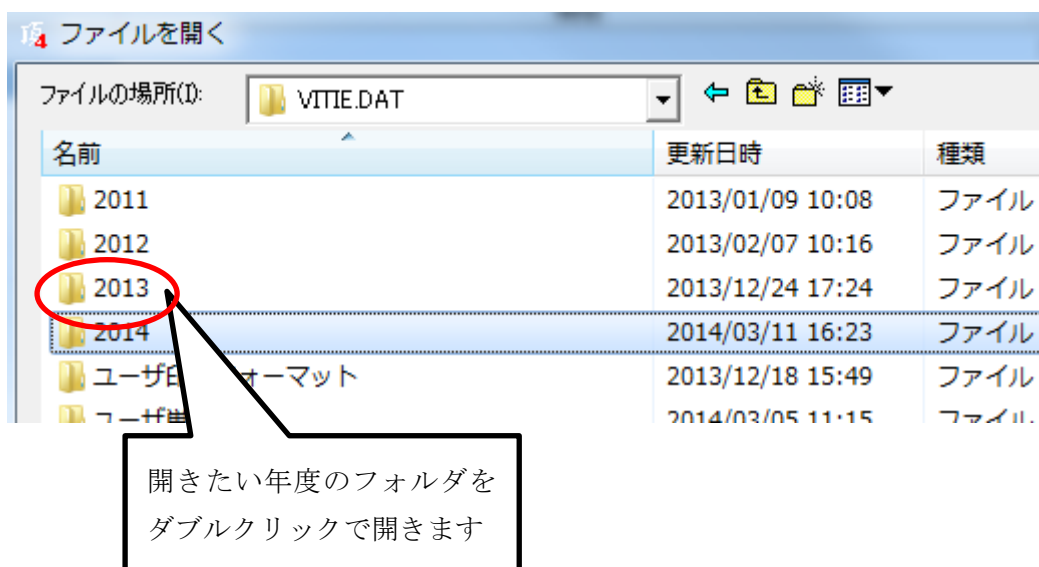
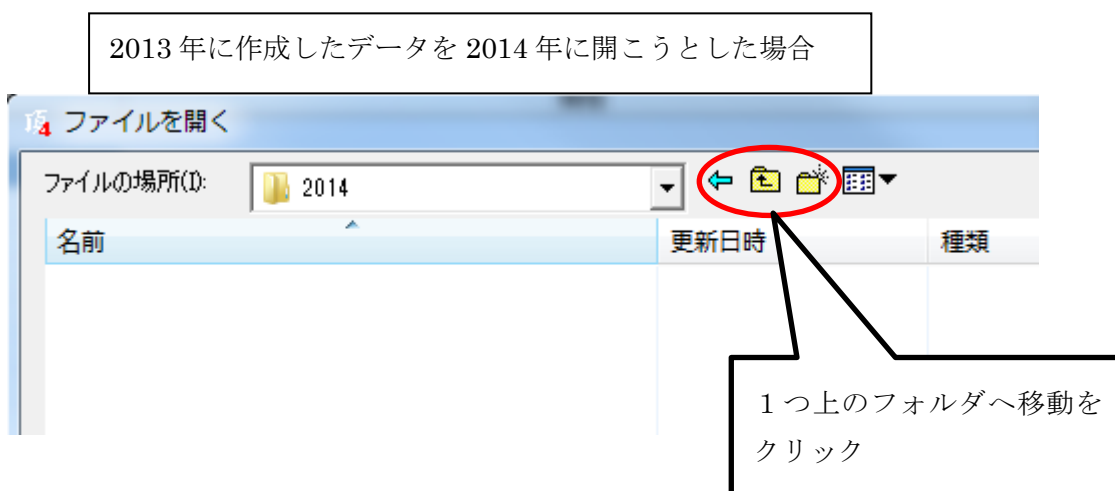
保存先の設定を変更するには [6-3-10 データの保存先を変更したい](#) を参照して下さい。

設計書が表示されないのは 2 つの可能性あります。

1 つ目は、保存時に別の場所を指定した場合です。この場合は既存設計書を開く時もファイルの場所を指定しなければ設計書は表示されません。(保存先の設定も変更している場合は除く)

2 つ目は、年度が変わった時、VITIE.DAT フォルダの中に自動的に新年度のフォルダが生成されるため、前年度に作成した設計書が表示されません。

前年度に作成した設計書を開く時にはフォルダを前年度に合わせて下さい。



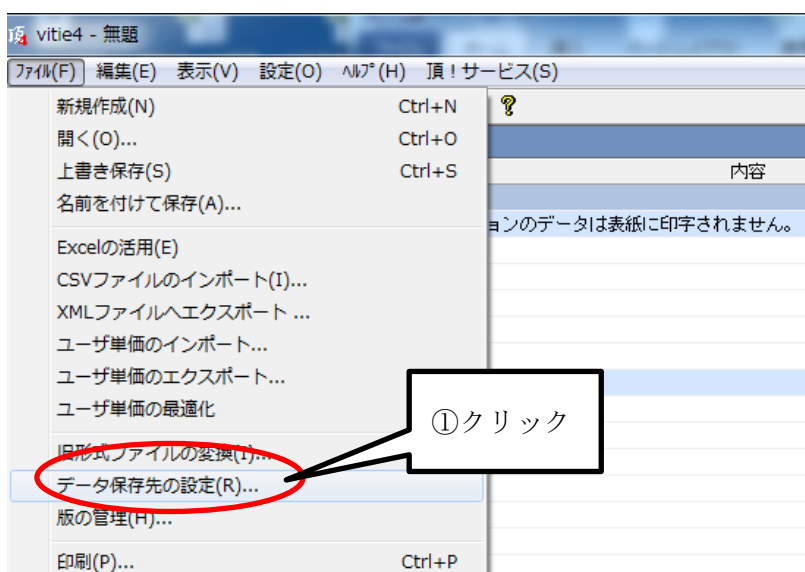
6-3-10 データの保存先を変更したい

「頂」は初期設定でデータの保存先がドキュメントの VITIE.DAT フォルダに設定されています。

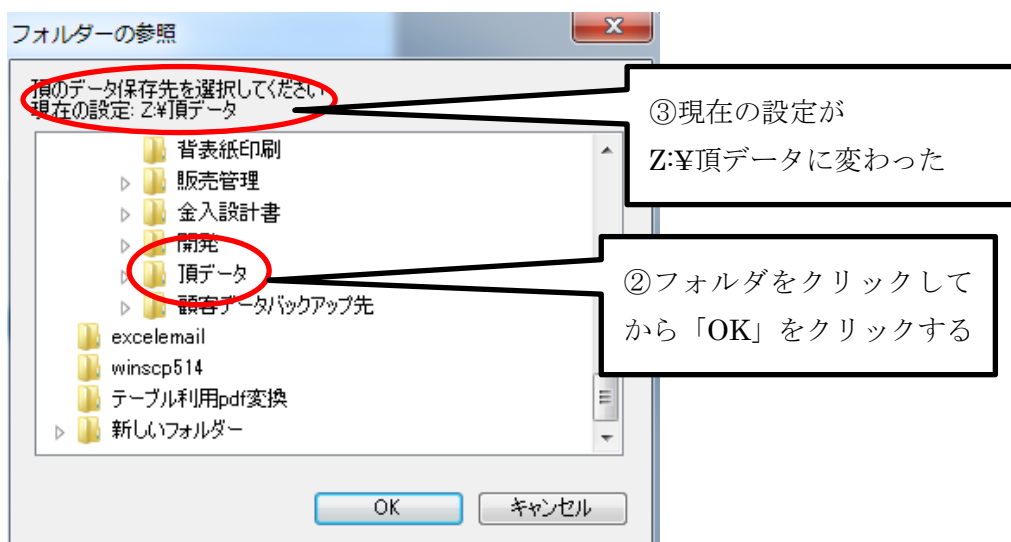
保存先を変更しておく、「既存設計書を開く」をクリックした時、変更した場所から開くことができます。

※保存先の指定は必ずフォルダにして下さい。直接デスクトップやドライブに設定すると、設計を開く時にエラーが出ます。

ここでは Z ドライブに「頂データ」というフォルダが作成済みで、そこに保存先を変更してみます。



①メニューバーから「編集」をクリックし、「データ保存先の設定」を選択します。



6-3-1 印刷時に会社名を印字したい

表紙画面で会社情報の「会社名」に入力し、印刷設定画面で「会社情報を印字する」にチェックを入れます。

The screenshot shows the 'vitie4' application window. The left sidebar contains various menu items, with '表紙' (Table Paper) circled in red. The main window displays a table with columns '項目' (Item) and '内容' (Content). The '会社情報' (Company Information) section is expanded, and the '会社名' (Company Name) field is circled in red, containing the text '(株)エージェンシーソフト'. A callout box labeled '表紙画面で入力します' (Input on the table paper screen) points to the '表紙' menu item. Another callout box labeled '会社名を入力' (Input company name) points to the '会社名' field.

項目	内容
表紙タイトル	工事設計書
□ 積算条件	このセクションのデータは表紙に印字されません。
..... 単価年度	2013_10
..... 単価適用地	埼玉県/県南
..... 諸経費 (歩掛)	2014-04
..... 工事種類	土木工事
..... 工事区分	9%
□ 工事内容	
..... 工事番号	
..... 工事名	
..... 工事場所	
..... 場所名称	
..... 工期	
..... 発注者	
..... 事業主体	
..... 施工年度	
..... 概要-1	
..... 概要-2	
..... 概要-3	
..... 概要-4	
..... 概要-5	
..... 概要-6	
..... 概要-7	
..... 概要-8	
□ 見積情報	このセクションのデータは表紙に印字されません。
..... 見積番号	
..... 見積宛先	
..... 見積作成日	
..... 請負額	
..... 請負額増減額	
..... 決済条件	
..... 有効期限	
□ 会社情報	
..... 会社名	(株)エージェンシーソフト
..... 代表者	
..... 郵便番号	101-0056
..... 住所1	東京都千代田区神田
..... 住所2	
..... 電話	03-5283-9705
..... FAX	
..... EMAIL	nac@agencysoft.jp

印刷設定画面

印刷設定

印刷対象

設計書全体 代価表

表紙 本工事内訳書 内訳書 代価表

二次代価表 単価調書

当初金額 変更後金額 実行金額

印刷

諸経費印刷

キャンセル

印刷追加設定

印刷設定保存

表紙

見積書として印刷

工事設計書として印刷

表紙のタイトル行を印刷

工事価格(税抜)を印刷

会社情報を印刷

両面印刷時表紙裏面を白紙に

単価表の設定

内訳表題名 開始番号

代価表題名

単価表番号を自動採番

単価表番号を手動採番

単価表番号を印字しない

本工事内訳書にある代価を1次代価とする

印刷対象単価表の番号のみを備考欄に印字する

小数点以降最後の0を印字しない

内訳表を別紙印刷

内訳の内訳は階層として印字

両面印刷時左に余白を取る

金額0の行を印字しない

出典を印字する 階層の深さを「・」で

摘要を印字しない

その他

Excelの印刷フォーマット

ユーザ印刷フォーマット

用紙 A4横 A4縦

フォント ゴシック 明朝

金額抜き印刷

諸経費等の数量を印字しない

対象額、率を印字しない

ページ番号を印字

ページに会社名を印字

本工事実行を印字する

レベル字下げ幅

設計書行数

階層を見たまま印刷

単価調書は材料費のみ

代価表は新規代価のみ

表紙に会社名を印字する

ページの下に会社名を印字する

6-3-1 2 手間のみの代価表に材料を追加する方法

例えば、市場単価の排水構造物工の U 型側溝設置工は[手間のみ]の代価表で材料が含まれていません。材料を追加するには代価表を設計書に転送した後、代価表の下位表を開いて追加します。

【例】市場単価

U 型側溝設置工[手間のみ]L=2000mm 1000kg/個以下

標準(50m以上)時間制約なし

手間のみの代価表を転送して設計書に貼りつけます。

The screenshot shows a software window titled 'vitle4 - 無題'. The main area displays a table with columns: 名称, 規格, 単位, 数量, 単価, 金額. The table contains three rows: '排水構造物工' (unit: 式, quantity: 1, price: 26,500), 'U型側溝設置工' (unit: 式, quantity: 1, price: 26,500), and 'U型側溝設置工[手間のみ] L=2000mm 1000kg/個以下' (unit: m, quantity: 10, price: 2650). A callout box with a black border and white background contains the text: '代価表をクリックして着目行にし「下位表を開く」をクリック'. A red circle highlights the '下位表を開く' button in the left sidebar.

①「下位表を開く」をクリックします。

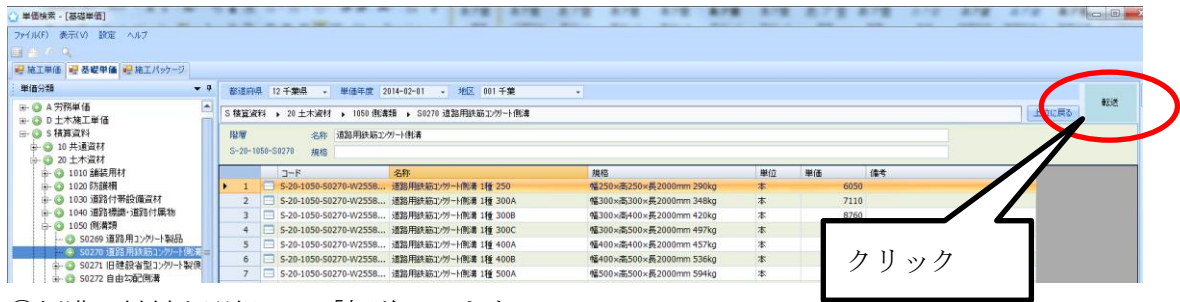
The screenshot shows the same software window, but the sub-table is now open. The sub-table title is '【1位代価表】U型側溝設置工[手間のみ] L=2000mm 1000kg/個以下'. It contains three rows: 'U型側溝設置工[手間のみ] L=2000mm ...' (unit: m, quantity: 1), '排水構造物工 U型側溝 [手間のみ] L=2000 1000kg/個以下' (unit: m, quantity: 1), and '補正率による調整額' (unit: 式, quantity: 1). A callout box with a black border and white background contains the text: '下位表を開いた状態で「単価検索」を開く'. A red circle highlights the '単価検索' button in the left sidebar.

②単価検索を使って U 型側溝の材料を検索します。

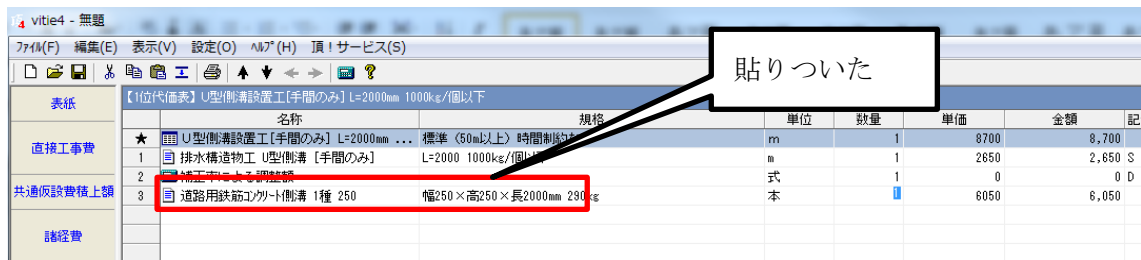
【例】積算資料

道路用鉄筋コンクリート側溝 1 種 250

幅 250×高 250×長 2000mm 290Kg



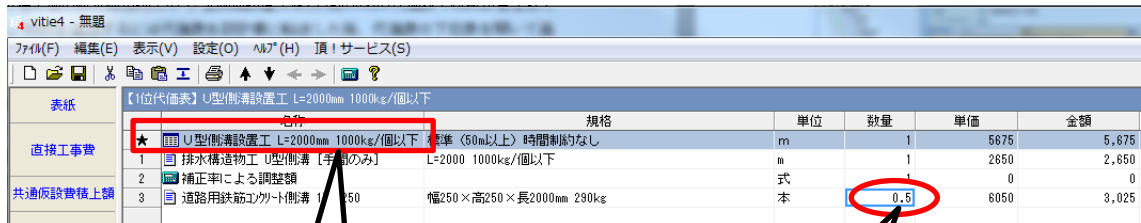
③側溝の材料を選択して「転送」します。



代価表の一番下に貼りつきました。

④材料の長さが 2000mm=2mなので U 型側溝設置工 1 m 当りに合わせて材料も 1 m 当りに換算 (0.5 本) します。

【完成形】



名称から[手間のみ]を削除

④数量1を0.5に変更し1m当りに換算する

補足説明

10m当たりの代価表を作る場合

「U型側溝設置工[手間のみ]L=2000mm 1000kg/個以下」の代価表は1m当たりで作られていましたが、10m当たりで作りたい場合は、計算数量を10とし、手間と材料も10倍します。

計算数量を10に

$1 \times 10 = 10\text{m}$

$0.5 \times 10 = 5\text{本}$

名称	規格	単位	数量	単価	金額	記号
★ U型側溝設置工 L=2000mm 1000kg/個以下 標準 (50m以上) 時間制約なし		m	10	5675	56,750	
1 排水構造物工 U型側溝【手間のみ】 L=2000 1000kg/個以下		m	10	2850	28,500 S	
2 補正率による調整額		式	1	0	0 D	
3 道路用鉄筋コンクリート側溝 1種 250 幅250×高250×長2000mm 230kg		本	5	6050	30,250	

6-3-13 パソコンを買い替えたので「頂」を新しいパソコンに移したい

新しいパソコンに「頂」をDVDからインストールして下さい。古い単価データも使いたい場合は古い版から新しい版に順番にインストールが必要になります。

作成した設計書、ユーザ単価データはインストールとは別に新しいパソコンに移動が必要です。初期設定ではデータ保存先はドキュメントの「VITIE.DAT」フォルダに設定されています。